

厚 生 中 央 病 院

初 期 臨 床 研 修 プ ロ グ ラ ム (Ver.9)

医師臨床研修制度の基本理念

臨床研修は、医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることのできるものでなければならない。

厚生中央病院 初期臨床研修プログラムの特徴

医師としての社会的役割を認識し、プライマリ・ケアの基本的診療能力を身に付けるために必要とされる各診療科にて研修を行い、高齢化社会での地域における医療と介護の役割を知ることである。

[目 次]

1	研修医個人票	1
2	厚生中央病院の理念	2
3	厚生中央病院の研修理念	3
4	研修医としての心得十箇条	4
5	臨床研修スケジュールの概要	5
6	研修医ローテーション表	7
7	厚生中央病院の概要	8
8	臨床研修指導體制	9
9	研修協力病院及び研修協力施設	10
10	臨床研修管理委員会	11
11	医療安全管理体制	12
12	臨床研修医の処遇	13
13	応募に関する事項	14
14	研修に係る責任者等の名簿	15
15	臨床研修修了認定基準	18
16	後期臨床研修について	23
17	東邦大学医療センター	24
18	東京医科大学病院	28
19	東京医科大学八王子医療センター	30
20	聖マリアンナ医科大学病院	31
21	東京蒲田医療センター	33
22	医療安全管理指針	34
32	説明と同意の手順	36
33	医師の診療指針	40

研修医個人票

研修医名 ()

- 1) 研修した事項については責任をもって自己評価すること。
- 2) 評価には段階評価と記述評価があり、記述評価は指導医に対する評価を含め記載すること。
- 3) レポートの提出を要する研修項目については速やかにレポートを作成すること。
- 4) 病理解剖には積極的に参加し、剖検症例記録用紙に記載し残すこと。
- 5) 学術集会、カンファランス等には積極的に参加し、参加記録用紙に記載し残すこと。
- 6) 個人情報が外部に漏れないように十分に注意すること。

研修医氏名 (ふりがな)	
生年月日	
住所	
出身大学	
卒業年月日	
国家試験合格年月日	
医師免許証	
保健医登録票	
研修修了後の希望科	
研修開始年月日	
研修修了年月日	

厚生中央病院の理念

1. 私たちは、心の通った温もりを感じる医療を目指します。
2. 私たちは、組合の被保険者ならびに地域の人々の健康と福祉に貢献します。
3. 私たちは、病院機能の充実に図り、サービス向上のため日々研鑽します。

患者さんの権利

1. 最良の医療を受ける権利。
2. 病気について理解可能な言葉で説明を受ける権利と、その説明に対して意見を述べる権利。
3. プライバシーが守られる権利。
4. 転院の権利。
5. 診療情報の開示を求める権利。

患者さんの義務

自己の療養に関して病院職員に協力する義務。

はじめに（厚生中央病院の研修理念）

医師国家試験に合格し医師免許証が与えられた諸君は、医師としての出発点に立ったわけであるが、病人から信頼される医師となるため、まず研修医として幅広い実際的な医療の基礎を学ぶとともに、医師としての基本的な心構えを習得しなければならない。

医学の目標は、単に病気を治すことではなく、“病気で悩める人”を治療することである。治療は医学的知識に基づいて行うわけであるから、常に研鑽に努め、新しい医学的知識・技術を吸収しなければならないことは言うまでもない。また、“病める人”の立場にたって考える治療を行うことが肝心である。

医師ほどあらゆる階層の人々と接触しなければならない職業はないと思われるが、それだけに幅広い社会性と温かい人間性が要求される。

諸君も若くして先生と呼ばれ、とかく“奢れる心”が芽生えてくるものであるが、けっして慢心してはならない。医学を学ぶほどにいつかその限界を悟り、病気を治せないことの無力さを思い知らされるときがくるものである。このことを心に銘記して、謙虚さを失わない人間性豊かな医師に育ってもらいたい。

厚生中央病院臨床研修委員会

研修医としての心得十箇条

1. 医の倫理について良く理解し、診療にあたること。
2. 患者さんには懇切、丁寧な対応をし、インフォームドに努めること。
3. 身嗜みや言葉使いに注意し、医師としての品位を損なわないようにすること。
4. 病院の信用を傷つけ、又は利益を害するような言動はしないこと。
5. 信頼の基本である約束や時間を厳守すること。
6. チームワークを大切にし、協調に努めること。
7. 困った時でも独自の判断で問題を解決しないこと。
8. カルテ等の重要性を理解し、正確な記載に努めること。
9. カンファランス等には積極的に参加し、自己研鑽に努めること。
10. コスト意識を持って、材料等を大切に使用すること。

臨床研修スケジュールの概要

研修診療科（施設）及び研修期間等

（１）オリエンテーション

1. 病院の概要
2. 接遇と医療倫理
3. 各種委員会からの説明
(医療事故防止、院内感染防止、保険制度、情報管理、図書、その他)
4. 院内諸規則
5. 基本的知識と技術
(診療録、診断書、処方箋、オーダリング、注射・採血、救急処置、LCCS、その他)
6. 診療科紹介

（２）内科系研修（必須・32週）

1. 内 科（8～12週）： 一般外来研修1～3週と検査科研修、病棟研修を含む
2. 消化器内科（8～12週）： 内視鏡研修と病棟研修を含む
3. 循環器内科（8～12週）： CCU研修と病棟研修を含む

（３）外科系研修（必須・12週）

1. 外科（消化器一般、乳腺呼吸器）： 病棟研修を含む
2. 整形外科
3. 脳神経外科

（４）産婦人科研修（必須・4週）： 分娩室研修と病棟研修を含む

（５）救急部門研修（必須・12週）： 麻酔科（4週）、救急外来（8週）

《救急について》

当院は独立した救急科がないが、救急研修として平日時間内の救急当番と時間外の日当直を行う。

（６）小児科研修（必須・4週）： 外来研修0～1週間と病棟研修を含む

（７）精神科研修（必須・4週）： 東邦大学医療センター大森病院精神科にて研修

(8) 「地域医療」研修(必須・4週)

1. 診療所・・・木村クリニック、木野クリニック、
はっとりクリニック、檜林神経内科クリニック、
以上4カ所のいずれかで1週間の地域診療所研修、在宅医療研修を行う。
2. 古畑病院・・・3週間の地域病院研修と1～3週間の一般外来研修

(9) 「保健・医療行政研修」(必須・1週間)

1. 目黒区保健所
 2. 介護老人保健施設グリーンポート恵比寿
 3. 目黒区立特別養護老人ホーム東山
- ・・・以上3カ所の施設から選択し1週間の保健・医療行政研修を行う。
保健・医療行政は2年次の厚生中央病院内選択研修期間中に1週間優先して行う。

(10) 希望科の研修(30週のうち最低7週は厚生中央病院内の選択とする)

研修医自身が研修計画を立て研修する。

厚生中央病院、東邦大学医療センター(大橋病院、大森病院、佐倉病院)、東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、聖マリアンナ医科大学病院、東京蒲田医療センターでの希望科研修が選択可能

「備考」

1. 研修医は、上記スケジュールに従って所定の期間研修を行うこと。
2. 研修医は、研修期間中に担当科の研修指導医のもとで外来診療及び当直による救急患者の診療を含む研修その他を行うこと。
3. 自己評価及び研修指導医による評価は5段階評価行う。
4. 研修分野毎のカリキュラムは別綴1を参照。

研修医ローテーション表

	A	B	C	D	E
1年目					
1～8週	総合内科	循環器内科	消化器内科	総合内科	消化器内科
9～12週					
13～16週	外科				整形外科
17～20週	救急(麻酔・救急外来)	消化器内科	総合内科	整形外科	循環器内科
21～24週				外科	
25～28週		救急(麻酔・救急外来)	外科	消化器内科	総合内科
29～32週	循環器内科		脳神経外科		
33～36週			救急(麻酔・救急外来)	循環器内科	外科
37～40週	整形外科	総合内科			脳神経外科
41～44週	脳神経外科			救急(麻酔・救急外来)	消化器内科
45～48週	消化器内科	整形外科	循環器内科		
49～52週		脳神経外科			救急(麻酔・
2年目					
1～4週	小児科	精神・神経科	地域医療	産婦人科	救急外来)
5～8週	精神・神経科	小児科	産婦人科	地域医療	
9～12週	地域医療	産婦人科	小児科	精神・神経科	希望科
13～16週	産婦人科	地域医療	精神・神経科	小児科	(1週間は保健・医療)
17～20週	総合内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科
21～24週	希望科	希望科	希望科	希望科	地域医療
25～28週					産婦人科
29～					希望科
52週	(1週間は保健・医療)	(1週間は保健・医療)	(1週間は保健・医療)	(1週間は保健・医療)	
○地域医療研修(必須)					
1週目	古畑病院	古畑病院	古畑病院	古畑病院	古畑病院
2週目					
3週目					
4週目	榎林神経内科クリニック	木野クリニック	木村クリニック	木野クリニック	はっとりクリニック
○希望科研修					
提携病院であれば研修が可能である。					
○保健・医療行政研修(1週間、選択必須)					
グリーンポート恵比寿(介護老人保健施設)、東山ホーム(目黒区立特別養護老人ホーム)、目黒区保健所のうち一か所を選択し、2年次の厚生中央病院希望科研修期間内の1週間地域保健研修を行う。					
救急外来研修は救急救命専門医のもとで救急診療の研修を行う。					

厚生中央病院の概要

本院は全国土木建築国民健康保険組合の直営病院で、同組合被保険者の疾病予防と診療を行うことを主目的として昭和34年5月に開設された。

開設当時は、地下1階、地上6階の建物で、診療科は内科、外科、整形外科、産婦人科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、及び放射線科の9科を有する総合病院として発足した。

その後患者数の増加に伴い、逐年病床を増床するほか設備・機器の充実を図ると共に事業の拡張を図ってきたが、建物、設備の老朽化が進んだため、昭和63年東京都の恵比寿地区における整備計画に協力する形で隣接地に新病院を建設することとなった。

新しく生まれ変わった病院は、水と緑の“山の手情報文化都市”として目覚ましい変化を遂げた“えびす”の地に平成4年6月装いも新たに15科を備える病院としてオープンした。地下2階、地上8階の建物は、旧病院の約2倍の床面積となり、ゆとりのある4床室を中心とした病室のほか内視鏡室をはじめとする各種検査室、放射線治療室、リハビリセンター、健康管理センター等を設置している。また、最新の医療機器を備え、関連大学との密接な連携を保ちつつ的確な診断・治療を行うとともに、総合医療情報システム（電子カルテ、モニタリング、画像配信、物流管理、DI情報システム等）を採用して院内機能の効率化を図り、さらに平成14年10月には4床の本格的なICUを設立し、質的水準の高い医療サービスの提供に努めた。平成16年4月には管理型臨床研修指定病院の認定を受け、令和5年2月には日本医療機能評価機構から5回目の施設認定を受けている。その他、各種の法指定、学会施設認定や東京都の第2次救急医療指定等を受けている。現在、厚生中央病院は高齢化社会に適応した地域中核の急性期病院を目指している。高度医療機関と地域の橋渡しの機能を持ち、在宅医療を支える病院として機能している。

院長 : 河島尚志（研修実施責任者）

プログラム責任者 : 根本夕夏子

病床数 : 320床 診療科 : 18科

内科、循環器内科、消化器内科、小児科、消化器一般外科、乳腺呼吸器外科、整形外科、リハビリ科、脳神経外科、眼科、耳鼻科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、メンタルヘルス科、形成外科

主な設備 :

図書室、中央病歴室、中央検査室、手術室、血管内治療室、無菌治療室、中央材料室、病理解剖室、内視鏡室、放射線診断治療部門（CT、MRI、RI診断装置、リニアック、心血管連続撮影装置等）、体外衝撃波結石破碎装置、分娩監視装置、外来化学療法室

医師数 : 約75名（研修医を含む）

臨床研修指導体制

臨床研修における責任体制を明確にするため、院長はプログラム責任者を任命する。プログラム責任者は、本院に於ける臨床研修業務を総括・管理し、研修プログラムの企画、立案及び実施の管理並びに研修医に対する助言、指導、援助等を行う。

各診療科の責任者等を研修指導医とする。

研修指導医は研修医の指導に関する責任者であり、研修医を直接指導するだけではなく、研修指導医の監督下で上級医師（研修医よりも臨床経験の長い医師）も研修医を指導することが出来るが、その指導については監督責任を負う。

なお、臨床研修は毎年4月1日から開始する。

研修指導医の注意すべき事項

1. 研修指導医は7年以上の臨床経験を有し、指導医講習会を修了していること。
2. 研修医を下働きの助手として扱うことを禁止する。医師養成の一翼を担っていることを認識して指導にあたること。
3. 高度な専門的知識や技術を指導するのではなく、研修医として知らなければならない基礎的な知識や技術を優先的に教えることであり、研修指導医は示された具体的な研修項目について教え、目標のレベルに到達させること。また、定められた方式に従って研修の成果を評価すること。
4. 研修期間中は、研修医単独で主治医とすることなく、また如何なる診療行為においても必ず研修指導医の監督下で診療にあたらせること。
5. 研修指導医は、病理解剖の重要性を認識し、研修医にも積極的にこれに参加させること。また定期的に開催している年2回以上の臨床病理カンファレンス（CPC）にも積極的にこれに参加させること。

研修医の注意すべき事項

1. 研修期間中は独自の判断で診療を行わず、研修指導医と相談しながら行うこと。
2. 定められた研修項目を経験終了したときは、その都度定められた方式により自己評価すること。
3. 受け持ち患者の退院サマリー等をコピーし、患者情報が分からない方法で各自確保、保存すること。
4. 積極的に院内カンファレンス・勉強会、及び学会・研究会等に参加すること。

研修協力病院及び研修協力施設

医師として幅広い社会性と温かい人間性を育成し、基礎的なプライマリ・ケアを学ぶために下記の研修協力病院、及び研修協力施設と共同して研修医を指導育成する。

1) 研修協力病院

1. 東邦大学医療センター大森病院・・・精神科研修（必須）
東邦大学医療センター（大森、大橋、佐倉病院）・・・希望科研修（選択）
2. 東京医科大学病院・・・希望科研修（選択）
3. 東京医科大学八王子医療センター・・・希望科研修（選択）
4. 聖マリアンナ医科大学病院・・・希望科研修（選択）
5. 東京蒲田医療センター・・・希望科研修（選択）

2) 地域医療研修協力施設（4週 必須）・・・地域医療の研修

1. 古畑病院
2. 木村クリニック
3. 木野クリニック
4. はっとりクリニック
5. 檜林神経内科クリニック

3) 保健・医療行政研修協力施設（1週 必須選択）・医療と介護の連携、保健活動の研修

1. グリーンポート恵比寿（介護老人保健施設）
2. 東山ホーム（目黒区立特別養護老人ホーム）
3. 目黒区保健所（保健活動）

1. 「地域医療」については原則2年次に行うこととされている。高齢化社会での地域医療は外来診療、入院診療と共に、在宅診療が中心的な役割を担っている。地域の在宅診療を直接支えている診療所や病院での臨床研修は非常に重要なものである。

地域病院（古畑病院）での研修を3週、地域診療所での研修を1週行う。

2. 高齢化社会では医療と介護の連携は必須である。医療人のリーダーとしての医師は介護の現状や医療保健活動について知らなければならない。保健・医療行政研修協力施設から1か所を選択し1週の研修を必須とする。

3. 厚生中央病院精神科は入院患者を扱っていないため、精神科研修は東邦大学医療センター大森病院精神科で4週の研修を行う。

4. 2年次は研修医の希望する診療科で27週間研修を行うことが可能だが、原則として7週は厚生中央病院にて希望科研修を行い、残り20週間は厚生中央病院以外の東邦大学医療センター（大森病院、大橋病院、佐倉病院）、東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、東京蒲田医療センター、聖マリアンナ医科大学病院での希望科研修を選択することが出来る。

臨床研修管理委員会

臨床研修制度の円滑な運営と研修の充実を図るため、臨床研修管理委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

委員会の委員長は院長が努め、プログラム責任者、研修指導医、事務部長、看護部長、協力型臨床研修病院の研修実施責任者、臨床研修協力施設の研修実施責任者、その他委員長が必要と認めた者をもって構成し、次の事項について審議する。

1. 研修プログラムの全体的管理
（作成方針の決定と相互調整、実施計画、その他）
2. 研修医の全体的管理
（研修医の募集、処遇、健康管理、他施設への出向、研修継続の可否、その他）
3. 研修医の研修状況の評価
（研修目標の到達状況の評価、臨床研修終了時及び中断時の評価、その他）
4. 採用時における研修希望者の評価
5. 研修後及び中断後の進路についての相談と支援
6. その他臨床研修に関する重要事項

研修医が2年間の所定の研修課程を修了した時は、院長は臨床研修管理委員会の報告に基づき「研修修了書」を交付する。

医療安全管理体制

別紙「医療内容の向上及び医療安全防止対策等に関する規程」を参照すること。

- 1) 医療の質の向上と医療事故および院内感染防止対策を実効あるものとするため、委員会に医療内容調査部会、リスクマネジメント部会、医療内容向上部会及び感染制御チームの3部会1チーム会を設置し、具体的な対策について調査・検討を行う。
- 2) 医療安全のために
 1. 必要時にはできごとレポートを積極的に提出すること。
 2. 院内研修会には義務として参加すること。
 3. 医療事故発生時には隠すことなく速やかに指導医に報告し医療安全管理室に届けること。
 4. 医療の安全のため「院内感染防止対策マニュアル」「輸血療法要綱」「中心静脈カテーテル挿入に関する指針」「静脈血栓塞栓予防マニュアル」「抗菌薬マニュアル」「救急診療マニュアル」「個人情報管理指針」「臨床試験実施手順書」その他を参照すること。

臨床研修医の処遇

定員	: 1年次5名、2年次5名
常勤・非常勤の別	: 常勤
研修手当	: 基本手当 / 月 230,000 円 (手当込で平均 306,000 円 / 月) : 賞与 / 年 1年次 184,000 円、2年次 230,000 円 : 時間外手当、休日手当 無
勤務時間	: 9時 00 分から 17 時 00 分 (休憩時間 1 時間) 時間外労働 有
休暇	: 有給休暇 1年次 11 日、2年次 20 日 : 夏季休暇 有 : 年末年始 有
当直	: 回数 約 4 回 / 月
研修医のための宿舎	: 有 単身者用 複数戸
研修医の病院内個室	: 個室 無 (研修医室 有)
社会保険・労働保険	: 公的医療保険 (全国土木建築国民健康保険組合健康保険) : 公的年金保険 (厚生年金保険) : 労働者災害補償保険法の適用 有 : 雇用保険の適用 有
健康管理	: 健康診断 年 1 回
医師賠償責任保険	: 病院において加入 する / 個人加入 任意
外部の研修活動	: 学会・研修会への参加 可 : 参加費用の支給 有

なお、2年間の臨床研修終了後、研修医が引き続き本院において後期研修を希望する場合は、診療各科の定数を勘案のうえ対応することとする。

※ 初期臨床研修期間中のアルバイト診療等は厳禁としています。

応募に関する事項

1. 定員

1年次5名、2年次5名

2. 応募資格

医師国家試験に合格見込みの者

マッチングプログラムに参加登録する者

3. 応募に必要な書類

ア. 出身大学卒業見込証明書（写）

イ. 成績証明書

ウ. 履歴書

エ. 84円の切手を貼付した返信用封筒

4. 応募書類の提出先

厚生中央病院 庶務課

所在地 東京都目黒区三田1丁目11番7号

TEL 03-3713-2141

Fax 03-3713-4963

5. 応募の締め切り

7月上旬

6. 選考方法

筆記試験と面接及びマッチング方式

7. 研修開始日

4月1日より2年間

研修に係わる責任者等の名簿

1) 厚生中央病院臨床研修管理委員会委員長

厚生中央病院院長 河島 尚志

2) プログラム責任者

脳神経外科部長 根本 夕夏子

3) 研修実施責任者

厚生中央病院	院長	河島	尚志
東邦大学医療センター3病院	卒後臨床研修センター長	高井	雄二郎
東京医科大学病院	卒後臨床研修センター長	阿部	信二
東京医科大学八王子医療センター	卒後臨床研修センター長	河地	茂行
聖マリアンナ医科大学病院	病院長	大坪	毅人
東京蒲田医療センター	院長	渡邊	正志
古畑病院	院長	古畑	正
木野クリニック	院長	木野	一晴
木村クリニック	院長	木村	肇
はっとりクリニック	院長	服部	克哉
檜林神経内科クリニック	院長	檜林	洋介
目黒区保健所	所長	石原	美千代
目黒区立特別養護老人ホーム東山	施設長	横山	亨子
介護老人保健施設グリーンポート恵比寿	施設長	片場	嘉明

4) 研修指導医

1. 厚生中央病院研修指導医

内科	副部長	青田	泰雄 (臨床研修指導医養成講座受講)
消化器内科	統括部長	根本	夕夏子 (臨床研修指導医養成講座受講)
循環器内科	部長	五関	善成 (臨床研修指導医養成講座受講)
外科	副部長	河北	英明 (臨床研修指導医養成講座受講)
乳腺呼吸器外科	部長	岩淵	裕 (臨床研修指導医養成講座受講)
脳神経外科	部長	秋元	治朗 (臨床研修指導医養成講座受講)
整形外科	統括部長	砂川	隆英 (臨床研修指導医養成講座受講)
産婦人科	部長	樋田	一英 (臨床研修指導医養成講座受講)
麻酔科	部長	長澤	実佳 (臨床研修指導医養成講座受講)

小児科 : 医 員 千代反田雅子 (臨床研修指導医養成講座受講)
眼 科 : 部 長 森 秀樹 (臨床研修指導医養成講座受講)
耳鼻咽喉科 : 医 長 永井 賀子 (臨床研修指導医養成講座受講)
診療放射線科 : 医 師 金城 忠志 (臨床研修指導医養成講座受講)
泌尿器科 : 医 長 黄 和吉
メンタルヘルス科 : 医 長 岩尾 紅子
病 理 : 医 師 黒田 雅彦 (東京医科大学教授)

2. 東邦大学医療センター 3 病院研修指導医

別綴 2 参照

3. 東京医科大学病院研修指導医

別綴 2 参照

4. 東京医科大学八王子医療センター研修指導医

別綴 2 参照

5. 聖マリアンナ医科大学病院研修指導医

別綴 2 参照

6. 東京蒲田医療センター研修指導医

別綴 2 参照

7. 古畑病院研修指導医 副院長 : 佐藤 茂樹 (臨床研修指導医養成講座受講)

8. 木野クリニック研修指導医 院長 : 木野 一晴 (臨床研修指導医養成講座受講)

9. 木村クリニック研修指導医 院長 : 木村 肇

10. はっとりクリニック研修指導医

院長 : 服部 克哉 (臨床研修指導医養成講座受講)

11. 檜林神経内科クリニック研修指導医 院長 : 檜林 洋介

1 2. 目黒区保健所研修指導者

保健所長（医師）：石原 美千代（臨床研修指導医養成講座受講）

健康福祉部 保健予防課長（医師）：大石 修（臨床研修指導医養成講座受講）

1 3. 介護老人保健施設グリーンポート恵比寿研修指導者 施設長： 片場 嘉明

1 4. 目黒区立特別養護老人ホーム東山研修指導者 施設長： 横山 亨子

臨床研修修了認定基準

<基準>

- 1) 厚生労働省の定める必修項目で経験症候／疾病・病態の記録（29症候）、経験すべき疾病・病態（26疾病・病態）が求められている項目や評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、基本的臨床手技、一般外来、その他の研修活動の記録について、PG-EPOCによる入力や必要に応じて指導医の評価が確認されること。
- 2) 院内CPCに出席（レポート提出）
- 3) 保険診療研修会に出席
- 4) ICLSコースの修了（任意）

(1) 到達目標

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム） 4項目

1. 社会的使命と公衆衛生への寄与

社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。

2. 利他的な態度

患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。

3. 人間性の尊重

患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。

4. 自らを高める姿勢

自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

B. 研修医が研修修了時までに取り得べき包括的な資質・能力 9項目

1. 医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

① 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。

② 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。

③ 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。

④ 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。

⑤ 診療、研究、教育の透明性を確保し、不法行為の防止に努める

2. 医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

- ① 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。
- ② 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。
- ③ 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。
- ④ 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。
- ⑤ 診療、研究、教育の透明性を確保し、不法行為の防止に努める

3. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

- ① 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
- ② 患者の状態に合わせた、最適な治療を安全に実施する。
- ③ 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。

4. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

- ① 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。
- ② 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。
- ③ 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。

5. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

- ① 医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。
- ② チームの構成員と情報を共有し、連携を図る。

6. 医療の質と安全管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

- ① 医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。
- ② 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。
- ③ 医療事故等の予防と事後の対応を行う。
- ④ 医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努める。

7. 社会における医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。

- ① 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。
- ② 医療費の患者負担に配慮しつつ、健康保険、公費負担医療を適切に活用する。
- ③ 地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案する。
- ④ 予防医療・保健・健康増進に努める。
- ⑤ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。
- ⑥ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要に備える

8. 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

- ① 医療上の疑問点を研究課題に変換する。
- ② 科学的研究方法を理解し、活用する。
- ③ 臨床研究や治験の意義を理解し、協力する。

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

- ① 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。
- ② 同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。
- ③ 国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療を含む。）を把握する。

C. 基本的診療業務 4項目

コンサルテーションや医療連携が可能な状況下で、以下の各領域において、単独で診療ができる。

1. 一般外来診療

頻度の高い症候・病態について、適切な臨床推論プロセスを経て診断・治療を行い、主な慢性疾患については継続診療ができる。

2. 病棟診療

急性期の患者を含む入院患者について、入院診療計画を作成し、患者の一般的・全身的な診療とケアを行い、地域医療に配慮した退院調整ができる。

3. 初期救急対応

緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。

4. 地域医療

地域医療の特性及び地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、医療・介護・保健・福祉に関わる種々の施設や組織と連携できる。

(2) 研修期間を通じて経験すべき必須項目

1) 経験すべき症候 — 29 症候 —

外来又は病棟において、経験すべき症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応が行える。

ショック、体重減少・るい瘦、発疹、黄疸、発熱、もの忘れ、頭痛、めまい、意識障害・失神、けいれん発作、視力障害、胸痛、心停止、呼吸困難、吐血・喀血、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便通異常（下痢・便秘）、熱傷・外傷、腰・背部痛、関節痛、運動麻痺・筋力低下、排尿障害（尿失禁・排尿困難）、興奮・せん妄、抑うつ、成長・発達の障害、妊娠・出産、終末期の症候

2) 経験すべき疾病・病態 — 26 疾病・病態 —

外来又は病棟において、患者の診療にあたる。

脳血管障害、認知症、急性冠症候群、心不全、大動脈瘤、高血圧、肺癌、肺炎、急性上気道炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、急性胃腸炎、胃癌、消化性潰瘍、肝炎・肝硬変、胆石症、大腸癌、腎盂腎炎、尿路結石、腎不全、高エネルギー外傷・骨折、糖尿病、脂質異常症、うつ病、統合失調症、依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）

3) 病歴要約の作成

1. 病歴、身体所見、アセスメント、プラン（診断、治療、教育）、考察を含める
2. 「経験すべき疾病・病態」の中で少なくとも1症例は、外科手術に至った症例を選択し、必ず手術要約を含める

4) 基本的な診療において必要な分野・領域等に関する研修

感染対策（院内感染や性感染症等）、予防医療（予防接種等）、虐待への対応、社会復帰支援、緩和ケア、アドバンス・ケア・プランニング（ACP・人生会議）、臨床病理検討会（CPC）

(3) 研修期間全体を通じて経験し、評価される診療の能力

- ①医療面接
- ②身体診察
- ③臨床推論

- ④臨床手技
 - 気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、圧迫止血、包帯法、採決法（静脈血・動脈血）、注射法（皮内・皮下・筋肉・点滴・静脈確保・中心静脈確保）、腰椎穿刺、穿刺法（胸腔、腹腔）、導尿法、ドレーン・チューブ類の管理、胃管の挿入と管理、局所麻酔法、創部消毒とガーゼ交換、簡単な切開・排膿、皮膚縫合、軽度外傷・熱傷の処置、気管挿入、除細動
- ⑤検査手技
 - 血液型判定・交差適合試験、動脈血ガス分析（動脈採血を含む）、心電図の記録、超音波検査（心・腹部）
- ⑥地域包括ケア・社会的視点
- ⑦診療録
 - 診療録の作成、各種診断書（死亡診断書を含む）の作成

後期臨床研修について

後期臨床研修プログラム

目的：

初期臨床研修終了後に専門領域の学会認定医・専門医の取得を目指す医師に、認定医・専門医として必要な基本的技術と知識及び診療態度を習得することを目的とする。

一般目標：

1. 患者中心の医療が実践できる。
2. チームワークの重要性を理解し行動できる。
3. 医療の安全について配慮が出来る。
4. 医学の進歩に伴う生涯学習が出来る。

到達目標：

1. 学会指定の研修カリキュラムを習得し認定医・専門医の資格を得る。
2. 後輩医師への指導医としての役割を果たせる。
3. 積極的に学会発表等の臨床研究活動が出来る。
4. 主治医としての責任と義務を果たし、患者家族や他の医療従事者との信頼関係を築き診療が出来る。

プログラムの詳細は別綴 3 を参照。

東邦大学医療センター

東邦大学医療センターにおける選択研修

【大森病院】

総合診療内科、総合診療内科（感染症）、総合診療外科、消化器内科、消化器外科、消化器外科（NST）、循環器内科、心臓血管外科、呼吸器内科、呼吸器外科、糖尿病・代謝・内分泌センター、神経内科、血液・腫瘍科、膠原病科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科、心療内科、腎センター、精神神経科、小児科、新生児科、脳神経外科、形成外科、整形外科、リハビリテーション科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、救命救急センター、東洋医学科、病理診断科、臨床生理機能検査部、地域保健、地域医療

【大橋病院】

消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、膠原病リウマチ科、糖尿病・代謝内科、小児科、外科、脳神経外科、整形外科、心臓血管外科、産科婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査部、救急集中治療科、精神神経科、形成外科、地域保健、地域医療

【佐倉病院】

内科、小児科、外科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、精神神経科、放射線科、麻酔科、病院病理部、臨床検査部、臨床生理機能部、形成外科、救命センター、地域保健、地域医療

各選択研修科目の研修期間は、基本的には3か月間または6か月間である。しかし研修医の希望により、1～2か月間の短縮あるいは延長は可能である。各選択研修科目のプログラムおよび詳細については、東邦大学医学部のホームページ（<http://www.trainee.med.toho-u.ac.jp/>）を参照して欲しい。

東邦大学医療センター3病院の選択研修科目を選ぶことにより、非常に多彩な研修生活を送ることが可能となる。将来医師としてより成長するために、卒後2年間の臨床研修が重要であることはいうまでもない。東邦大学医学部が選択研修の提供を通じて、より充実した研修に協力できることを願っている。

問い合わせ先

東邦大学医学部卒後臨床研修／生涯教育センター

〒143-8540 東京都大田区大森西5-21-16

TEL 03-3762-4151 内線 2280 FAX 03-5763-6574

E-Mail ttcc@jim.toho-u.ac.jp

大森・必修科目 精神科（4週以上）

1 研修プログラムの目的と特徴

精神科疾患および国民の精神保健に関する知識、精神的健康に関する知識の啓発は精神保健福祉法に強く謳われている。内因性精神疾患のみならず、認知症、器質性、症状性精神疾患、小児思春期精神疾患等は今後の日本の社会、文化環境を勘案した時、重要になってくる。また患者・医師関係における対人関係は、どの臨床項目に関わらずイニシエーションとしてその重要性は、特に取り上げられてきている。精神神経科における臨床研修はこれらの点に注意をおき、医師としての人格、患者との接し方、専門疾患の診察法、診断の方法、治療方法を学ぶことを目的とする。

2 プログラム管理運営体制

大森病院精神神経科が主体となり運営する。教授・准教授・講師が基本案を作り、指導医会議に諮る。プログラム内容・運営は逐次改正し、精緻化していく。

3 教育プログラム

3-1 研修期間と研修医配置予定

研修期間は4週以上である。大森病院では研修講義、精神科病棟、リエゾンを経験する。また、イルボスコにおいて早期介入につき研修を行う。

3-3-1 行動目標（SBOs）

- 1) 精神神経疾患患者の診察法を理解し、重要症状を抽出することができる。
- 2) 病歴、現在症、補助検査を総合して鑑別診断、治療法を考えることができる。
- 3) 薬物治療、精神療法、リハビリテーションの選択ができる。

3-3-2-A 経験すべき診察法・検査・手技

- 1) 問診で精神疾患の概略の見当をつけることができる。
- 2) 全身身体所見と問診で得た情報を総合して記載し、診断の道筋を説明することができる。
- 3) 脳波、CT, MRI, SPECT, NIRS（光トポグラフィック検査）などの情報を加え、確定診断をつけることができる。
- 4) 精神療法の基本的方法を学び、医者・患者関係の距離のとり方、説明の仕方に齟齬のないようにすることができる。

3-3-2-B 経験すべき症状・病態・疾患

- 1) 統合失調症
- 2) 気分障害

- 3) 認知症
- 4) せん妄状態
- 5) 器質性・症状性精神障害
- 6) 児童・思春期精神障害
- 7) パーソナリティ障害
- 8) 不安障害

3-3-2-C 特定医療現場の経験

- 1) ICU、腎透析、外科手術後のリエゾンコンサルテーションをおこなうことができる。
- 2) 救急外来の対応、初期治療、特に自殺企図者への対応ができる。
- 3) イルボスコにおいて早期介入につき研修を行う。

3-4-1 学習方略 (LS)

1. 教授回診：毎週月曜日は午後2時から4時まで回診に出席する。
2. 外来診察：鑑別を意識し現病歴と生活歴をとる
3. 入院時診察：研修指導責任者と1対1で受け持ち患者の説明をする。
4. 症例検討：毎週月曜日に1名ないし2名の新入院患者の症例検討をおこなう
5. 抄読会：毎週月曜日夕方に研修医を中心に英語論文の抄読をおこなう。臨床研修指導医と共にPubMedを使い、精神科最新テーマに関する英語論文を研修期間中に複数抄読し、内容をまとめる。
6. 金曜日の児童イルボスコカンファレンスに出席し、要請があればその会のテーマ内容について事前に勉強し、発表する。
7. 年数回の外部講師による講演会に出席する。

3-4-2 週間スケジュール

研修期間中の勤務時間、休憩、当直に関しては東邦大学医療センター大森病院の規程に従う。勤務時間は原則8時30分から午後5時までである。担当患者の状態によっては、この限りではない。その他、上級医と共に救急当直、病棟当直をおこなう。

3-5 評価 (EV)

- A. 患者への対応、診察能力（態度、技能、知識）が習得されたかをもって評価基準とする。
臨床研修指導医、研修指導責任者、病棟看護師長が評価表を用い、評価を行う。
- B. プログラム修了時に、病棟看護師長、診療チーム臨床研修指導医、病棟長の評価を確認する。
また各種教育行事、出席状況、抄読会での発表内容などを勘案して直接の臨床研修指導医が総合評価する。
- C. 評価方法についてはEPOC2を用いて行うが、サマリ記載については病院独自の病歴要約も提出し内容確認を行う。

3-6-1 指導体制

本プログラムの最終責任者は大森病院精神科の指導責任者である。研修医は診療チームに配属され臨床研修指導医のもとでチームの一員として指導を受ける。時間の許す限り上級医の指導が求められることができる。

3-6-2 臨床研修指導医

臨床研修指導医責任者	山口	大樹
臨床研修指導医	水野	雅文
臨床研修指導医	根本	隆洋
臨床研修指導医	片桐	直之
臨床研修指導医	落	裕太
臨床研修指導医	船渡川	智之

3-6-3 協力病院・施設

東邦大学医療センター佐倉病院

東京医科大学病院

大学病院は専門性が高く、プライマリ・ケアの修得が難しいとされています。

しかし当院は、昔から“地域のかかりつけ病院”として存在し、プライマリ・ケアが必要な患者が多く、特に近年は総合診療科の新設により、たくさんの方々が受診をされている状況があります。

特長のひとつである総合診療科において、研修医には1カ月研修が義務づけられており、ここで数多くの症例を経験することで、初期研修に必要な到達目標の達成がめざせます。



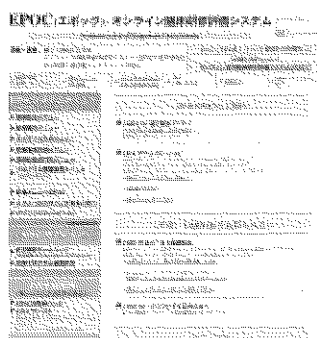
1 自由度の高い研修ローテーション

あえて内科系コース、外科系コースなどに分けた研修プログラムは設けていません。それは、2年間で選択できる研修枠が12カ月間あるため、皆さんの思いどおりの研修ができるからです。



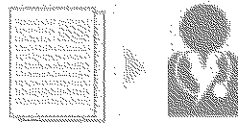
2. 外来研修の充実

当院では総合診療科を必修科目として外来研修を実施し、ウォークインの患者に対する初期診療能力向上のための研修をしており、コモンディジーズの患者に対する面接技法や身体診察の修得に力を入れております。



3. EPOC (オンライン臨床研修評価システム) による研修評価

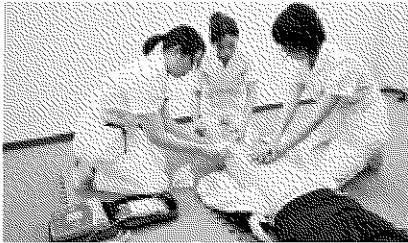
インターネットを介し、自己評価、指導医評価、研修体制評価、研修環境評価を行います。



研修事前レポートを提出

4. 目的意識を持って研修が行えるよう各種レポートを整備

研修開始前に研修目標設定を行い、前もって研修事前レポートを提出することで、研修先が受入準備を行うことができます。そのため、お互いの共通認識で目標を意識しながら研修が実施できます。また、研修が終了する前に研修目標を達成できたかどうか、研修事後レポートで振り返ることができ、指導医にフィードバックをしてもらえます。



5. 救命処置講習が必須

CPR+AEDコースの受講や日本救急医学会認定のICLSコースを受講できます。



6. CVラインプログラム

中心静脈ラインカテーテル挿入に関する学習を行います。安全に挿入が行えるよう、必要な知識・技能が身につけられます。

問い合わせ先

東京医科大学病院 卒後臨床研修センター

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

TEL 03-3342-6111 E-Mail skc@tokyo-med.ac.jp

東京医科大学八王子医療センター

病院の沿革・特徴

東京医科大学八王子医療センターは八王子市の誘致により、昭和55年4月に緑の丘に囲まれ、療養環境に恵まれた市の南西部に開設しました。大学病院としての教育・研究・診療に力を注ぐとともに、高度先進医療を提供できる地域医療の中核的役割を担い、東京都多摩地区の24時間応需の第三次救命救急センターとして活躍しており、ますます増大するニーズに応えるべく屋上にヘリポートを設置し、遠隔地からの重症救急患者の搬送にも対応できる体制となっております。また、厚生労働省指定の日本臓器移植ネットワーク腎臓・膵臓移植施設、移植検査センターや東京都指定の地域災害拠点中核病院となっており、地域医療の充実を図ってまいりました。東京都内でも著しい人口増加を遂げている多摩地域圏内に位置し、今後ますます高齢化が進む中最新の医療機器・設備の充実を図り、八王子市の中核病院として医療連携機能を一層緊密なものとして大学病院として評価していただける高度医療と質の高い医療を実践し、さらに患者様に信頼し納得していただけるより良い医療の提供に努めております。

研修プログラム参加診療科

血液内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、神経内科、消化器内科、腎臓内科、高齢診療科（旧老年病科）、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺科、消化器外科、移植外科、脳神経外科、小児科、麻酔科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、産科・婦人科、放射線科、泌尿器科、皮膚科、臨床検査医学科、精神科、救命救急センター、特定集中診療部、病理診断部、総合診療科、リウマチ性疾患治療センター、感染症科

施設概要

開設：昭和55年4月1日

所在地：東京都八王子市館町1163番地

敷地面積： 96,900 m²

建築延面積： 48,932 m²

病床数： 総病床数 610 床（一般602床、感染症8床）

第三次救命救急センター 30床

連絡先

東京医科大学八王子医療センター 卒後臨床研修センター事務局

〒193-0998 東京都八王子市館町1163

TEL：042-665-5611（内線2392）

FAX：042-629-0239 E-mail：h-kenshu@tokyo-med.ac.jp

聖マリアンナ医科大学病院

理念

生命の尊厳を重んじ、病める人を癒す、愛ある医療を提供します。

基本方針

1. 心の通い合う安全で良質な医療を提供します。
2. 人権を尊重し、十分な説明と同意のもとに社会に開かれた医療を行います。
3. 特定機能病院として高度な医療を提供すると共に地域の基幹病院として役割を担います。
4. 臨床研究を通じて医学・医療の発展に貢献します。
5. 生命の尊厳とキリスト教の愛の精神を規範とする医療人を育成します。

職員倫理指針

聖マリアンナ医科大学病院は、病院の理念及び基本方針に掲げる使命を達成するため、職員が遵守すべき行動の規範を、職員倫理指針として以下に定める。

1. 生命の尊厳を重んじ暖かい人間愛をもって患者の心を癒し苦痛を和らげるよう努めます。
2. 医療の安全管理に最大の注意を払い、事故発生時は事実を隠すことなく原因を究明しその再発防止に当たります。
3. 医療情報を正確かつ適正に記録・管理し、患者の権利とプライバシーを守ります。
4. 患者への説明と同意に基づく信頼される医療を提供します。
5. お互いの専門性を尊重し、連携を密にチーム医療を行います。
6. 病院の公共性を重んじ、法令及び諸規則を遵守します。

臨床研修センター

理念

医師としての使命感に燃え、優れた臨床技能と熱い情熱・魂を持ち、愛ある医療を実践できる良医を育成する。

基本方針

1. 日常臨床で頻繁に遭遇する疾患から専門性の高い疾患、救急疾患まで幅広く研修する。
2. 聖マリアンナ医科大学病院群として、基幹型研修病院、協力型研修施設が密接な連携を保ちながら、希望に沿った幅広い研修を行う。
3. 病院間・診療科間の垣根を越えた、働きやすい環境の元で研修する。
4. 協力型研修施設がそれぞれ病院の特徴を有効に活用し、研修医のキャリアデザインに合った研修を可能にする。
5. 最短での学位・専門医の取得を支援する。
6. 研修医が研修センター運営委員会に積極的に参加し、研修環境や研修内容の改善に努める。
7. 後期研修を見据えた研修を行う。

医療安全管理指針

目的

第1 本指針は、総合病院厚生中央病院における医療安全管理体制の確立、医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法等について、指針を示すことにより、適切な医療安全管理を推進し、安全な医療の提供に資することを目的とする。

医療安全管理に関する基本的考え方

第2 医療安全は、医療の質に関わる重要な課題である。また、安全な医療の提供は医療の基本となるものであり、各部門及び職員個人が、医療安全の必要性・重要性を部門及び自分自身の課題と認識し、医療安全管理体制の確立を図り安全な医療の遂行を徹底することがもっとも重要である。このため医療安全管理委員会、感染対策委員会および医療安全管理室を設置して医療安全管理体制を確立するとともに、医療内容の向上及び医療安全対策等に関する規程を作成する。また、ヒヤリ・ハット事例及び医療事故の評価分析により規程等の定期的な見直し等を行い、医療安全管理の強化充実を図る必要がある。

医療安全管理に係る体制確保のための組織等

第3 本院の安全管理体制の確保及び推進のため、次に掲げる組織、人員等を配置し、別途規程等に定める。

- (1) 医療安全管理委員会
- (2) 感染対策委員会
- (3) 医療安全管理室
- (4) 医療安全管理室および感染管理者
- (5) 医療機器安全管理責任者
- (6) 医薬品安全管理責任者

医療安全管理に係る体制確保のための組織等

第4 医療安全マニュアルを策定し職員へ周知するとともに、安全管理に関する組織的な研修を計画的に実施する。

医療事故発生時の対応

第5 医療事故が発生した場合には、患者に対しては医療上最善の処置を行うとともに、状況の悪化に直ちに対応できる体制を整備する。また、患者・家族等に対しては、誠実に速やかな事実の説明を行う。重大な医療過誤が発生した場合は、現場当事者のみならず病院全体が組織として対応する。

医療事故等の報告及び改善策の立案

第6 医療に係る安全管理の確保のために、患者に実害のない事例も含めて広く医療事故報告を収集し、調査・分析に基づく改善策の策定及びその実施状況の評価を行なう。

当該指針の閲覧

第7 本指針については、総合病院厚生中央病院のホームページに掲載するものとする。

患者相談に関する基本方針

第8 患者やその家族からの苦情及び相談については、相談窓口を設置し、医療内容に関するもの、入院院・医療福祉に関するもの、及びその他の苦情・相談に関するものについて、それぞれ体制を整備し適切に対応する。

その他

第9 医療安全の推進のため、医療安全マニュアル及び改善策の見直しを継続して行い、改正内容については、職員への周知徹底を速やかに行なう。

2 他の医療機関等の安全対策や医療事故等の有用な情報収集を行うとともに、医療安全対策の推進を図る機関への報告を行う。

附 則

この指針は、平成21年8月7日から施行する。

附 則

この指針は、平成22年6月1日から施行する。

附 則

この指針は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この指針は、平成25年5月20日から施行する。

総合病院厚生中央病院「説明と同意（インフォームドコンセント）」の手順

（平成21年3月1日制定）

最終改定 平成24年4月1日

1 総合病院厚生中央病院における説明と同意の指針（医師の診療指針）

いかなる診療行為に対しても、分かりやすい言葉で、理解できるまで説明し、同意を得てから診療を行わなければならない。

同意を得るに当たって、当診療行為が必要な理由、具体的な内容、予想される身体障害と合併症、行われない時に予想される結果と対応、その他を説明しなければならない。

また、「説明と同意」については記録として残さなければならない。

2 総合病院厚生中央病院における説明と同意の手順

（1）説明の内容

ア 健康状態、病状について

イ 治療計画の概要とその必要性について

ウ 代替的な治療法について

エ 予測される効果と不利益について

オ 他の医療機関で意見を聞くことのできる権利（セカンドオピニオン）について

カ 同意しない権利について

（2）説明の手順

ア 説明の時期は医療行為実施前できる限り早期に行う。

イ 説明者は原則として主治医とする。手術説明は執刀医が行う。

ウ 医療者側の立会い者として、説明者とは別の医師、あるいは看護師が同席すること。

患者さん側の立会い者は患者さんの希望する者とし、常識的な範囲の数とする。

エ 説明場所：プライバシーが保護される場所（外来では診察室、病棟ではカンファレンスルーム）とする。

オ 患者さんが未成年者、あるいは意識障害などで判断不可能と思われるときは、親、子、配偶者、祖父母、兄弟姉妹、3親等以内の親族、または法定代理人を代諾者とする。

（3）説明方法

ア 専門用語、外国語の使用は極力避けること。

イ 医療者側には常識的な事柄でも、かみ砕いて説明する。

ウ 説明資料（図や模型）を活用する。

エ 質問の機会を妨げない。

オ 医療者が推奨する医療行為を強要しない。

カ 理解が得られるまで、繰り返し説明する。

キ 障害者への配慮を忘れてはならない。

ク 患者さん側が希望する医療であっても、医学的合理性がない場合には拒否することができる。

(4) 説明書の記載

説明書は、読みやすく、患者さんにわかりやすい内容で記載する。侵襲を伴う検査や手術、麻酔については、別に一般論を記載した解説書類を用意することが望ましく、説明書には当該患者さんに見合った内容を記載する。

ア 侵襲を伴う検査の場合、説明書を記載する。血液検査や一般レントゲン検査などは、治療方針の説明に含める。

イ 手術説明書は局所麻酔、全身麻酔を問わず、すべての手術に適用する。

ウ 局所麻酔手術は麻酔説明書を使用せず、手術説明に含める。

エ 記載欄が不足した場合、別の説明書用紙を利用できる。

オ 外来においても、侵襲を伴う検査や手術は同様の手続きとする。

(5) 同意

同意は患者さん自らの判断により行うものであり、医療者が強要するような言動はしない。また、必ず説明書を読む時間、考える時間をとらなくてはならない。緊急時にもできる限り考える時間をとることが必要である。

不同意の場合には、次善の策について説明し、あらためて同意を得る。

患者さん側は医療行為前であれば、同意を撤回することができる。

(6) 総合病院厚生中央病院における説明書と同意書

ア 入院診療計画書および退院診療計画書

イ 抗生物質説明書・問診票

ウ 手術および麻酔の説明と同意書

エ 麻酔に関する説明と同意書

オ 輸血・血液製剤についての説明書と同意書

カ 感染症血液検査同意書

キ 化学療法同意書

ク 抑制に関する説明書と同意書

ケ 侵襲を伴う検査、処置等の説明と同意書

コ 患者さんの理解を深めるために、診療各科で独自に用いる検査、治療、手術等の説明書

(7) 説明書と同意書の作成の手順

説明書、同意書は、原則電子カルテシステム（文書作成）より作成する。説明文については、必要に応じ、当該患者さんに見合った内容を追記する。同意書は説明後、提出用、患者さん控と共に手渡すこと。提出のあった同意書は電子カルテシステムへの取り込みを行うもの以外のものは、病歴管理室で一元管理すること。

(8) 各種同意書等の作成の手順

ア 入院診療計画書

主治医あるいは外来担当医が、入院日までに、その時点での計画を「入院診療計画書」電子カルテに記載して患者に説明し、説明医師欄に署名をする。看護師は「入院診療計画書」の「その他」の項目に必要事項を記載、署名して、患者に説明する。患者から同意の署名を得た上で、完成された「入院診療計画書」の一部を患者に渡し、一部を患者ファイルにとじる。入院後作成される場合は、入院後24時間以内に作成する。患者用パスがある場合は入院診療計画書と兼ねる。

イ 侵襲を伴う検査、処置、治療の同意確認

外来担当医あるいは入院患者の主治医、担当医は当該診療行為について説明文書を渡して説明し、同意書の説明医師欄に署名する。その上で患者あるいは代諾者の署名を得る。診療行為実施前に実施医、看護師、検査技師(責任優先順)は同意書の有無を確認する。

造影CT、造影MRI等造影剤を静脈内投与する検査では、最終的に同意書が得られない場合、造影せずに検査を行う。

ウ 感染症血液検査同意書

外来担当医あるいは入院患者の主治医、担当医は、患者に感染症血液検査同意書を渡して説明し、説明医師欄に署名する。その上で、患者あるいは代諾者の署名を得る。一部を患者に渡し、一部を患者ファイルにとじる。採血実施者は同意書を確認の上、検査を実施する。

エ 手術室を使用する手術、検査等診療行為の「説明と同意」

入院診療では、予定術者が、予定される診療行為について、患者に説明文書を渡して説明する。同意書の説明医師の欄に署名し、患者あるいは代諾者から同意書に署名を得る。同意書と、患者に渡したものと同一の説明文書を患者ファイルにとじ、一部を患者に渡す。

外来診療では予定術者が入院患者と同様の「説明と同意」の手続きを行い、説明文書と同意書を病歴におろす。

麻酔医は患者に麻酔についての説明文書を渡して説明する。その上で同意書の説明医師欄に署名し、患者、あるいは、代諾者から同意の署名を得て診療録にファイルする。同意書の複写の一部を患者に渡す。

病棟看護師は、最終的に手術についての説明文書、同意書と麻酔についての同意書が、患者ファイルにとじられていることを確認した後に、患者を手術室に移送する。

外来手術では外来看護師が説明文書、同意書が揃っていることを確認する。

揃っていない場合、外来担当医に「説明と同意」の手続きを行うよう要請する。

手術室の看護師は患者の入室時に、診療録に手術についての説明文書、同意書、ならびに、麻酔についての同意書が患者ファイルにとじられていることを病棟看護師と共に確認する。すべて揃っていない場合には、患者は手術室内に移送できないものとする。

例外として、緊急手術で時間的猶予がない場合には説明文書と同意書が揃っていても、手

病室に入室できる。この場合は、口頭で同意を得た旨を入院診療録に記載する。

オ 病状、疾患の説明

1) 検査結果、処置結果、手術結果、病状の変化、病状認識の変更、合併症、診療方針の変更があった場合は速やかに説明する。説明内容と患者の反応を入院診療録に記載する。
重要なものは白紙の複写式説明書に説明内容を記載して、説明する。説明後、患者、あるいは、代諾者から署名を得た上で、一部を患者あるいは代諾者に渡し、一部を患者ファイルにとじる。患者本人に十分な同意の能力がない場合、親権者、配偶者、後見人、あるいは、これに準ずるものが代諾者となる。

2) 身体抑制

身体抑制が必要と判断された場合には、「身体抑制に関する同意書」に必要な事項を記載し、説明する。説明した医師と看護師が署名した上で、患者、あるいは、代諾者から同意の署名を得る。身体抑制開始後は医師、看護師は解除への努力を継続し、その記録を診療録に残す。

カ 「退院療養計画書」

主治医、担当医は、入院中に患者のケアの進行状況と、将来のケアについて、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、作業療法士、言語療法士、MSW等が記載した、それぞれの活動記録を読むとともに、意思疎通を図り、退院後のケアについて入院中に合意を形成する。また、退院に際して医師としての意見に加えて、関連コメディカルの意見を集約し、最終的に「退院療養計画書」を原則として退院1日前までに作成する。

看護師は退院時に「退院療養計画書」に必要な事項を「その他」の欄に記載し、署名する。医師の記載がない場合には主治医、担当医に記載を要請する。

(9) 患者が疾患についての理解を深めるために

診断がいたり治療方針が変わった場合の患者説明においては、各疾患の患者向けリーフレットや各診療科で作成した疾患説明文書などを適宜用いて、患者の理解が深まるよう努める。

新規または追加などの処方内容を説明するときは、患者の理解度を判断し、薬剤情報等を印刷して渡すことが有用とされた場合には電子カルテ内の薬剤情報検索Web等から印刷し渡す。

また、患者の求めがあった場合においても同様とする。

血液検査などの検査データは、説明とともに患者の要望に応じて印刷して渡す。渡す際は、患者の個人情報取り扱いになるため、対面で渡すことを原則とし第三者に渡してはならない。

医師の診療指針

厚生中央病院の医師は、患者さんの人格を尊重し、個人の秘密を守り、患者さんの健康と安全を優先し、患者さんの権利を損なうことなく診療を行わなければならない。

また、厚生中央病院の医師は、臨床研修指定病院として、現時点で考えられる最良の医療を提供するために、次のことを遵守して診療を行わなければならない。

1 説明と同意

いかなる診療行為に対しても、分かりやすい言葉で、理解できるまで説明し、同意を得てから診療を行わなければならない。

同意を得るに当たって、当診療行為が必要な理由、具体的な内容、予想される身体障害と合併症、行われない時に予想される結果と対応、その他を説明しなければならない。また、「説明と同意」については記録として残さなければならない。

2 チーム医療

病院で行われる医療はすべてチームとして行われなければならない。医師はチームのリーダーとして、他の関連スタッフの意見を尊重し、協力して質の高い安全な医療を提供しなければならない。

そのためには当該診療科において、医師は他の関連スタッフの参加のもと、定期的に症例検討会等を開き、一人の患者さんをチームとして診療しなければならない。

3 医師の任務

(1) 診療科責任医師（部長等）は、少なくとも週1回の管理者回診を行い、当該科の入院患者について、個々の医師の診療状況を把握し、必要時には助言と指導を行わなければならない。

(2) 主治医とは、患者さんの診療に主たる責任を有する医師であり、当該科における診療能力があることを条件に、診療科責任医師（部長等）が認定する。また診療科責任医師（部長等）も主治医を兼任できる。

主治医が不在になる時には、主治医の責任において、他の医師に代理を頼み、診療に関する情報を伝えなければならない。

主治医は担当患者を毎日診察し、患者さんの訴えに耳を傾け、それに誠実に答えなければならない。また、診察後速やかに必要事項を診療録に記載しなければならない。

- (3) 担当医とは、主治医の指示と指導の下で、主治医の診察を補佐する医師であり、初期臨床研修医が担当医として診療に参加する場合は、常に臨床研修指導医や主治医の指導の下で診療を行わなければならない。また、研修医の診療に対し指導医は常にそれを評価しなければならない。
- (4) 医師は、常に連絡先や必要事項を当該病棟等に知らせなければならない。
- (5) 医師は、自分の専門外の医学的判断が必要な時には、適切な他の診療科医師に相談しなければならない。

4 安全な医療

- (1) 医師は、常に最新の医学情報を入手し、診療に役立てるよう努力しなければならない。独りよがりの診療は決して行ってはならず、当該科の疾病に関する診療ガイドライン等を参考にして、診療科チームとして診療しなければならない。
- (2) 医師は、医療を安全に遂行するために「医療安全マニュアル」を遵守し、最大限の注意を払って診療を行わなければならない。
- (3) 医師は、医療事故が発生した時は、速やかに当該科責任医師（部長等）に報告し、当該科責任医師は速やかに医療安全管理室に報告する。緊急重大事には直接副院長に報告しなければならない。

5 診療成績の公表

診療科責任医師（部長等）は、当該診療科の主要疾患についてのデータベース（診療成績、疾病頻度、その他）を作成し、今後の診療内容の向上に役立てなければならない。また必要とされるデータは公表されることとする。

附 則

この指針は、平成21年3月1日から施行する。

別表 1

患者影響度分類



事故時点の患者の状態の影響レベル

※ 日本医療機能評価機構が用いる影響度分類に準ずる

レベル	影響度分類
レベル0	未然に防げたもの
レベル1	事故により患者への実害はなかったが、何らかの影響を与えた可能性がある場合。
レベル2	事故により患者への観察強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査の必要性が発生した場合。
レベル3a	事故のために簡単な処置や治療の必要性が生じた場合。(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
レベル3b	事故のために治療の必要性が生じた場合。(骨折、バイタルサインの高度変化、手術、入院日数の延長)
レベル4a	事故による永続的な障害や後遺症が残ったが有意な機能障害や美容上の問題は伴わない。
レベル4b	事故による永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う。
レベル5	事故が死因となる場合。

ヒヤリハット報告

アクシデント報告

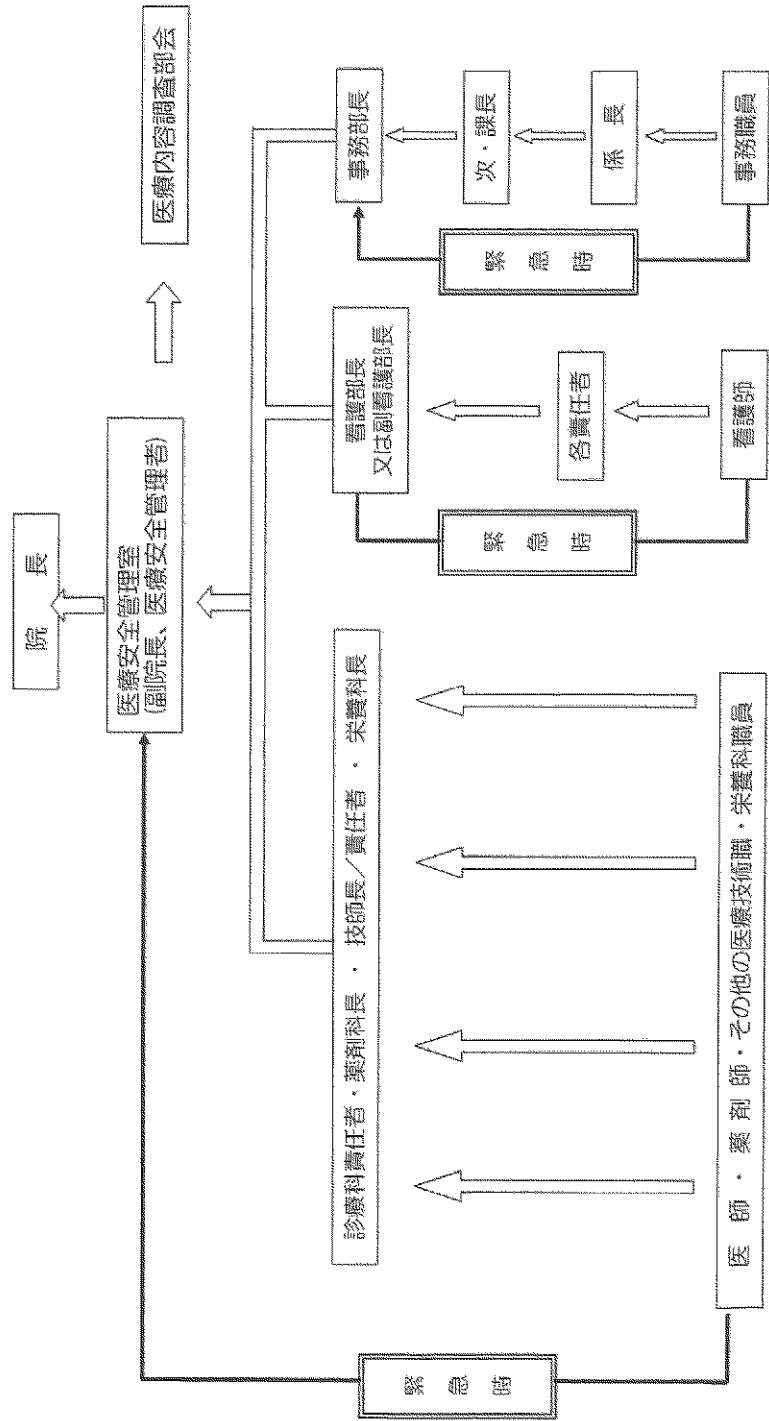
別表2

用語の定義とレポートの種類

レポートの名称	用紙	対象となる内容
ヒヤリハット 報告	A5 黄色	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 未然に防げたもの ➤ 患者に実施されたが大きな影響がなかった事例（3a以下） ➤ 警鐘的意義が大きいと思われる事例
アクシデントレ ポート	A4 白色	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 患者に実施されたもののうち、入院日数の延長や新たな治療が必要になった事例（3b以上） ➤ 警鐘的意義が非常に大きいと思われる事例
転倒転落 レポート	A4 白色	院内、敷地内で起きた転倒転落事故事例
術中・術後問題 症例報告書	A4 白色	<ol style="list-style-type: none"> 1.出血量が術前予想量の2倍を超えた 2.手術予定時間が2倍または2時間以上超えた 3.2週間以内の再手術 4.手術・麻酔中に患者に危機的状況が生じた 5.その他 <p style="text-align: right;">以上1～5のひとつにでも該当した事例</p>
麻薬事故報告書	A4 白色	麻薬に関する事故はこの用紙
CVC挿入実施 報告書	A4 白色	CVCカテーテルを挿入した全事例が対象
DV発見報告書	A4 白色	DV発見時に記入する

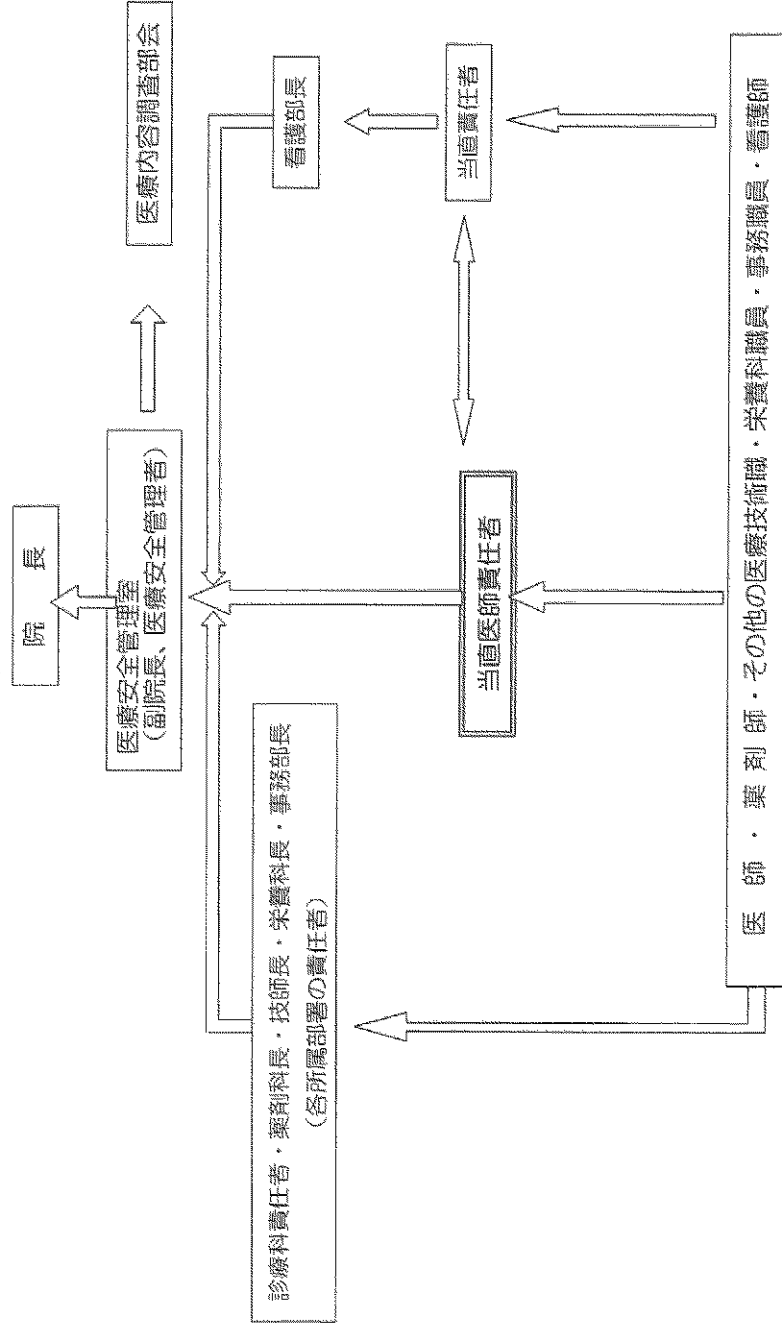
別表 3

重大アクシデント発生時の対応（通常時間内）

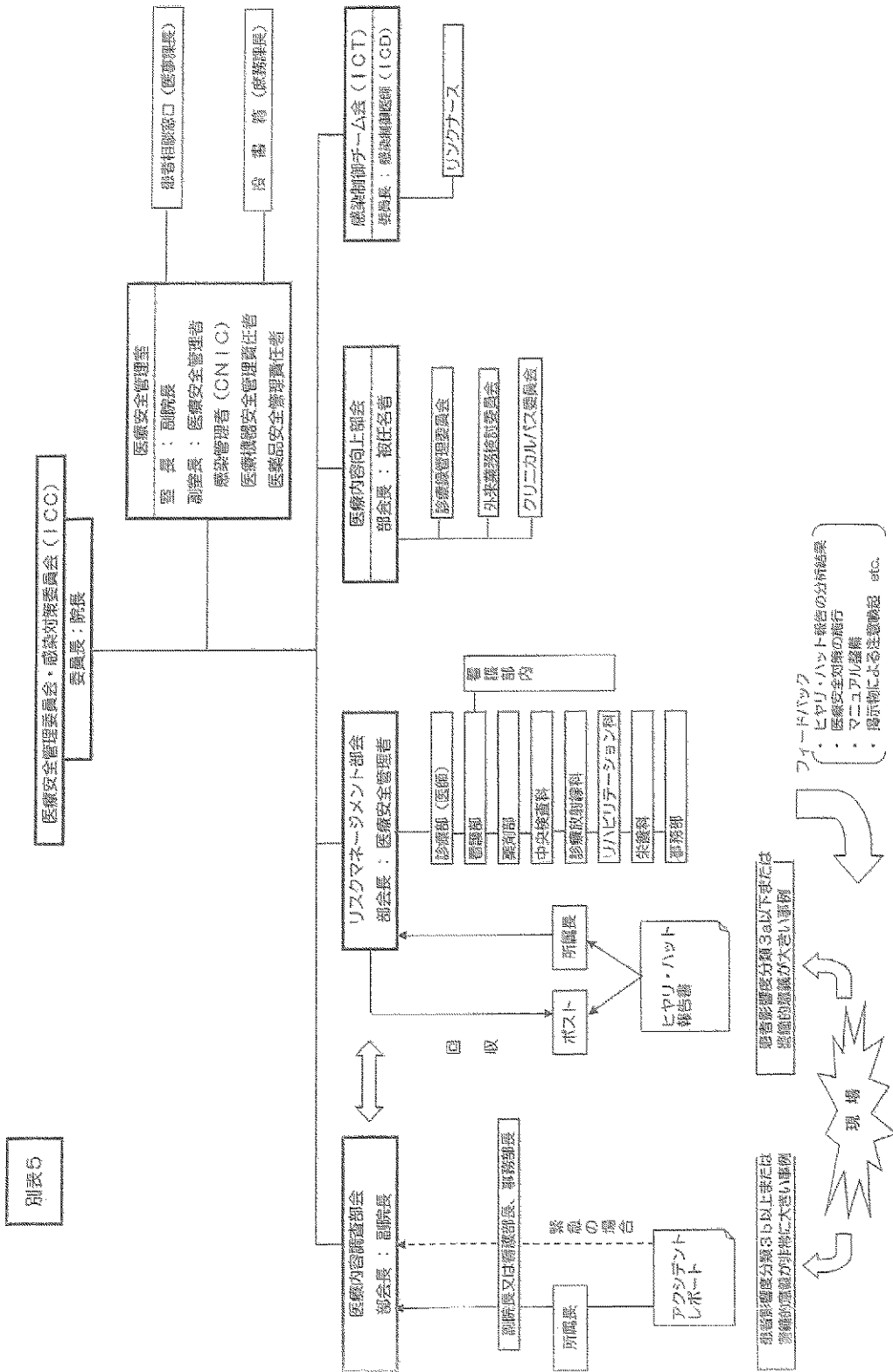


別表4

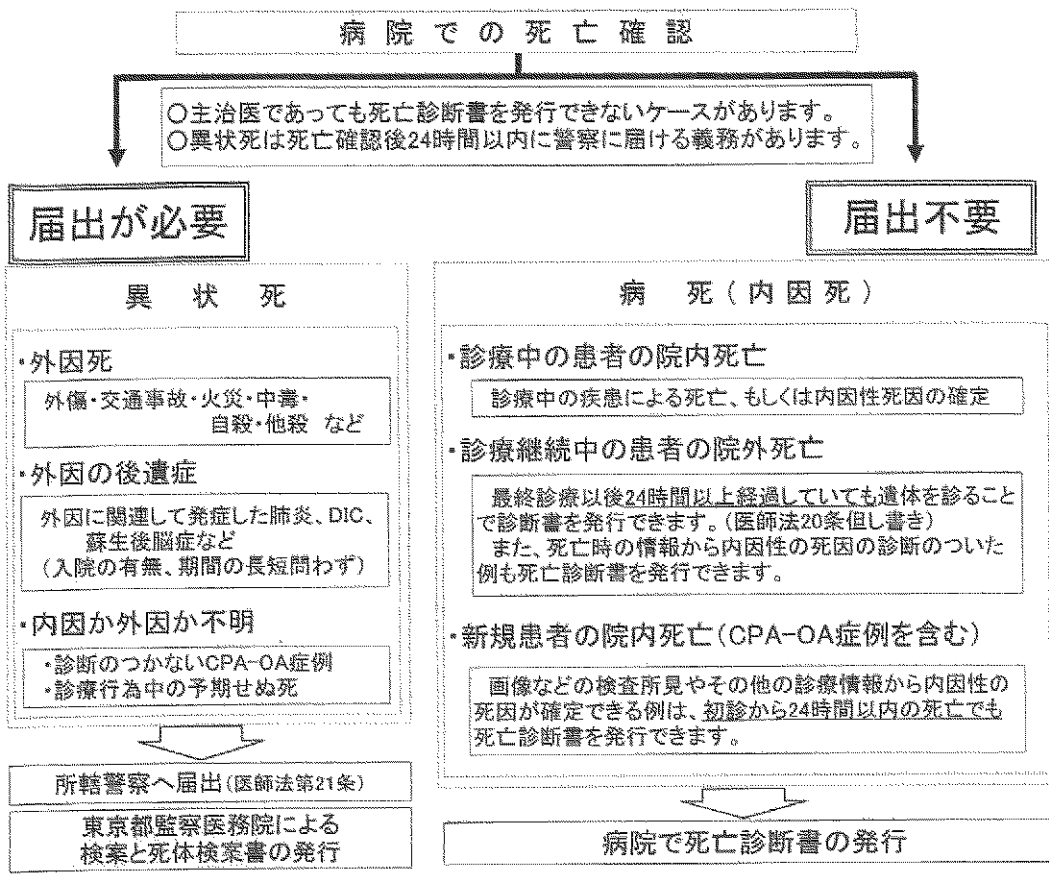
重大アクシデント発生時の対応（時間外・夜間）



医療安全のための組織構成



異状死の届出の判断基準



監察医務院からのお願い

<p>相談してください</p> <p>相談電話(監察医24時間対応) 090-3130-3389</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異状死として届出るべきか否か判断がつかない ・遺族が死因や診療経過に疑問を抱いている ・職務中の死亡(労災の適応と関連するため)
<p>ご協力ください</p> <p>死亡確認した患者が 検案対象となった場合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な死因確定のために生前の診療情報が不可欠です。既往歴、投薬状況、最終診療時の検査結果などの提供をお願いします。 ・原則として、所轄警察担当者へ診療情報を提供していただくこととなりますが、検案時、検案医が診療した医師から直接医学的な情報の提供を希望することがあります。 ・診療担当医が検案・解剖結果を照会する場合には、監察医務院(業務係)にご相談ください。

東京都監察医務院 〒112-0012 東京都文京区大塚4-21-18 電話03-3944-1481 FAX03-3944-7585

別 綴 1

内科系（総合内科）

目的（共通）

入院患者の一般的・全身的な診療とケア、及び一般診療で頻繁に関わる症候や内科的疾患に対応するために、幅広い内科的疾患に対する診療を行う。

臨床研修ガイドラインで定義されている24週以上の研修期間を当院では初診外来での一般外来研修を含めた32週とし、総合内科・循環器内科・消化器内科での病棟研修を含めた研修を行う。

特徴

呼吸器内科、神経内科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病内科、リウマチ膠原病内科、腎臓内科の専門外来を設け患者さんのニーズに合わせた外来診療を行っている。また初診外来では発熱、咳嗽など身近な症状への対応や健康診断結果の再検査、近隣クリニックからの紹介患者さんの診察など幅広く適切な医療の提供を目指している。

救急患者を始めとした重症患者さんは病態に応じて主治医を決め入院加療を行う。高齢化社会となり、複数疾患を抱えている患者も多く必要な場合は他科と連携をとり、チーム医療を構築している。

各々専門分野はあるが、週1回全員でカンファランスを行っている。違う視点だからこそ言える治療方針についてのアドバイスや難渋している症例に関わる議論をすることでより良い医療の提供を目指している。また、研修医を始めとする若い医師にとっては貴重な勉強の場となっている。

研修スケジュール

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9:00～ 12:00	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟
12:00～ 13:00					ランチョン セミナー	
13:00～ 17:00	外来または 病棟	病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	
17:00～ 18:00					カンファランス	

※ 病棟回診あり。

行動目標

・患者の呈する症状と身体所見、簡単な検査所見に基づいた鑑別診断を的確に実施し、初期治療を的確に行う能力を獲得すること。

内科系（循環器内科）

目的（共通）

入院患者の一般的・全身的な診療とケア、及び一般診療で頻繁に関わる症候や内科的疾患に対応するために、幅広い内科的疾患に対する診療を行う。

臨床研修ガイドラインで定義されている24週以上の研修期間を当院では初診外来での一般外来研修を含めた32週とし、総合内科・循環器内科・消化器内科での病棟研修を含めた研修を行う。

特徴

常勤の医師は日本循環器学会専門医、日本内科学会総合内科専門医・指導医、医学博士号の資格を全員が取得し、また医師それぞれがサブスペシャリティを持ち、日本循環器学会診療ガイドラインに沿った標準的な循環器診療を行っている。

一方で、我が国では超高齢化社会を迎え、退院のみを目標としていた時代は過ぎ、患者一人ひとりのニーズや人生観をもとにしたオーダーメイド医療も望まれている。当科では医師、看護師を始め、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床工学士、心不全緩和診療チームが密接にチームとして連携し、患者や家族との対話を大切にしながら、希望に沿った安心・信頼のできる医療提供を心がけている。

研修スケジュール

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9:00～ 12:00	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟
12:00～ 13:00					ランチオン セミナー	
13:00～ 17:00	病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	病棟	外来または 病棟	

※ C C U回診・C C Uカンファランスあり。

行動目標

- ・心臓病や血管疾患に代表される循環器疾患の診断と治療に関する知識と技術を修得すること。
- ・急性期循環器疾患に対する緊急検査及び救急治療を修得すること。
- ・慢性期循環器疾患の管理上の要点を修得すること。

内科系（消化器内科）

目的（共通）

入院患者の一般的・全身的な診療とケア、及び一般診療で頻繁に関わる症候や内科的疾患に対応するために、幅広い内科的疾患に対する診療を行う。

臨床研修ガイドラインで定義されている24週以上の研修期間を当院では初診外来での一般外来研修を含めた32週とし、総合内科・循環器内科・消化器内科での病棟研修を含めた研修を行う。

特徴

従来、消化器疾患は内科医が診断し、手術が必要な患者については外科医に紹介され治療が行われる流れであった。しかしながら最近、消化器疾患には内視鏡を使った診断や治療が行われることが多くなり、内科医と外科医が協力して診療を行う機会が増えてきた。消化器疾患に対して、より質の高い医療を提供するには内科と外科が今まで以上に協力して診療を行うことが求められている。

当院でも平成23年4月より消化器内科と消化器・一般外科を統合し、お互いに協力しながら診療を行う消化器病センターを設立した。

従来、消化器疾患に対して、内科を受診したらよいのか、外科を受診したらよいのか迷っていたことが、今後は、どのような消化器疾患に対しても対応できる窓口として消化器病センターを利用していただきたい。

地域の人々に、温かで、より質の高い安全な医療を提供することが我々の使命だと思っているので、消化器病センター設立に対して、宜しくご理解のほどお願いしたい。

研修スケジュール

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00～ 9:00				モーニング セミナー		
9:00～ 12:00	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟
12:00～ 13:00				ランチオン セミナー		
13:00～ 17:00	病棟	病棟	病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	

※ 上部・下部内視鏡検査、腹部超音波検査、病棟回診あり。

行動目標

- ・一般内科の研修に必要な、診療頻度の高い腹部領域の疾患の診断、対応、処置を経験すること。
- ・腹部診察法、画像診断、内視鏡検査（治療）はもとより、一般的な癌を持つ患者への診療（告知・ケア・疼痛管理・終末期医療）を経験すること。

外科系（消化器一般、乳腺呼吸器）

目的（共通）

一般診療において頻繁に関わる外科的疾患への対応、基本的な外科手技の習得、周術期の全身管理などに対応するために、幅広い外科的疾患に対する診療を行う。

臨床研修ガイドラインで定義されている4週以上の研修期間を当院では外科（消化器一般・乳腺呼吸器）以外に整形外科・脳神経外科を必修科目と定め病棟研修を含めた研修を行う。

特徴

（消化器一般）

従来、消化器疾患は内科医が診断し、手術が必要な患者については外科医に紹介され治療が行われる流れであった。しかしながら最近、消化器疾患には内視鏡を使った診断や治療が行われることが多くなり、内科医と外科医が協力して診療を行う機会が増えてきた。消化器疾患に対して、より質の高い医療を提供するには内科と外科が今まで以上に協力して診療を行うことが求められている。

当院でも平成23年4月より消化器内科と消化器・一般外科を統合し、お互いに協力しながら診療を行う消化器病センターを設立した。

従来、消化器疾患に対して、内科を受診したらよいのか、外科を受診したらよいのか迷っていたことが、今後は、どのような消化器疾患に対しても対応できる窓口として消化器病センターを利用していただきたい。

地域の人々に、温かで、より質の高い安全な医療を提供することが我々の使命だと思っているので、消化器病センター設立に対して、宜しくご理解のほどお願いしたい。

（乳腺呼吸器）

大きく分けて乳腺系と呼吸器系の二つの疾患系の診療を行っている。

《乳腺系》

中心となる疾患は言うまでもなく乳癌である。日本の乳癌は罹患・死亡ともに世界各国の中では最も低率の国に属しているが、最近急速に増加している。女性の全癌の中での罹患率は胃癌を抜いてトップになり、死亡率でも第5位となっている。また、乳房は女性のシンボルとも云うべき臓器であり、治すことを最優先に考えながら美容面も考慮する必要がある。

《呼吸器系》

主に二つの代表的疾患が対象である。一つは肺癌であり、年々増加し死亡率は全癌のトップである。症状が発現して発見された場合手遅れのことが多く、診断時手術可能な症例は全体の30～40パーセントに過ぎない。従って早期発見が肝要であり、そのため検診は重要な位置を占めている。

もう一つは比較的若年に発症し良性疾患の代表である自然気胸である。病態は一種の風船構造を呈する肺表面の膜に、小さな穴があきパンクする病気である。突然に発症するため救急対象疾患であり、応急処置およびその後の根治手術が必要となる。

研修スケジュール

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00～ 9:00				モーニング セミナー		
9:00～ 12:00	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟
12:00～13:00						
13:00～ 17:00	病棟	病棟	病棟	病棟	外来または 病棟	

※ 病棟回診あり。

行動目標

- ・最低限の外科的臨床能力を身につけ、日常診療で頻繁に遭遇する外科的な病気や病態に適切に対応できること。
- ・開胸・閉胸のアシストを目標とし、呼吸器疾患全般の診断に必要な基礎的知識と技能を身につけること。
- ・ホルモン標的臓器で、女性にとってかけがいのない乳房について、その構造、機能、重要性を理解した上で、乳癌をはじめとした乳腺疾患の病態を理解し、最新の診断、治療を修得すると同時に、ひとりの人間として患者と向き合う医師の基本姿勢を修得すること。

外科系（整形外科）

目的（共通）

一般診療において頻繁に関わる外科的疾患への対応、基本的な外科手技の習得、周術期の全身管理などに対応するために、幅広い外科的疾患に対する診療を行う。

臨床研修ガイドラインで定義されている4週以上の研修期間を当院では外科（消化器一般・乳腺呼吸器）以外に整形外科・脳神経外科を必修科目と定め病棟研修を含めた研修を行う。

特徴

地域に密着した一般病院という立場を生かし、身近な整形外科であることを心掛けています。またチームで診療することで専門性と一般性を両立させ、「人を診る」との観点を忘れずに診療を行っている。

とくに「骨折治療」「人工関節」「脊椎手術」「手外科」「膝の外科」「骨粗鬆症」などが当科の得意とする分野で、整形外科疾患の主な分野は守備範囲内である。

整形外科は約60～70床を使用している。整形外科医師をはじめ、看護スタッフ、リハビリテーションスタッフ、薬剤師スタッフ、栄養科スタッフなどがチームとして診療を行っている。

リハビリテーションスタッフも充実して、入院・手術から外来治療まで一貫したリハビリテーションを行っている。

骨粗鬆症による脆弱性骨折、とくに大腿骨近位部骨折や脊椎圧迫骨折は当科で多くの方の治療を行っているが、身体機能の回復には時間が必要である。当院では初期の病態が落ち着いた後、「地域包括ケア病棟」に移り、リハビリテーションを行いながら退院後の準備をすることができる。

2020年春より、東邦大学大橋病院整形外科と連携している。難しい疾患や、それぞれが得意とする疾患を紹介することで、連携して治療することを目指している。

研修スケジュール

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00～9:00						
9:00～ 12:00	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟
12:00～13:00						
13:00～ 17:00	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	

※ 病棟回診あり。

行動目標

- ・運動器慢性疾患（変形性関節症、腰椎椎間板ヘルニア、骨粗鬆症等）や腫瘍性疾患の重要性と特殊性について理解し、疾患および病態、診断および治療についての治療体系の基本を習得し、初歩的な検査手技や手術方法について習熟すること。
- ・運動器救急疾患・外傷に対応できる基本的な初期診療能力を修得する。骨折、関節の脱臼および靭帯損傷などの外傷の初期治療、開放骨折などの救急疾患への対応についての基本的な診断・治療技術の理解を深めること。

外科系（脳神経外科）

目的（共通）

一般診療において頻繁に関わる外科的疾患への対応、基本的な外科手技の習得、周術期の全身管理などに対応するために、幅広い外科的疾患に対する診療を行う。

臨床研修ガイドラインで定義されている4週以上の研修期間を当院では外科（消化器一般・乳腺呼吸器）以外に整形外科・脳神経外科を必修科目と定め病棟研修を含めた研修を行う。

特徴

急性期脳卒中、神経外傷に対するエビデンスに基づいた治療選択。低侵襲治療の優先。

- 急性期脳梗塞に対するt-PA投与や急性期血栓回収術の実践。

- 脳動脈瘤に対する治療適応の判定。開頭クリッピング。

血管内治療の選択肢推奨。

- 脳出血に対する手術適応判定。低侵襲治療の実践。

脳腫瘍や脊椎・脊髄疾患に対し、症例毎に最適な治療方針を推奨し、実践する。

- 良性・悪性脳腫瘍に関するセカンドオピニオン、専門医の紹介を含めた治療の推奨。

- 脊椎・脊髄疾患の手術適応の判定。低侵襲治療の実践。

三叉神経痛・顔面痙攣などの機能的脳神経外科疾患に、治癒を目指した治療を推奨する。

- 微小血管減圧術の世界的権威による手術の実践。

研修スケジュール

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00~9:00						
9:00~12:00	外来または病棟	外来または病棟	外来または病棟	外来または病棟	外来または病棟	外来または病棟
12:00~13:00						
13:00~17:00	病棟	外来または病棟	病棟	病棟	外来または病棟	

※ 病棟回診あり。

行動目標

- 神経疾患の基本な知識、技術の修得と人間性豊かな臨床医の教育を目標とし、一般に敬遠されがちな神経疾患や意識障害の診断治療を基本から系統的に習得すること。

小児科

目的

小児の心理・社会的側面に配慮しつつ、新生児期から思春期までの各発達段階に応じた総合的な診療を行うために、幅広い小児科疾患に対する診療を行う病棟研修を含むこと。

臨床研修ガイドラインで定義されている4週以上の研修期間を当院では初診外来での一般外来研修を含めた5週とし研修を行う。

特徴

小児科専門医による丁寧な診察を心がけ、また色々な相談も受けている。

総合病院の特性を活かした、様々な検査等を提案する。

大学病院等の専門医療機関との連携を密にとっている。

定期接種はもちろん、インフルエンザ・おたふくかぜ・A型肝炎等の任意接種や、シナジスの接種も行っている。

小児消化器科医と小児神経科医が診療にあたっている。

研修スケジュール

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00~9:00						
9:00~ 12:00	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟
12:00~13:00						
13:00~ 17:00	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	外来または 病棟	

※ 病棟回診あり。

行動目標

・将来の専門性にかかわらず、新生児と小児科の日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につけること。

・新生児と小児医療の地域的な役割を理解すること。

産婦人科

目的

妊娠・出産、産婦人科疾患、思春期や更年期における医学的対応をなどを含む一般診療において、頻繁に遭遇する女性の健康問題への対応等を習得するために、幅広い産婦人科領域に対する診療を行う。

臨床研修ガイドラインで定義されている病棟研修を含む4週以上の研修期間を実施。経験すべき症候の妊娠・出産だけでなく生殖内分泌、周産期、婦人科腫瘍ならびに、女性のヘルスケアに関する基本的知識・技能を経験する研修を行う。

特徴

2017年から婦人科腫瘍専門医池田俊一医師を迎え、悪性腫瘍の治療を開始した。良・悪性共に疾患に対し、患者さんのニーズに応じた治療計画を行う。

妊娠から分娩まで、専門技師による超音波スクリーニング、助産師外来を通じて慎重に管理をする。

研修スケジュール

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00~9:00	抄読会					
9:00~12:00	外来または病棟	外来または病棟	外来または病棟	外来または病棟	外来または病棟	外来または病棟
12:00~13:00						
13:00~17:00	外来または病棟	外来または病棟	外来または病棟	外来または病棟	外来または病棟	

※ 病棟回診あり。

行動目標

思春期、妊娠・分娩産褥を含む成熟期、更年期の産婦人科の診療、治療に関しての問題点を把握し、診断、治療計画をたてられること。

産科	婦人科
<ul style="list-style-type: none">母体、胎児、胎児付属先、産褥、新生児の整理の基本を理解する産科の基本的診療方法の理解産科の基本的検査の理解産科の治療法および分娩管理の理解妊娠産褥に対する薬物療法の理解正常分娩の管理を経験する妊娠初期の出血・腹痛の経験をする	<ul style="list-style-type: none">女性生殖器の解剖・生理を理解する女性の加齢と性周期に伴うホルモン環境変化の理解産婦人科手術療法の理解婦人科薬物療法についての理解婦人科急性腹痛症についての急性腹痛症系統診断の理解

救急部門（麻酔科）

目的（共通）

頻度の高い症候と疾患、緊急性の高い病態に対する初期救急対応の研修を含むこと。

臨床研修ガイドラインで定義されている12週以上の研修期間のうち、当院では麻酔科における研修を4週行う。

特徴

全ての常勤麻酔科医が麻酔科専門医または指導医（日本麻酔科学会）の資格を持ち、手術室の麻酔管理を行っている。

術中の麻酔管理だけでなく、持続硬膜外麻酔や神経ブロック、点滴から持続的に鎮静薬を投与する方法(IV-PCA)で、患者さんの痛みを積極的に和らげるように努力しています。特に神経ブロックを積極的に行っている。

麻酔科外来にて、毎日術前診察を行っている。

研修スケジュール

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:30～9:00	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	
9:00～ 12:00	手術室/麻酔管理・外来	手術室/麻酔管理・外来	手術室/麻酔管理・外来	手術室/麻酔管理・外来	手術室/麻酔管理・外来	手術室/麻酔管理・外来
12:00～13:00						
13:00～ 17:00	手術室/麻酔管理	手術室/麻酔管理	手術室/麻酔管理	手術室/麻酔管理	手術室/麻酔管理	

※ 術後回診あり。

行動目標

・全ての医師に求められる、麻酔科の基本的な診療に必要な知識、技術を習得できること。

救急部門（救急外来）

目的（共通）

頻度の高い症候と疾患、緊急性の高い病態に対する初期救急対応の研修を含むこと。

臨床研修ガイドラインで定義されている12週の研修期間のうち、当院では麻酔科における研修を4週行う。

特徴

主に2次救急の患者の受け入れと診療に従事する。

独立した救急科がないが、救急研修として平日時間内の救急当番と時間外の日当直を行う。

研修スケジュール

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00～9:00						
9:00～ 12:00	救急外来	救急外来	救急外来	救急外来	救急外来	救急外来
12:00～13:00						
13:00～ 17:00	救急外来	救急外来	救急外来	救急外来	救急外来	

行動目標

- ・必要な救急患者に対する初期治療法を理解し習得すること。
- ・緊急データを評価する能力を持ち、全身状態を把握することができること。

別
綴
2

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030166

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター佐倉病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
消化器内科・内科・内科救急	松岡 克善	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	27	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		3・4
消化器内科・内科・内科救急	山田 哲弘	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	19	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科・内科救急	岩下 裕明	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	12	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科・内科救急	菊地 秀昌	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	16	○	第30回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科・内科救急	中村 健太郎	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	22	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科・内科救急	宮村 美幸	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	15	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科・内科救急	木村 道明	東邦大学医療センター佐倉病院	院内助教	9	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	清水 一寛	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	25	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	高橋 真生	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	25	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	木下 利雄	東邦大学医療センター佐倉病院	院内講師	17	○	三井記念病院指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	美甘 周史	東邦大学医療センター佐倉病院	院内講師	19	○	第18回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	伊藤 拓朗	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	10	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	岩川 幹弘	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	10	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	佐藤 修司	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	16	○	平成28年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	杉崎 雄太	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	10	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	中神 隆洋	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	19	○	第21回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科・内科救急	松澤 康雄	東邦大学医療センター佐倉病院	臨床教授	32	○	第6回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本内科学会認定医・指導医		4
呼吸器内科・内科・内科救急	若林 宏樹	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	10	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿病・内分泌・代謝・内科・内科救急	齋木 厚人	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	25	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
糖尿病・内分泌・代謝・内科・内科救急	清水 直美	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	31	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿病・内分泌・代謝・内科・内科救急	渡邊 康弘	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	12	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病科	金子 開知	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	19	○	第17回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎臓内科・内科・内科救急	大橋 靖	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	26	○	第4回東邦大学医学部指導医講習会受講済		3・4
腎臓内科・内科・内科救急	山崎 恵介	東邦大学医療センター佐倉病院	院内講師	17	○	独立行政法人国立病院機構関東東越ブロック平成23年度臨床研修指導医養成講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	大城 崇司	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	27	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	土屋 勝	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	30	○	第23回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	佐藤 雄	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	20	○	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院第7回臨床研修指導医養成ワークショップ受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	瓜田 祐	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	19	○	第21回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	北原 知晃	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	16	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	門屋 健吾	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	13	○	第32回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	佐藤 礼実	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	14	○	第30回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	田中 宏	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	23	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	鍋倉 大樹	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	10	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	若松 高太郎	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	21	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科・外科救急	本村 昇	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	38	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科・外科救急	田中 千陽	東邦大学医療センター佐倉病院	臨床講師	15	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030166

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター佐倉病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
心臓血管外科・外科・外科救急	塩屋 雅人	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	14	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器外科・外科・外科救急	佐野 厚	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	23	○	第8回東京大学医学部附属病院指導医講習会受講済		3・4
呼吸器外科・外科・外科救急	長島 誠	東邦大学医療センター佐倉病院	臨床教授	35	○	第6回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・専門医		4
乳腺内分泌外科・外科・外科救急	榊原 雅裕	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	29	○	第39回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科・外科救急	根本 匡章	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	31	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科・外科救急	榊田 博之	東邦大学医療センター佐倉病院	院内講師	20	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
脳神経外科・外科救急	内野 圭	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	11	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科・外科救急	長尾 考晃	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	12	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	中川 晃一	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	33	○	第3回千葉県臨床研修指導医養成講習会受講済		4
整形外科・外科救急	中島 新	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	28	○	第16回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	園部 正人	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	25	○	平成28年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	赤津 頼一	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	18	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	小山 慶太	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	10	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	齊藤 淳哉	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	15	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	乗本 将輝	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	13	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	山田 学	東邦大学医療センター佐倉病院	院内助教	12	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	山本 景一郎	東邦大学医療センター佐倉病院	院内助教	10	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	鈴木 啓悦	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	33	○	第18回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	神谷 直人	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	25	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	内海 孝信	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	17	○	第21回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	遠藤 匠	東邦大学医療センター佐倉病院	院内講師	20	○	第21回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	岡 了	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	14	○	第33回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	加藤 精二	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	10	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	杉崎 裕香	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	8	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	宋本 尚俊	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	10	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	太田 康	東邦大学医療センター佐倉病院	臨床教授	36	○	第18回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	牛尾 宗貴	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	26	○	東京大学医学部附属病院指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	黒崎 元良	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	20	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	高浪 太郎	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	19	○	第18回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	田中 稔文	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	20	○	第20回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	八木 文彦	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	29	○	第3回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	橋本 りゆう也	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	13	○	第33回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	麻生 健一郎	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	12	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	矢田 圭介	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	10	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	山崎 僚	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	8	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	樋口 哲也	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	29	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 皮膚科専門医		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030166

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター佐倉病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
皮膚科	三津山 信治	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	18	○	第18回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	秋本 訓秀	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	9	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	安部 文人	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	16	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	寺田 一志	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	38	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
放射線科	磯部 公一	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	31	○	第21回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	稲岡 努	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	25	○	旭川医科大学病院指導医講習会受講済		4
放射線科	石川 ルミ子	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	16	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	粕谷 秀輔	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	17	○	第20回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	中塚 智也	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	16	○	第23回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
形成外科	林 明照	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	40	○	第6回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会外科専門医 日本形成外科学会専門医		4
形成外科	山崎 俊	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	18	○	RyuMIC臨床研修指導医養成セミナー受講済		4
救急	一林 亮	東邦大学医療センター大森病院	講師	19	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	北村 享之	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	27	○	第17回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	甲田 賢一郎	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	19	○	第16回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	鴫澤 將	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	16	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	佐藤 可奈子	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	22	○	第30回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	金村 英秋	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	31	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	川瀬 泰浩	東邦大学医療センター佐倉病院	臨床教授	38	○	第4回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本小児科学会認定医 日本周産期・新生児医学会新生児専門医		4
小児科	井村 求基	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	16	○	第33回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	鈴木 沙耶香	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	13	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	高島 明子	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	23	○	第6回千葉県臨床研修指導医養成講習会受講済		4
産婦人科	石田 洋昭	東邦大学医療センター佐倉病院	院内講師	19	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	萬来 めぐみ	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	14	○	第33回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	田杭 千穂	東邦大学医療センター佐倉病院	院内助教	8	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
精神科	桂川 修一	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	39	○	第1回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本精神神経学会専門医 日本医師会認定産業医		4
精神科	小山 文彦	東邦大学医療センター佐倉病院	臨床教授	32	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
精神科	松崎 淳人	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	31	○	国立病院機構 指導医講習会受講済		4
精神科	林 果林	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	25	○	第4回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本内科学会認定内科医 心身医療「内科」専門医		4
臨床検査部	武城 英明	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	40	○	第21回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
病理診断科	蛭田 啓之	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	38	○	第3回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本病理学会病理専門医 日本臨床細胞学会細胞診指導医		3・4
病理診断科	杉浦 善弥	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	19	○	第39回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
経営企画室	吉田 友英	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	38	○	第3回東邦大学医学部指導医講習会受講済		3

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030166

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター佐倉病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
------	----	----	----	------------	--	-----	---------	---

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること)。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030166

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター佐倉病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
消化器内科・内科・内科救急	松岡 克善	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	28	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		3・4
消化器内科・内科・内科救急	山田 哲弘	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	20	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科・内科救急	岩下 裕明	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	13	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科・内科救急	菊地 秀昌	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	17	○	第30回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科・内科救急	中村 健太郎	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	23	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科・内科救急	宮村 美幸	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	16	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科・内科救急	木村 道明	東邦大学医療センター佐倉病院	院内助教	10	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	清水 一寛	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	26	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	高橋 真生	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	26	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	木下 利雄	東邦大学医療センター佐倉病院	院内講師	18	○	三井記念病院指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	美甘 周史	東邦大学医療センター佐倉病院	院内講師	20	○	第18回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	伊藤 拓朗	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	岩川 幹弘	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	佐藤 修司	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	17	○	平成28年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	杉崎 雄太	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	11	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科・内科救急	中神 隆洋	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	20	○	第21回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科・内科救急	松澤 康雄	東邦大学医療センター佐倉病院	臨床教授	33	○	第6回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本内科学会認定医・指導医		4
呼吸器内科・内科・内科救急	若林 宏樹	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿病・内分泌・代謝・内科・内科救急	齋木 厚人	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	26	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
糖尿病・内分泌・代謝・内科・内科救急	清水 直美	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	32	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿病・内分泌・代謝・内科・内科救急	渡邊 康弘	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	13	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病科	金子 開知	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	20	○	第17回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎臓内科・内科・内科救急	大橋 靖	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	27	○	第4回東邦大学医学部指導医講習会受講済		3・4
腎臓内科・内科・内科救急	山崎 恵介	東邦大学医療センター佐倉病院	院内講師	18	○	独立行政法人国立病院機構関東越後ブロック平成23年度臨床研修指導医養成講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	大城 崇司	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	28	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	土屋 勝	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	31	○	第23回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	佐藤 雄	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	21	○	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院第7回臨床研修指導医養成ワークショップ受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	瓜田 祐	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	20	○	第21回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	北原 知晃	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	17	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	門屋 健吾	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	14	○	第32回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	佐藤 礼実	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	15	○	第30回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	田中 宏	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	24	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	鍋倉 大樹	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科・外科救急	若松 高太郎	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	22	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科・外科救急	本村 昇	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	39	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科・外科救急	田中 千陽	東邦大学医療センター佐倉病院	臨床講師	16	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030166

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター佐倉病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
心臓血管外科・外科・外科救急	塩屋 雅人	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	15	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器外科・外科・外科救急	佐野 厚	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	24	○	第8回東京大学医学部附属病院指導医講習会受講済		3・4
呼吸器外科・外科・外科救急	長島 誠	東邦大学医療センター佐倉病院	臨床教授	36	○	第6回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・専門医		4
乳腺内分泌外科・外科・外科救急	榊原 雅裕	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	30	○	第39回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科・外科救急	根本 匡章	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	32	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科・外科救急	榊田 博之	東邦大学医療センター佐倉病院	院内講師	21	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
脳神経外科・外科救急	内野 圭	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	12	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科・外科救急	長尾 考晃	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	13	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	中川 晃一	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	34	○	第3回千葉県臨床研修指導医養成講習会受講済		4
整形外科・外科救急	中島 新	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	29	○	第16回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	園部 正人	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	26	○	平成28年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	赤津 頼一	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	19	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	小山 慶太	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	齊藤 淳哉	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	16	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	乗本 将輝	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	14	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	山田 学	東邦大学医療センター佐倉病院	院内助教	13	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科救急	山本 景一郎	東邦大学医療センター佐倉病院	院内助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	鈴木 啓悦	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	34	○	第18回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	神谷 直人	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	26	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	内海 孝信	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	18	○	第21回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	遠藤 匠	東邦大学医療センター佐倉病院	院内講師	21	○	第21回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	岡 了	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	15	○	第33回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	加藤 精二	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	杉崎 裕香	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	9	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科・外科救急	宋本 尚俊	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	太田 康	東邦大学医療センター佐倉病院	臨床教授	37	○	第18回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	牛尾 宗貴	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	27	○	東京大学医学部附属病院指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	黒崎 元良	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	21	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	高浪 太郎	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	20	○	第18回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	田中 稔文	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	21	○	第20回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	八木 文彦	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	30	○	第3回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	橋本 りゆう也	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	14	○	第33回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	麻生 健一郎	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	13	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	矢田 圭介	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	11	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	山崎 僚	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	9	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	樋口 哲也	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	30	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 皮膚科専門医		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030166

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター佐倉病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
皮膚科	三津山 信治	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	19	○	第18回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	秋本 訓秀	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	10	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	安部 文人	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	17	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	寺田 一志	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	39	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
放射線科	磯部 公一	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	32	○	第21回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	稲岡 努	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	26	○	旭川医科大学病院指導医講習会受講済		4
放射線科	石川 ルミ子	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	17	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	粕谷 秀輔	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	18	○	第20回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	中塚 智也	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	17	○	第23回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
形成外科	林 明照	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	41	○	第6回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会外科専門医 日本形成外科学会専門医		4
形成外科	山崎 俊	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	19	○	RyuMIC臨床研修指導医養成セミナー受講済		4
救急	一林 亮	東邦大学医療センター大森病院	講師	20	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	北村 享之	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	28	○	第17回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	甲田 賢一郎	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	20	○	第16回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	鴫澤 將	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	17	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	佐藤 可奈子	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	23	○	第30回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	金村 英秋	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	32	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	川瀬 泰浩	東邦大学医療センター佐倉病院	臨床教授	39	○	第4回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本小児科学会認定医 日本周産期・新生児医学会新生児専門医		4
小児科	井村 求基	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	17	○	第33回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	鈴木 沙耶香	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	14	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	高島 明子	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	24	○	第6回千葉県臨床研修指導医養成講習会受講済		4
産婦人科	石田 洋昭	東邦大学医療センター佐倉病院	院内講師	20	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	萬来 めぐみ	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	15	○	第33回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	田杭 千穂	東邦大学医療センター佐倉病院	院内助教	9	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
精神科	桂川 修一	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	40	○	第1回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本精神神経学会専門医 日本医師会認定産業医		4
精神科	小山 文彦	東邦大学医療センター佐倉病院	臨床教授	33	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
精神科	松崎 淳人	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	32	○	国立病院機構 指導医講習会受講済		4
精神科	林 果林	東邦大学医療センター佐倉病院	講師	26	○	第4回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本内科学会認定内科医 心身医療「内科」専門医		4
臨床検査部	武城 英明	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	41	○	第21回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
病理診断科	蛭田 啓之	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	39	○	第3回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本病理学会病理専門医 日本臨床細胞学会細胞診指導医		3・4
病理診断科	杉浦 善弥	東邦大学医療センター佐倉病院	助教	20	○	第39回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
経営企画室	吉田 友英	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	39	○	第3回東邦大学医学部指導医講習会受講済		3

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030166

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター佐倉病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
------	----	----	----	------------	--	-----	---------	---

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること)。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
総合診療・急病センター・内科	瓜田 純久	東邦大学医療センター大森病院	教授	38	○	第15回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
総合診療・急病センター・内科	前田 正	東邦大学医療センター大森病院	講師	18	○	第20回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
総合診療・急病センター・内科	佐々木 陽典	東邦大学医療センター大森病院	講師	17	○	第23回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
総合診療・急病センター・内科	宮崎 泰斗	東邦大学医療センター大森病院	講師	23	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
総合診療・急病センター・内科	小松 史哉	東邦大学医療センター大森病院	助教	9	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
総合診療・急病センター・内科	山田 篤史	東邦大学医療センター大森病院	助教	9	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
総合診療・急病センター・内科	佐藤 高広	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	11	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	松田 尚久	東邦大学医療センター大森病院	教授	29	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科・臨床生理機能検査部	永井 英成	東邦大学医療センター大森病院	臨床教授	33	○	第20回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	岡野 直樹	東邦大学医療センター大森病院	准教授	29	○	第23回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	和久井 紀貴	東邦大学医療センター大森病院	准教授	26	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	糀山 浩一	東邦大学医療センター大森病院	講師	27	○	第23回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	藤本 愛	東邦大学医療センター大森病院	講師	22	○	独立行政法人国立病院機構指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	宅間 健介	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	19	○	第30回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	松井 哲平	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	21	○	第27回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	岩崎 将	東邦大学医療センター大森病院	助教	15	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	小野 真史	東邦大学医療センター大森病院	助教	17	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	木村 祐介	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第24回全国労災病院臨床研修指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	木村 隆輔	東邦大学医療センター大森病院	助教	17	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	清水 良	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	大道 泰子	東邦大学医療センター大森病院	助教	25	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	鳥羽 崇仁	東邦大学医療センター大森病院	助教	17	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	淵之上 和弘	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	北條 紋	東邦大学医療センター大森病院	助教	9	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	向津 隆規	東邦大学医療センター大森病院	助教	16	○	第35回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	山口 和久	東邦大学医療センター大森病院	助教	17	○	第32回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	池田 隆徳	東邦大学医療センター大森病院	教授	37	○	第17回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	天野 英夫	東邦大学医療センター大森病院	准教授	27	○	第20回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	藤野 紀之	東邦大学医療センター大森病院	准教授	23	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	木内 俊介	東邦大学医療センター大森病院	講師	21	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		3・4
循環器内科・内科	中西 理子	東邦大学医療センター大森病院	講師	22	○	第32回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	矢部 敬之	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	16	○	第35回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	大久保 亮	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	17	○	第33回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	小原 浩	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	佐地 真育	東邦大学医療センター大森病院	助教	9	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
循環器内科・内科	篠原 正哉	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第4回三井記念病院臨床研修指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	土橋 慎太郎	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	野池 亮太	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第49回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	八尾 進太郎	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	矢野 健介	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第49回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	和田 遼	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	小島 至正	東邦大学医療センター大森病院	助教(任期)	9	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	小松 洋介	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	9	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	岸 一馬	東邦大学医療センター大森病院	教授	33	○	第2回国家公務員共済組合連合会病院臨床研修指導医養成講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	坂本 晋	東邦大学医療センター大森病院	准教授	26	○	第17回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	磯部 和順	東邦大学医療センター大森病院	准教授	25	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	卜部 尚久	東邦大学医療センター大森病院	講師	15	○	第32回東邦大学指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	臼井 優介	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	草野 英美子	東邦大学医療センター大森病院	助教	25	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	清水 宏繁	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	関谷 宗之	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	仲村 泰彦	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	三好 嗣臣	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	吉澤 孝浩	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	10	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿・代謝・内分泌科・内科	弘世 貴久	東邦大学医療センター大森病院	教授	38	○	第7回順天堂大学医学部初期臨床研修指導医講習会受講済		4
糖尿・代謝・内分泌科・内科	内野 泰	東邦大学医療センター大森病院	准教授	29	○	第17回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿・代謝・内分泌科・内科	宮城 匡彦	東邦大学医療センター大森病院	講師	24	○	第17回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿・代謝・内分泌科・内科	岩田 葉子	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿・代謝・内分泌科・内科	佐藤 源記	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿・代謝・内分泌科・内科	淵上 彩子	東邦大学医療センター大森病院	助教	9	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿・代謝・内分泌科・内科	吉川 芙久美	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	狩野 修	東邦大学医療センター大森病院	教授	24	○	平成23年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	平山 剛久	東邦大学医療センター大森病院	講師	18	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	今田 里依	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	長澤 潤平	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第49回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	黒崎 治美	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	柳橋 優	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	渋川 茉莉	東邦大学医療センター大森病院	助教(任期)	10	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
血液・腫瘍科・内科	竹林 ちあき	東邦大学医療センター大森病院	臨床准教授	27	○	上尾中央総合病院主催「指導医のための教育ワークショップ」受講済		4
血液・腫瘍科・内科	長瀬 大輔	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	21	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
血液・腫瘍科・内科	石原 晋	東邦大学医療センター大森病院	助教	20	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病科・内科	南木 敏宏	東邦大学医療センター大森病院	教授	33	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病科・内科	川添 麻衣	東邦大学医療センター大森病院	講師	12	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病科・内科	増岡 正太郎	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病科・内科	渡邊 萌理	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病科・内科	山田 善登	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	8	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	船橋 公彦	東邦大学医療センター大森病院	教授	37	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・指導医・専門医		4
消化器外科・外科	島田 英昭	東邦大学医療センター大森病院	教授	39	○	臨床研修研究会・財団法人医療研修推進財団指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	鷺澤 尚宏	東邦大学医療センター大森病院	教授	37	○	第7回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・指導医・専門医		4
消化器外科・外科	大塚 由一郎	東邦大学医療センター大森病院	教授	31	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	栗原 聰元	東邦大学医療センター大森病院	講師	29	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	谷島 聡	東邦大学医療センター大森病院	講師	28	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	牛込 充則	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	27	○	社団法人全国社会保険協会連合会平成21年度臨床研修指導医養成講習会受講済		4
消化器外科・外科	金子 奉暁	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	25	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	大嶋 陽幸	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	24	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・専門医		4
消化器外科・外科	石井 淳	東邦大学医療センター大森病院	助教	27	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	伊藤 悠子	東邦大学医療センター大森病院	助教	17	○	第32回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	岡田 嶺	東邦大学医療センター大森病院	助教	16	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	鏡 哲	東邦大学医療センター大森病院	助教	21	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	梶原 庸司	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	木村 和孝	東邦大学医療センター大森病院	助教	19	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	後藤 麻佑	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	鈴木 隆	東邦大学医療センター大森病院	助教	23	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	鈴木 孝之	東邦大学医療センター大森病院	助教	21	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	名波 竜規	東邦大学医療センター大森病院	助教	23	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	三浦 康之	東邦大学医療センター大森病院	助教	18	○	第30回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	山川 輝記	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	吉田 公彦	東邦大学医療センター大森病院	助教	19	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	大久保 和範	東邦大学医療センター大森病院	助教(任期)	9	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	藤井 毅郎	東邦大学医療センター大森病院	教授	33	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・専門医・指導医 心臓血管外科専門医		4
心臓血管外科・外科	益原 大志	東邦大学医療センター大森病院	講師	29	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	片山 雄三	東邦大学医療センター大森病院	講師	21	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	磯部 将	東邦大学医療センター大森病院	助教	8	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	亀田 徹	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	川田 幸太	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
心臓血管外科・外科	布井 啓雄	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器外科・外科	伊豫田 明	東邦大学医療センター大森病院	教授	32	○	第9回北里大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ受講済		4
呼吸器外科・外科	東 陽子	東邦大学医療センター大森病院	講師	14	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器外科・外科	肥塚 智	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第39回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器外科・外科	坂井 貴志	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児外科	岡本 眞宗	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第29回愛知県厚生農業協同組合連合会 臨床研修指導医講習会受講済		4
乳腺・内分泌外科	緒方 秀昭	東邦大学医療センター大森病院	臨床教授	35	○	第7回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医 日本消化器外科学会認定医 日本乳癌学会専門医		4
乳腺・内分泌外科	齊藤 芙美	東邦大学医療センター大森病院	講師	19	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
乳腺・内分泌外科	須磨崎 真	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科	周郷 延雄	東邦大学医療センター大森病院	教授	35	○	第1回東邦大学医師会指導医講習会受講済 日本脳神経外科専門医		4
脳神経外科	近藤 康介	東邦大学医療センター大森病院	准教授	24	○	第16回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科	原田 直幸	東邦大学医療センター大森病院	講師	25	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
脳神経外科	榮山 雄紀	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科	寺園 明	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科	洲之上 裕	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科	中田 知恵	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	9	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	高橋 寛	東邦大学医療センター大森病院	教授	35	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本整形外科学会専門医 リウマチ認定医		4
整形外科	和田 明人	東邦大学医療センター大森病院	臨床教授	32	○	第1回東邦大学医師会指導医講習会受講済 日本整形外科学会専門医・スポーツ専門医・脊椎脊髄病医		4
整形外科	中村 卓司	東邦大学医療センター大森病院	准教授(病院)	30	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本整形外科学会専門医		4
整形外科	青木 秀之	東邦大学医療センター大森病院	講師	26	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	窪田 綾子	東邦大学医療センター大森病院	講師	26	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	長谷川 敬二	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	19	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	石垣 洸征	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第49回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	葛原 絢花	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	高松 諒	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第32回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	中村 一将	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	福武 勝典	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	中島 耕一	東邦大学医療センター大森病院	教授	29	○	第7回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本泌尿器学会専門医・指導医		4
泌尿器科	永尾 光一	東邦大学医療センター大森病院	教授	39	○	第8回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本形成外科学会専門医 日本泌尿器学会専門医 日本生殖医学会指導医		4
泌尿器科	小林 秀行	東邦大学医療センター大森病院	准教授	23	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済 泌尿器科専門医		4
泌尿器科	三井 要造	東邦大学医療センター大森病院	講師	21	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	山辺 史人	東邦大学医療センター大森病院	講師	20	○	第19回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	青木 洋	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	大川 瑞穂	東邦大学医療センター大森病院	助教	16	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	上谷 将人	東邦大学医療センター大森病院	助教(任期)	9	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
耳鼻咽喉科	和田 弘太	東邦大学医療センター大森病院	教授	27	○	平成23年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	松島 康二	東邦大学医療センター大森病院	准教授	23	○	第20回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	長舩 大士	東邦大学医療センター大森病院	助教	21	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	梶原 理子	東邦大学医療センター大森病院	助教	9	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	細野 祥子	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	松浦 賢太郎	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	堀 裕一	東邦大学医療センター大森病院	教授	28	○	大阪大学医学部付属病院主催平成19年度臨床研修指導医養成講習会受講済		4
眼科	松本 直	東邦大学医療センター大森病院	准教授	25	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
眼科	高木 誠二	東邦大学医療センター大森病院	講師	20	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	柿栖 康二	東邦大学医療センター大森病院	助教	16	○	第26回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	加藤 桂子	東邦大学医療センター大森病院	助教	20	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	内匠 秀尚	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	松村 沙衣子	東邦大学医療センター大森病院	助教	21	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	渡辺 研人	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	永田 有司	東邦大学医療センター大森病院	助教(任期)	8	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	石河 晃	東邦大学医療センター大森病院	教授	37	○	第9回慶應義塾大学医学部臨床研修指導医養成ワークショップ受講済み		4
皮膚科	橋本 由起	東邦大学医療センター大森病院	講師	23	○	第7回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	伊藤 崇	東邦大学医療センター大森病院	助教	16	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	志水 陽介	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	吉田 憲司	東邦大学医療センター大森病院	助教	15	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	中川 真理	東邦大学医療センター大森病院	助教(任期)	18	○	第19回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	足立 太起	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	8	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	田中 博子	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	12	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
形成外科	荻野 晶弘	東邦大学医療センター大森病院	教授	24	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
形成外科	中村 りさ	東邦大学医療センター大森病院	講師	20	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(内科)・内科	酒井 謙	東邦大学医療センター大森病院	教授	37	○	平成23年度東邦大学医学部指導医講習会		3-4
腎センター(内科)・内科	濱崎 祐子	東邦大学医療センター大森病院	准教授	30	○	第27回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(内科)・内科	小口 英世	東邦大学医療センター大森病院	講師	17	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(内科)・内科	橋本 淳也	東邦大学医療センター大森病院	講師	19	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(内科)・内科	荒井 太一	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(内科)・内科	斎藤 彰信	東邦大学医療センター大森病院	助教	21	○	第19回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(内科)・内科	高上 紀之	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	8	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(外科)	村松 真樹	東邦大学医療センター大森病院	准教授	25	○	第16回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(外科)	河村 毅	東邦大学医療センター大森病院	臨床准教授	32	○	第4回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(外科)	青木 裕次郎	東邦大学医療センター大森病院	講師	20	○	公益社団法人 全国自治体病院協議会 第149回臨床研修指導医養成講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
腎センター(外科)	板橋 淑裕	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	24	○	第25回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(外科)	櫻林 啓	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第29回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(外科)	米倉 尚志	東邦大学医療センター大森病院	助教	16	○	第26回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(外科)	西川 健太	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	12	○	第36回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救命救急センター・救急	本多 満	東邦大学医療センター大森病院	教授	40	○	第1回 東邦大学医師会指導医講習会受講済 日本救急医学会救急科専門医		3-4
救命救急センター・救急・循環器内科・内科	相川 博音	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第45回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救命救急センター・救急	芹澤 響	東邦大学医療センター大森病院	助教	8	○	第44回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救命救急センター・救急	鈴木 銀河	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第34回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救命救急センター・救急・呼吸器外科・外科	田巻 一義	東邦大学医療センター大森病院	助教	23	○	第22回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救命救急センター・救急	中道 嘉	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第37回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救命救急センター・救急	渡辺 雅之	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第32回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科	武田 吉正	東邦大学医療センター大森病院	教授	36	○	第40回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科	山内 麻衣子	東邦大学医療センター大森病院	准教授	24	○	平成23年度東京医科歯科大学医学部附属病院指導医講習会受講済		4
麻酔科	川瀬 宏和	東邦大学医療センター大森病院	講師	21	○	第11回 岡山山大病院卒後臨床研修指導医養成講習会受講済		4
麻酔科	岩本 津和	東邦大学医療センター大森病院	助教	25	○	第3回 東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
麻酔科	サムナ ロバート	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第32回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科	谷口 新	東邦大学医療センター大森病院	助教	23	○	第43回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科	中込 尚子	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第41回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科	勝井 真咲アン	東邦大学医療センター大森病院	助教	15	○	第28回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	高月 晋一	東邦大学医療センター大森病院	教授	26	○	第17回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	高橋 浩之	東邦大学医療センター大森病院	臨床教授	37	○	第2回 横浜市長市民病院臨床研修指導医養成講習会受講済		3-4
小児科	渡邊 美砂	東邦大学医療センター大森病院	講師	33	○	第4回 東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
小児科	麻生 敬子	東邦大学医療センター大森病院	講師	23	○	第16回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	羽賀 洋一	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	24	○	第28回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	植田 有紀子	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第40回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	川合 玲子	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第41回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	早乙女 壮彦	東邦大学医療センター大森病院	助教	19	○	第19回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	松岡 正樹	東邦大学医療センター大森病院	助教	18	○	第22回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	山岡 達宏	東邦大学医療センター大森病院	助教	8	○	第44回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	有働 みどり	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	9	○	第43回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
新生児科	増本 健一	東邦大学医療センター大森病院	准教授	23	○	第12回 東京女子医科大学病院 指導医講習会受講済		4
新生児科	日根 幸太郎	東邦大学医療センター大森病院	講師	17	○	第25回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
新生児科	荒井 博子	東邦大学医療センター大森病院	講師	28	○	第1回 東邦大学医師会指導医講習会受講済 日本小児科学会専門医		4
新生児科	緒方 公平	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第29回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
新生児科	斎藤 敬子	東邦大学医療センター大森病院	助教	18	○	第19回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
新生児科	平林 将明	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第37回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
新生児科	荒井 裕香	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	8	○	第44回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
新生児科	緒方 菜央	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	9	○	第42回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
新生児科	富田 彩香	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	9	○	第44回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	中田 雅彦	東邦大学医療センター大森病院	教授	33	○	第28回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		3-4
産婦人科	片桐 由起子	東邦大学医療センター大森病院	教授	31	○	第4回 東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本産婦人科学会内視鏡学会専門医		3-4
産婦人科	前村 俊満	東邦大学医療センター大森病院	臨床教授	32	○	第7回 東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本産科婦人科学会内視鏡学会専門医		4
産婦人科	早田 英二郎	東邦大学医療センター大森病院	准教授	20	○	第31回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	小宮山 慎一	東邦大学医療センター大森病院	准教授(病院)	31	○	第4回 藤田保健衛生大学病院臨床研修指導医講習会受講済		4
産婦人科	伊藤 歩	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第40回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	梅村 なほみ	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第36回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	釘宮 剛城	東邦大学医療センター大森病院	助教	24	○	第17回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	坂本 智子	東邦大学医療センター大森病院	助教	20	○	第25回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	鷹野 真由実	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第37回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	玉置 優子	東邦大学医療センター大森病院	助教	19	○	第18回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	中岡 賢太郎	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第38回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	長崎 澄人	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第36回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	長島 克	東邦大学医療センター大森病院	助教	16	○	第28回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	林 裕子	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第31回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	向井 隆文	東邦大学医療センター大森病院	助教	8	○	第45回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	小瀧 曜	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	8	○	第46回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	島袋 麻希子	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	9	○	第44回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
精神神経科	根本 隆洋	東邦大学医療センター大森病院	教授	28	○	第11回 慶應義塾大学病院臨床研修指導医養成ワークショップ受講済		4
精神神経科	片桐 直之	東邦大学医療センター大森病院	准教授	23	○	第4回 東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
精神神経科	山口 大樹	東邦大学医療センター大森病院	講師	22	○	第3回 東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
精神神経科	船渡川 智之	東邦大学医療センター大森病院	講師	19	○	平成23年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
精神神経科	井上 杏奈	東邦大学医療センター大森病院	助教	9	○	第45回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
精神神経科	田形 弘実	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第40回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
精神神経科	田久保 陽司	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	8	○	第45回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心療内科	端詰 勝敬	東邦大学医療センター大森病院	教授	30	○	第4回 東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本心身医学認定医 日本心療内科学会登録医		4
心療内科	竹内 武昭	東邦大学医療センター大森病院	准教授	22	○	第28回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心療内科	橋本 和明	東邦大学医療センター大森病院	講師	9	○	第43回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心療内科	中村 祐三	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第31回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心療内科	小山 明子	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	13	○	第32回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	堀 正明	東邦大学医療センター大森病院	教授	26	○	第38回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
放射線科	寺原 敦朗	東邦大学医療センター大森病院	教授(病院)	37	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
放射線科	白神 伸之	東邦大学医療センター大森病院	臨床教授	37	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
放射線科	水村 直	東邦大学医療センター大森病院	臨床教授	34	○	日本医科大学指導医講習会受講済		4
放射線科	芝田 紫野	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	17	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	古寺 順一	東邦大学医療センター大森病院	助教	16	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	小林 正周	東邦大学医療センター大森病院	助教	16	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	鈴木 賢一	東邦大学医療センター大森病院	助教	18	○	第16回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
リハビリテーション科	大國 生幸	東邦大学医療センター大森病院	准教授	26	○	第7回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本リハビリテーション医学会専門医・指導責任者		4
臨床検査部・臨床生理機能検査部	盛田 俊介	東邦大学医療センター大森病院	教授	39	○	第8回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本内科学会認定医・専門医 日本医師会認定産業医		4
臨床検査部	吉澤 定子	東邦大学医療センター大森病院	准教授	28	○	第15回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
病理診断科	栃木 直文	東邦大学医療センター大森病院	教授	23	○	第95回臨床研修指導医養成講習会受講済		4
病理診断科	密田 亜希	東邦大学医療センター大森病院	助教	28	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
東洋医学科	田中 耕一郎	東邦大学医療センター大森病院	准教授	21	○	第19回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
東洋医学科	奈良 和彦	東邦大学医療センター大森病院	助教	21	○	第13回久留米大学病院指導医講習会受講済		4
東洋医学科	千葉 浩輝	東邦大学医療センター大森病院	助教(任期)	16	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
臨床生理機能検査部	久武 真二	東邦大学医療センター大森病院	講師	29	○	第17回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
総合診療・急病センター・内科	瓜田 純久	東邦大学医療センター大森病院	教授	39	○	第15回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
総合診療・急病センター・内科	前田 正	東邦大学医療センター大森病院	講師	19	○	第20回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
総合診療・急病センター・内科	佐々木 陽典	東邦大学医療センター大森病院	講師	18	○	第23回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
総合診療・急病センター・内科	宮崎 泰斗	東邦大学医療センター大森病院	講師	24	○	第28回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
総合診療・急病センター・内科	小松 史哉	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第42回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
総合診療・急病センター・内科	山田 篤史	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第44回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
総合診療・急病センター・内科	佐藤 高広	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	12	○	第45回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	松田 尚久	東邦大学医療センター大森病院	教授	30	○	第44回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科・臨床生理機能検査部	永井 英成	東邦大学医療センター大森病院	臨床教授	34	○	第20回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	岡野 直樹	東邦大学医療センター大森病院	准教授	30	○	第23回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	和久井 紀貴	東邦大学医療センター大森病院	准教授	27	○	第24回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	糀山 浩一	東邦大学医療センター大森病院	講師	28	○	第23回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	藤本 愛	東邦大学医療センター大森病院	講師	23	○	独立行政法人国立病院機構指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	宅間 健介	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	20	○	第30回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	松井 哲平	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	22	○	第27回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	岩崎 将	東邦大学医療センター大森病院	助教	16	○	第42回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	小野 真史	東邦大学医療センター大森病院	助教	18	○	第37回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	木村 祐介	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第24回 全国労災病院臨床研修指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	木村 隆輔	東邦大学医療センター大森病院	助教	18	○	第31回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	清水 良	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第45回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	大道 泰子	東邦大学医療センター大森病院	助教	26	○	第28回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	鳥羽 崇仁	東邦大学医療センター大森病院	助教	18	○	第34回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	淵之上 和弘	東邦大学医療センター大森病院	助教	15	○	第41回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	北條 紋	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第46回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	向津 隆規	東邦大学医療センター大森病院	助教	17	○	第35回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	山口 和久	東邦大学医療センター大森病院	助教	18	○	第32回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	池田 隆徳	東邦大学医療センター大森病院	教授	38	○	第17回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	天野 英夫	東邦大学医療センター大森病院	准教授	28	○	第20回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	藤野 紀之	東邦大学医療センター大森病院	准教授	24	○	第24回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	木内 俊介	東邦大学医療センター大森病院	講師	22	○	第24回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		3・4
循環器内科・内科	中西 理子	東邦大学医療センター大森病院	講師	23	○	第32回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	矢部 敬之	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	17	○	第35回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	大久保 亮	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	18	○	第33回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	小原 浩	東邦大学医療センター大森病院	助教	15	○	第28回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	佐地 真育	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第45回 東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
循環器内科・内科	篠原 正哉	東邦大学医療センター大森病院	助教	15	○	第4回三井記念病院臨床研修指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	土橋 慎太郎	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	野池 亮太	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第49回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	八尾 進太郎	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	矢野 健介	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第49回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	和田 遼	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	小島 至正	東邦大学医療センター大森病院	助教(任期)	10	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	小松 洋介	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	10	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	岸 一馬	東邦大学医療センター大森病院	教授	34	○	第2回国家公務員共済組合連合会病院臨床研修指導医養成講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	坂本 晋	東邦大学医療センター大森病院	准教授	27	○	第17回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	磯部 和順	東邦大学医療センター大森病院	准教授	26	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	卜部 尚久	東邦大学医療センター大森病院	講師	16	○	第32回東邦大学指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	臼井 優介	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	草野 英美子	東邦大学医療センター大森病院	助教	26	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	清水 宏繁	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	関谷 宗之	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	仲村 泰彦	東邦大学医療センター大森病院	助教	15	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	三好 嗣臣	東邦大学医療センター大森病院	助教	15	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	吉澤 孝浩	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	11	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿・代謝・内分泌科・内科	弘世 貴久	東邦大学医療センター大森病院	教授	39	○	第7回順天堂大学医学部初期臨床研修指導医講習会受講済		4
糖尿・代謝・内分泌科・内科	内野 泰	東邦大学医療センター大森病院	准教授	30	○	第17回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿・代謝・内分泌科・内科	宮城 匡彦	東邦大学医療センター大森病院	講師	25	○	第17回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿・代謝・内分泌科・内科	岩田 葉子	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿・代謝・内分泌科・内科	佐藤 源記	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿・代謝・内分泌科・内科	淵上 彩子	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿・代謝・内分泌科・内科	吉川 芙久美	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	狩野 修	東邦大学医療センター大森病院	教授	25	○	平成23年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	平山 剛久	東邦大学医療センター大森病院	講師	19	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	今田 里依	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	長澤 潤平	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第49回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	黒崎 治美	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	柳橋 優	東邦大学医療センター大森病院	助教	15	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	渋川 茉莉	東邦大学医療センター大森病院	助教(任期)	11	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
血液・腫瘍科・内科	竹林 ちあき	東邦大学医療センター大森病院	臨床准教授	28	○	上尾中央総合病院主催「指導医のための教育ワークショップ」受講済		4
血液・腫瘍科・内科	長瀬 大輔	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	22	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
血液・腫瘍科・内科	石原 晋	東邦大学医療センター大森病院	助教	21	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病科・内科	南木 敏宏	東邦大学医療センター大森病院	教授	34	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病科・内科	川添 麻衣	東邦大学医療センター大森病院	講師	13	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病科・内科	増岡 正太郎	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病科・内科	渡邊 萌理	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病科・内科	山田 善登	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	9	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	船橋 公彦	東邦大学医療センター大森病院	教授	38	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・指導医・専門医		4
消化器外科・外科	島田 英昭	東邦大学医療センター大森病院	教授	40	○	臨床研修研究会・財団法人医療研修推進財団指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	鷺澤 尚宏	東邦大学医療センター大森病院	教授	38	○	第7回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・指導医・専門医		4
消化器外科・外科	大塚 由一郎	東邦大学医療センター大森病院	教授	32	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	栗原 聰元	東邦大学医療センター大森病院	講師	30	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	谷島 聡	東邦大学医療センター大森病院	講師	29	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	牛込 充則	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	28	○	社団法人全国社会保険協会連合会平成21年度臨床研修指導医養成講習会受講済		4
消化器外科・外科	金子 奉暁	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	26	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	大嶋 陽幸	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	25	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・専門医		4
消化器外科・外科	石井 淳	東邦大学医療センター大森病院	助教	28	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	伊藤 悠子	東邦大学医療センター大森病院	助教	18	○	第32回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	岡田 嶺	東邦大学医療センター大森病院	助教	17	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	鏡 哲	東邦大学医療センター大森病院	助教	22	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	梶原 庸司	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	木村 和孝	東邦大学医療センター大森病院	助教	20	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	後藤 麻佑	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	鈴木 隆	東邦大学医療センター大森病院	助教	24	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	鈴木 孝之	東邦大学医療センター大森病院	助教	22	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	名波 竜規	東邦大学医療センター大森病院	助教	24	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	三浦 康之	東邦大学医療センター大森病院	助教	19	○	第30回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	山川 輝記	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	吉田 公彦	東邦大学医療センター大森病院	助教	20	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器外科・外科	大久保 和範	東邦大学医療センター大森病院	助教(任期)	10	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	藤井 毅郎	東邦大学医療センター大森病院	教授	34	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・専門医・指導医 心臓血管外科専門医		4
心臓血管外科・外科	益原 大志	東邦大学医療センター大森病院	講師	30	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	片山 雄三	東邦大学医療センター大森病院	講師	22	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	磯部 将	東邦大学医療センター大森病院	助教	9	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	亀田 徹	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	川田 幸太	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
心臓血管外科・外科	布井 啓雄	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器外科・外科	伊豫田 明	東邦大学医療センター大森病院	教授	33	○	第9回北里大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ受講済		4
呼吸器外科・外科	東 陽子	東邦大学医療センター大森病院	講師	15	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器外科・外科	肥塚 智	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第39回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器外科・外科	坂井 貴志	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児外科	岡本 眞宗	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第29回愛知県厚生農業協同組合連合会 臨床研修指導医講習会受講済		4
乳腺・内分泌外科	緒方 秀昭	東邦大学医療センター大森病院	臨床教授	36	○	第7回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医 日本消化器外科学会認定医 日本乳癌学会専門医		4
乳腺・内分泌外科	齊藤 芙美	東邦大学医療センター大森病院	講師	20	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
乳腺・内分泌外科	須磨崎 真	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科	周郷 延雄	東邦大学医療センター大森病院	教授	36	○	第1回東邦大学医師会指導医講習会受講済 日本脳神経外科専門医		4
脳神経外科	近藤 康介	東邦大学医療センター大森病院	准教授	25	○	第16回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科	原田 直幸	東邦大学医療センター大森病院	講師	26	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
脳神経外科	榮山 雄紀	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科	寺園 明	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科	洲之上 裕	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科	中田 知恵	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	10	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	高橋 寛	東邦大学医療センター大森病院	教授	36	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本整形外科学会専門医 リウマチ認定医		4
整形外科	和田 明人	東邦大学医療センター大森病院	臨床教授	33	○	第1回東邦大学医師会指導医講習会受講済 日本整形外科学会専門医・スポーツ専門医・脊椎脊髄病医		4
整形外科	中村 卓司	東邦大学医療センター大森病院	准教授(病院)	31	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本整形外科学会専門医		4
整形外科	青木 秀之	東邦大学医療センター大森病院	講師	27	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	窪田 綾子	東邦大学医療センター大森病院	講師	27	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	長谷川 敬二	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	20	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	石垣 洸征	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第49回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	葛原 絢花	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	高松 諒	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第32回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	中村 一将	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科	福武 勝典	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	中島 耕一	東邦大学医療センター大森病院	教授	30	○	第7回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本泌尿器学会専門医・指導医		4
泌尿器科	永尾 光一	東邦大学医療センター大森病院	教授	40	○	第8回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本形成外科学会専門医 日本泌尿器学会専門医 日本生殖医学会指導医		4
泌尿器科	小林 秀行	東邦大学医療センター大森病院	准教授	24	○	第10回東邦大学医学部指導医講習会受講済 泌尿器科専門医		4
泌尿器科	三井 要造	東邦大学医療センター大森病院	講師	22	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	山辺 史人	東邦大学医療センター大森病院	講師	21	○	第19回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	青木 洋	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	大川 瑞穂	東邦大学医療センター大森病院	助教	17	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	上谷 将人	東邦大学医療センター大森病院	助教(任期)	10	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
耳鼻咽喉科	和田 弘太	東邦大学医療センター大森病院	教授	28	○	平成23年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	松島 康二	東邦大学医療センター大森病院	准教授	24	○	第20回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	長船 大士	東邦大学医療センター大森病院	助教	22	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	梶原 理子	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	細野 祥子	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	松浦 賢太郎	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	堀 裕一	東邦大学医療センター大森病院	教授	29	○	大阪大学医学部付属病院主催平成19年度臨床研修指導医養成講習会受講済		4
眼科	松本 直	東邦大学医療センター大森病院	准教授	26	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
眼科	高木 誠二	東邦大学医療センター大森病院	講師	21	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	柿栖 康二	東邦大学医療センター大森病院	助教	17	○	第26回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	加藤 桂子	東邦大学医療センター大森病院	助教	21	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	内匠 秀尚	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	松村 沙衣子	東邦大学医療センター大森病院	助教	22	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	渡辺 研人	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	永田 有司	東邦大学医療センター大森病院	助教(任期)	9	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	石河 晃	東邦大学医療センター大森病院	教授	38	○	第9回慶應義塾大学医学部臨床研修指導医養成ワークショップ受講済み		4
皮膚科	橋本 由起	東邦大学医療センター大森病院	講師	24	○	第7回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	伊藤 崇	東邦大学医療センター大森病院	助教	17	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	志水 陽介	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	吉田 憲司	東邦大学医療センター大森病院	助教	16	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	中川 真理	東邦大学医療センター大森病院	助教(任期)	19	○	第19回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	足立 太起	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	9	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	田中 博子	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	13	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
形成外科	荻野 晶弘	東邦大学医療センター大森病院	教授	25	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
形成外科	中村 りさ	東邦大学医療センター大森病院	講師	21	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(内科)・内科	酒井 謙	東邦大学医療センター大森病院	教授	38	○	平成23年度東邦大学医学部指導医講習会		3-4
腎センター(内科)・内科	濱崎 祐子	東邦大学医療センター大森病院	准教授	31	○	第27回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(内科)・内科	小口 英世	東邦大学医療センター大森病院	講師	18	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(内科)・内科	橋本 淳也	東邦大学医療センター大森病院	講師	20	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(内科)・内科	荒井 太一	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(内科)・内科	斎藤 彰信	東邦大学医療センター大森病院	助教	22	○	第19回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(内科)・内科	高上 紀之	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	9	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(外科)	村松 真樹	東邦大学医療センター大森病院	准教授	26	○	第16回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(外科)	河村 毅	東邦大学医療センター大森病院	臨床准教授	33	○	第4回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(外科)	青木 裕次郎	東邦大学医療センター大森病院	講師	21	○	公益社団法人 全国自治体病院協議会 第149回臨床研修指導医養成講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
腎センター(外科)	板橋 淑裕	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	25	○	第25回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(外科)	櫻林 啓	東邦大学医療センター大森病院	助教	15	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(外科)	米倉 尚志	東邦大学医療センター大森病院	助教	17	○	第26回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎センター(外科)	西川 健太	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	13	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救命救急センター・救急	本多 満	東邦大学医療センター大森病院	教授	41	○	第1回東邦大学医師会指導医講習会受講済 日本救急医学会救急科専門医		4
救命救急センター・救急・循環器内科・内科	相川 博音	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救命救急センター・救急	芹澤 響	東邦大学医療センター大森病院	助教	9	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救命救急センター・救急	鈴木 銀河	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救命救急センター・救急・呼吸器外科・外科	田巻 一義	東邦大学医療センター大森病院	助教	24	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救命救急センター・救急	中道 嘉	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救命救急センター・救急	渡辺 雅之	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第32回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科	武田 吉正	東邦大学医療センター大森病院	教授	37	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科	山内 麻衣子	東邦大学医療センター大森病院	准教授	25	○	平成23年度東京医科歯科大学医学部附属病院指導医講習会受講済		4
麻酔科	川瀬 宏和	東邦大学医療センター大森病院	講師	22	○	第11回岡山山大病院卒後臨床研修指導医養成講習会受講済		4
麻酔科	岩本 津和	東邦大学医療センター大森病院	助教	26	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
麻酔科	サムナ ロバート	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第32回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科	谷口 新	東邦大学医療センター大森病院	助教	24	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科	中込 尚子	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科	勝井 真咲アン	東邦大学医療センター大森病院	助教	16	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	高月 晋一	東邦大学医療センター大森病院	教授	27	○	第17回東邦大学医学部指導医講習会受講済		3・4
小児科	高橋 浩之	東邦大学医療センター大森病院	臨床教授	38	○	第2回横浜市長市民病院臨床研修指導医養成講習会受講済		3・4
小児科	渡邊 美砂	東邦大学医療センター大森病院	講師	34	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
小児科	麻生 敬子	東邦大学医療センター大森病院	講師	24	○	第16回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	羽賀 洋一	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	25	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	植田 有紀子	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	川合 玲子	東邦大学医療センター大森病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	早乙女 壮彦	東邦大学医療センター大森病院	助教	20	○	第19回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	松岡 正樹	東邦大学医療センター大森病院	助教	19	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	山岡 達宏	東邦大学医療センター大森病院	助教	9	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	有働 みどり	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	10	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
新生児科	増本 健一	東邦大学医療センター大森病院	准教授	24	○	第12回東京女子医科大学病院指導医講習会受講済		4
新生児科	日根 幸太郎	東邦大学医療センター大森病院	講師	18	○	第25回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
新生児科	荒井 博子	東邦大学医療センター大森病院	講師	29	○	第1回東邦大学医師会指導医講習会受講済 日本小児科学会専門医		4
新生児科	緒方 公平	東邦大学医療センター大森病院	助教	15	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
新生児科	斎藤 敬子	東邦大学医療センター大森病院	助教	19	○	第19回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
新生児科	平林 将明	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
新生児科	荒井 裕香	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	9	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
新生児科	緒方 菜央	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	10	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
新生児科	富田 彩香	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	10	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	中田 雅彦	東邦大学医療センター大森病院	教授	34	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		3-4
産婦人科	片桐 由起子	東邦大学医療センター大森病院	教授	32	○	第4回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本産婦人科学会医療指導医 日本産婦人科学会専門医		3-4
産婦人科	前村 俊満	東邦大学医療センター大森病院	臨床教授	33	○	第7回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本産科婦人科学会内視鏡学会専門医		4
産婦人科	早田 英二郎	東邦大学医療センター大森病院	准教授	21	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	小宮山 慎一	東邦大学医療センター大森病院	准教授(病院)	32	○	第4回藤田保健衛生大学病院臨床研修指導医講習会受講済		4
産婦人科	伊藤 歩	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	梅村 なほみ	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	釘宮 剛城	東邦大学医療センター大森病院	助教	25	○	第17回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	坂本 智子	東邦大学医療センター大森病院	助教	21	○	第25回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	鷹野 真由実	東邦大学医療センター大森病院	助教	13	○	第37回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	玉置 優子	東邦大学医療センター大森病院	助教	20	○	第18回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	中岡 賢太郎	東邦大学医療センター大森病院	助教	12	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	長崎 澄人	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	長島 克	東邦大学医療センター大森病院	助教	17	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	林 裕子	東邦大学医療センター大森病院	助教	15	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	向井 隆文	東邦大学医療センター大森病院	助教	9	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	小瀧 曜	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	9	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	島袋 麻希子	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	10	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
精神神経科	根本 隆洋	東邦大学医療センター大森病院	教授	29	○	第11回慶應義塾大学病院臨床研修指導医養成ワークショップ受講済		4
精神神経科	片桐 直之	東邦大学医療センター大森病院	准教授	24	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
精神神経科	山口 大樹	東邦大学医療センター大森病院	講師	23	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
精神神経科	船渡川 智之	東邦大学医療センター大森病院	講師	20	○	平成23年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
精神神経科	井上 杏奈	東邦大学医療センター大森病院	助教	10	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
精神神経科	田形 弘実	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
精神神経科	田久保 陽司	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	9	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心療内科	端詰 勝敬	東邦大学医療センター大森病院	教授	31	○	第4回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本心身医学認定医 日本心療内科学会登録医		4
心療内科	竹内 武昭	東邦大学医療センター大森病院	准教授	23	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心療内科	橋本 和明	東邦大学医療センター大森病院	講師	10	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心療内科	中村 祐三	東邦大学医療センター大森病院	助教	14	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心療内科	小山 明子	東邦大学医療センター大森病院	院内助教	14	○	第32回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	堀 正明	東邦大学医療センター大森病院	教授	27	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030193

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大森病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
放射線科	寺原 敦朗	東邦大学医療センター大森病院	教授(病院)	38	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
放射線科	白神 伸之	東邦大学医療センター大森病院	臨床教授	38	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
放射線科	水村 直	東邦大学医療センター大森病院	臨床教授	35	○	日本医科大学指導医講習会受講済		4
放射線科	芝田 紫野	東邦大学医療センター大森病院	院内講師	18	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	古寺 順一	東邦大学医療センター大森病院	助教	17	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	小林 正周	東邦大学医療センター大森病院	助教	17	○	第31回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	鈴木 賢一	東邦大学医療センター大森病院	助教	19	○	第16回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
リハビリテーション科	大国 生幸	東邦大学医療センター大森病院	准教授	27	○	第7回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本リハビリテーション医学会専門医・指導責任者		4
臨床検査部・臨床生理機能検査部	盛田 俊介	東邦大学医療センター大森病院	教授	40	○	第8回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本内科学会認定医・専門医 日本医師会認定産業医		4
臨床検査部	吉澤 定子	東邦大学医療センター大森病院	准教授	29	○	第15回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
病理診断科	栃木 直文	東邦大学医療センター大森病院	教授	24	○	第95回臨床研修指導医養成講習会受講済		4
病理診断科	密田 亜希	東邦大学医療センター大森病院	助教	29	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
東洋医学科	田中 耕一郎	東邦大学医療センター大森病院	准教授	22	○	第19回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
東洋医学科	奈良 和彦	東邦大学医療センター大森病院	助教	22	○	第13回久留米大学病院指導医講習会受講済		4
東洋医学科	千葉 浩輝	東邦大学医療センター大森病院	助教(任期)	17	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
臨床生理機能検査部	久武 真二	東邦大学医療センター大森病院	講師	30	○	第17回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030204

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大橋病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
消化器内科・内科	渡邊 学	東邦大学医療センター大橋病院	臨床教授	36	○	第20回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	伊藤 謙	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	23	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	塩澤 一恵	東邦大学医療センター大橋病院	講師	24	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	岡本 陽祐	東邦大学医療センター大橋病院	助教	17	○	第39回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	齋藤 倫寛	東邦大学医療センター大橋病院	助教	16	○	平成28年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	日原 大輔	東邦大学医療センター大橋病院	助教	12	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	山田 悠人	東邦大学医療センター大橋病院	助教	11	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	吉田 有輝	東邦大学医療センター大橋病院	助教	15	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	村上 貴寛	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	8	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	諸井 雅男	東邦大学医療センター大橋病院	教授	39	○	第2回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医		4
循環器内科・内科	原 英彦	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	31	○	第7回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	飯島 雷輔	東邦大学医療センター大橋病院	講師	28	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	中村 啓二郎	東邦大学医療センター大橋病院	講師	24	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	池田 長生	東邦大学医療センター大橋病院	助教	22	○	独立行政法人国立国際医療研究センター病院第3回臨床研修指導医養成ワークショップ受講済		4
循環器内科・内科	橋本 剛	東邦大学医療センター大橋病院	助教	17	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	林 典行	東邦大学医療センター大橋病院	助教	18	○	第23回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	矢崎 義行	東邦大学医療センター大橋病院	助教	18	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	佐藤 学	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	10	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	豊田 康豪	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	12	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	能戸 辰徳	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	10	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	松瀬 厚人	東邦大学医療センター大橋病院	教授	34	○	平成24年度第2回長崎大学病院群臨床研修指導医養成講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	小高 倫生	東邦大学医療センター大橋病院	講師	21	○	平成23年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	中野 千裕	東邦大学医療センター大橋病院	助教	16	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿病・代謝内科・内科	上芝 元	東邦大学医療センター大橋病院	教授	40	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿病・代謝内科・内科	大平 征宏	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	24	○	第18回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿病・代謝内科・内科	河越 尚幸	東邦大学医療センター大橋病院	助教	13	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	杉本 英樹	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	35	○	第20回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	紺野 晋吾	東邦大学医療センター大橋病院	講師	22	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	木原 英雄	東邦大学医療センター大橋病院	助教	10	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病リウマチ科・内科	亀田 秀人	東邦大学医療センター大橋病院	教授	33	○	平成16年埼玉医科大学臨床研修指導医講習会受講済		4
膠原病リウマチ科・内科	小倉 剛久	東邦大学医療センター大橋病院	講師	28	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 内科認定医 専門医 リウマチ専門医		4
膠原病リウマチ科・内科	片桐 翔治	東邦大学医療センター大橋病院	助教	10	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病リウマチ科・内科	今泉 ちひろ	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	10	○	指導医のための教育ワークショップ(秋田県医師会主催)受講済		4
膠原病リウマチ科・内科	高倉 悠人	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	8	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎臓内科・内科	常喜 信彦	東邦大学医療センター大橋病院	教授	33	○	第1回東邦大学医師会指導医講習会受講済 日本内科学会認定医 専門医 日本腎臓学会専門医		3・4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030204

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大橋病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
腎臓内科・内科	田中 友里	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	29	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本腎臓学会認定専門医 日本透析学会認定医		4
腎臓内科・内科	中田 憲司	東邦大学医療センター大橋病院	助教	9	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
外科	斉田 芳久	東邦大学医療センター大橋病院	教授	37	○	第2回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・専門医・指導医		4
外科	渡邊 学	東邦大学医療センター大橋病院	教授	32	○	第2回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・専門医・指導医		4
外科	浅井 浩司	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	26	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
外科	長田 拓哉	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	32	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
外科	二渡 信江	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	27	○	第10回北里大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ受講済		4
外科	榎本 俊行	東邦大学医療センター大橋病院	講師(病院)	26	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
外科	桐林 孝治	東邦大学医療センター大橋病院	院内講師	26	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会専門医 日本乳癌学会認定医		4
外科	長尾 さやか	東邦大学医療センター大橋病院	助教	22	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・専門医		4
外科	新妻 徹	東邦大学医療センター大橋病院	助教	11	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
外科	前原 惇治	東邦大学医療センター大橋病院	助教	10	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
外科	森山 穂高	東邦大学医療センター大橋病院	助教	11	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	尾崎 重之	東邦大学医療センター大橋病院	教授	37	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	片岡 紘士	東邦大学医療センター大橋病院	助教	9	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会		4
心臓血管外科・外科	清原 久貴	東邦大学医療センター大橋病院	助教	11	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	高遠 幹夫	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	15	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科・外科	岩淵 聡	東邦大学医療センター大橋病院	教授	39	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医		4
脳神経外科・外科	齋藤 紀彦	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	22	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本脳神経外科学会専門医		4
脳神経外科・外科	中山 晴雄	東邦大学医療センター大橋病院	講師	20	○	平成23年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		3・4
脳神経外科・外科	林 盛人	東邦大学医療センター大橋病院	講師	26	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本脳神経学会専門医 日本脳卒中学会専門医		4
脳神経外科・外科	伊藤 圭介	東邦大学医療センター大橋病院	講師(病院)	28	○	第1回東邦大学医師会指導医講習会受講済 日本脳神経外科学会専門医		4
脳神経外科・外科	伊豆蔵 英明	東邦大学医療センター大橋病院	院内講師	27	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科・外科	藤田 聡	東邦大学医療センター大橋病院	助教	14	○	第32回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科・外科	平井 希	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	12	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科	武者 芳朗	東邦大学医療センター大橋病院	教授	39	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
整形外科・外科	池上 博泰	東邦大学医療センター大橋病院	教授	38	○	第8回慶應義塾大学病院臨床研修指導医養成ワークショップ		4
整形外科・外科	石井 克尚	東邦大学医療センター大橋病院	助教	9	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科	石井 秀明	東邦大学医療センター大橋病院	助教	12	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科	高田 和孝	東邦大学医療センター大橋病院	助教	10	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科	松本 太輔	東邦大学医療センター大橋病院	助教	14	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科	藤本 拓也	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	8	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科	吉澤 秀	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	12	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	関戸 哲利	東邦大学医療センター大橋病院	教授	32	○	茨城県指導医養成講習会受講済		4
泌尿器科	竹内 康晴	東邦大学医療センター大橋病院	講師	24	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030204

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大橋病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
泌尿器科	澤田 喜友	東邦大学医療センター大橋病院	助教	23	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
泌尿器科	新津 靖雄	東邦大学医療センター大橋病院	助教	18	○	平成28年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	宮崎 紘一	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	9	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	渡邊 昌太郎	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	11	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	吉川 衛	東邦大学医療センター大橋病院	教授	30	○	第3回東京慈恵会医科大学研修指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	穂山 直太郎	東邦大学医療センター大橋病院	講師	22	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	波多野 瑛太	東邦大学医療センター大橋病院	助教	9	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	山口 宗太	東邦大学医療センター大橋病院	助教	19	○	第15回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	中野 光花	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	10	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	石田 政弘	東邦大学医療センター大橋病院	教授	34	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	石田 恭子	東邦大学医療センター大橋病院	臨床教授	28	○	平成28年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	竹山 明日香	東邦大学医療センター大橋病院	講師	19	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	飯田 純也	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	11	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	福田 英嗣	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	26	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本皮膚科学会認定専門医		4
皮膚科	新山 史朗	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	29	○	第19回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	五味 達哉	東邦大学医療センター大橋病院	教授	33	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
放射線科	長谷川 誠	東邦大学医療センター大橋病院	助教	18	○	第19回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	吉田 匡宏	東邦大学医療センター大橋病院	助教	13	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	西本 由貴	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	9	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
形成外科	平田 晶子	東邦大学医療センター大橋病院	院内講師	25	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
救急・脳神経外科・外科	櫻井 貴敏	東邦大学医療センター大橋病院	講師(病院)	31	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本東洋医学会専門医 日本脳神経外科学会専門医		4
救急・外科	萩原 令彦	東邦大学医療センター大橋病院	助教	18	○	第20回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救急・循環器内科・内科	葉山 裕真	東邦大学医療センター大橋病院	助教	11	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救急・脳神経外科・外科	平元 侑	東邦大学医療センター大橋病院	助教	14	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	小竹 良文	東邦大学医療センター大橋病院	教授	38	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	小野寺 潤	東邦大学医療センター大橋病院	助教	18	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	豊田 大介	東邦大学医療センター大橋病院	助教	22	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	牧 裕一	東邦大学医療センター大橋病院	助教	24	○	平成19年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	阿部 理沙	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	10	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	両角 幸平	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	11	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	坂本 安優	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	9	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	中村 浩章	東邦大学医療センター大橋病院	院内講師	20	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	那須野 聖人	東邦大学医療センター大橋病院	助教	28	○	第23回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	田中 京子	東邦大学医療センター大橋病院	教授	29	○	第14回慶応義塾大学病院臨床研修指導医養成ワークショップ受講済		4
産婦人科	村上 功	東邦大学医療センター大橋病院	講師	20	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030204

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大橋病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
産婦人科	高橋 怜奈	東邦大学医療センター大橋病院	助教	14	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
精神神経科	大岡 美奈子	東邦大学医療センター大橋病院	助教	16	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
臨床検査部	高宮 清之	東邦大学医療センター大橋病院	医師	37	○	第5回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本神経学会認定医 日本内科学会認定医		4
病理診断科	高橋 啓	東邦大学医療センター大橋病院	教授	38	○	第2回東邦大学医学部指導医講習会受講済 病理専門医 日本臨床細胞学会細胞診指導医		3・4
病理診断科	大原関 利章	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	27	○	第2回東邦大学医学部指導医講習会受講済 病理専門医 細胞診指導医		4
病理診断科	横内 幸	東邦大学医療センター大橋病院	講師	25	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本病理学会専門医 循環器専門医		4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030204

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大橋病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
消化器内科・内科	渡邊 学	東邦大学医療センター大橋病院	臨床教授	37	○	第20回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	伊藤 謙	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	24	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	塩澤 一恵	東邦大学医療センター大橋病院	講師	25	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	岡本 陽祐	東邦大学医療センター大橋病院	助教	18	○	第39回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	齋藤 倫寛	東邦大学医療センター大橋病院	助教	17	○	平成28年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	日原 大輔	東邦大学医療センター大橋病院	助教	13	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	山田 悠人	東邦大学医療センター大橋病院	助教	12	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	吉田 有輝	東邦大学医療センター大橋病院	助教	16	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
消化器内科・内科	村上 貴寛	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	9	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	諸井 雅男	東邦大学医療センター大橋病院	教授	40	○	第2回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医		4
循環器内科・内科	原 英彦	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	32	○	第7回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	飯島 雷輔	東邦大学医療センター大橋病院	講師	29	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	中村 啓二郎	東邦大学医療センター大橋病院	講師	25	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	池田 長生	東邦大学医療センター大橋病院	助教	23	○	独立行政法人国立国際医療研究センター病院第3回臨床研修指導医養成ワークショップ受講済		4
循環器内科・内科	橋本 剛	東邦大学医療センター大橋病院	助教	18	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	林 典行	東邦大学医療センター大橋病院	助教	19	○	第23回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	矢崎 義行	東邦大学医療センター大橋病院	助教	19	○	第24回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	佐藤 学	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	11	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	豊田 康豪	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	13	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
循環器内科・内科	能戸 辰徳	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	11	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	松瀬 厚人	東邦大学医療センター大橋病院	教授	35	○	平成24年度第2回長崎大学病院群臨床研修指導医養成講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	小高 倫生	東邦大学医療センター大橋病院	講師	22	○	平成23年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
呼吸器内科・内科	中野 千裕	東邦大学医療センター大橋病院	助教	17	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿病・代謝内科・内科	上芝 元	東邦大学医療センター大橋病院	教授	41	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿病・代謝内科・内科	大平 征宏	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	25	○	第18回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
糖尿病・代謝内科・内科	河越 尚幸	東邦大学医療センター大橋病院	助教	14	○	第36回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	杉本 英樹	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	36	○	第20回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	紺野 晋吾	東邦大学医療センター大橋病院	講師	23	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
脳神経内科・内科	木原 英雄	東邦大学医療センター大橋病院	助教	11	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病リウマチ科・内科	亀田 秀人	東邦大学医療センター大橋病院	教授	34	○	平成16年増玉医科大学臨床研修指導医講習会受講済		4
膠原病リウマチ科・内科	小倉 剛久	東邦大学医療センター大橋病院	講師	29	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 内科認定医 専門医 リウマチ専門医		4
膠原病リウマチ科・内科	片桐 翔治	東邦大学医療センター大橋病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
膠原病リウマチ科・内科	今泉 ちひろ	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	11	○	指導医のための教育ワークショップ(秋田県医師会主催)受講済		4
膠原病リウマチ科・内科	高倉 悠人	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	9	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
腎臓内科・内科	常喜 信彦	東邦大学医療センター大橋病院	教授	34	○	第1回東邦大学医師会指導医講習会受講済 日本内科学会認定医 専門医 日本腎臓学会専門医		3・4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030204

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大橋病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
腎臓内科・内科	田中 友里	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	30	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本腎臓学会認定専門医 日本透析学会認定医		4
腎臓内科・内科	中田 憲司	東邦大学医療センター大橋病院	助教	10	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
外科	斉田 芳久	東邦大学医療センター大橋病院	教授	38	○	第2回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・専門医・指導医		4
外科	渡邊 学	東邦大学医療センター大橋病院	教授	33	○	第2回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・専門医・指導医		4
外科	浅井 浩司	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	27	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
外科	長田 拓哉	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	33	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
外科	二渡 信江	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	28	○	第10回北里大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ受講済		4
外科	榎本 俊行	東邦大学医療センター大橋病院	講師(病院)	27	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
外科	桐林 孝治	東邦大学医療センター大橋病院	院内講師	27	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医 日本乳癌学会認定医		4
外科	長尾 さやか	東邦大学医療センター大橋病院	助教	23	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本外科学会認定医・専門医		4
外科	新妻 徹	東邦大学医療センター大橋病院	助教	12	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
外科	前原 惇治	東邦大学医療センター大橋病院	助教	11	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
外科	森山 穂高	東邦大学医療センター大橋病院	助教	12	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	尾崎 重之	東邦大学医療センター大橋病院	教授	38	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	片岡 紘士	東邦大学医療センター大橋病院	助教	10	○	第44回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	清原 久貴	東邦大学医療センター大橋病院	助教	12	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
心臓血管外科・外科	高遠 幹夫	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	16	○	第38回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科・外科	岩渕 聡	東邦大学医療センター大橋病院	教授	40	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医		4
脳神経外科・外科	齋藤 紀彦	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	23	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本脳神経外科学会専門医		4
脳神経外科・外科	中山 晴雄	東邦大学医療センター大橋病院	講師	21	○	平成23年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		3・4
脳神経外科・外科	林 盛人	東邦大学医療センター大橋病院	講師	27	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本脳神経学会専門医 日本脳卒中学会専門医		4
脳神経外科・外科	伊藤 圭介	東邦大学医療センター大橋病院	講師(病院)	29	○	第1回東邦大学医師会指導医講習会受講済 日本脳神経外科学会専門医		4
脳神経外科・外科	伊豆蔵 英明	東邦大学医療センター大橋病院	院内講師	28	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科・外科	藤田 聡	東邦大学医療センター大橋病院	助教	15	○	第32回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
脳神経外科・外科	平井 希	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	13	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科	武者 芳朗	東邦大学医療センター大橋病院	教授	40	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
整形外科・外科	池上 博泰	東邦大学医療センター大橋病院	教授	39	○	第8回慶應義塾大学病院臨床研修指導医養成ワークショップ		4
整形外科・外科	石井 克尚	東邦大学医療センター大橋病院	助教	10	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科	石井 秀明	東邦大学医療センター大橋病院	助教	13	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科	高田 和孝	東邦大学医療センター大橋病院	助教	11	○	第41回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科	松本 太輔	東邦大学医療センター大橋病院	助教	15	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科	藤本 拓也	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	9	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
整形外科・外科	吉澤 秀	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	13	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	関戸 哲利	東邦大学医療センター大橋病院	教授	33	○	茨城県指導医養成講習会受講済		4
泌尿器科	竹内 康晴	東邦大学医療センター大橋病院	講師	25	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030204

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大橋病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
泌尿器科	澤田 喜友	東邦大学医療センター大橋病院	助教	24	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
泌尿器科	新津 靖雄	東邦大学医療センター大橋病院	助教	19	○	平成28年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	宮崎 紘一	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	10	○	第45回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
泌尿器科	渡邊 昌太郎	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	12	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	吉川 衛	東邦大学医療センター大橋病院	教授	31	○	第3回東京慈恵会医科大学研修指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	穂山 直太郎	東邦大学医療センター大橋病院	講師	23	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	波多野 瑛太	東邦大学医療センター大橋病院	助教	10	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	山口 宗太	東邦大学医療センター大橋病院	助教	20	○	第15回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
耳鼻咽喉科	中野 光花	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	11	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	石田 政弘	東邦大学医療センター大橋病院	教授	35	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	石田 恭子	東邦大学医療センター大橋病院	臨床教授	29	○	平成28年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	竹山 明日香	東邦大学医療センター大橋病院	講師	20	○	第22回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
眼科	飯田 純也	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	12	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
皮膚科	福田 英嗣	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	27	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本皮膚科学会認定専門医		4
皮膚科	新山 史朗	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	30	○	第19回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	五味 達哉	東邦大学医療センター大橋病院	教授	34	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
放射線科	長谷川 誠	東邦大学医療センター大橋病院	助教	19	○	第19回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	吉田 匡宏	東邦大学医療センター大橋病院	助教	14	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
放射線科	西本 由貴	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	10	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
形成外科	平田 晶子	東邦大学医療センター大橋病院	院内講師	26	○	第3回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
救急・脳神経外科・外科	櫻井 貴敏	東邦大学医療センター大橋病院	講師(病院)	32	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本東洋医学会専門医 日本脳神経外科学会専門医		4
救急・外科	萩原 令彦	東邦大学医療センター大橋病院	助教	19	○	第20回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救急・循環器内科・内科	葉山 裕真	東邦大学医療センター大橋病院	助教	12	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
救急・脳神経外科・外科	平元 侑	東邦大学医療センター大橋病院	助教	15	○	第29回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	小竹 良文	東邦大学医療センター大橋病院	教授	39	○	第2回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	小野寺 潤	東邦大学医療センター大橋病院	助教	19	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	豊田 大介	東邦大学医療センター大橋病院	助教	23	○	第4回東邦大学医師会指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	牧 裕一	東邦大学医療センター大橋病院	助教	25	○	平成19年度東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	阿部 理沙	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	11	○	第42回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	両角 幸平	東邦大学医療センター大橋病院	助教(任期)	12	○	第46回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
麻酔科・救急	坂本 安優	東邦大学医療センター大橋病院	院内助教	10	○	第43回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	中村 浩章	東邦大学医療センター大橋病院	院内講師	21	○	第28回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
小児科	那須野 聖人	東邦大学医療センター大橋病院	助教	29	○	第23回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
産婦人科	田中 京子	東邦大学医療センター大橋病院	教授	30	○	第14回慶応義塾大学病院臨床研修指導医養成ワークショップ受講済		4
産婦人科	村上 功	東邦大学医療センター大橋病院	講師	21	○	第40回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号：030204

臨床研修病院の名称：東邦大学医療センター大橋病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
産婦人科	高橋 怜奈	東邦大学医療センター大橋病院	助教	15	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
精神神経科	大岡 美奈子	東邦大学医療センター大橋病院	助教	17	○	第34回東邦大学医学部指導医講習会受講済		4
臨床検査部	高宮 清之	東邦大学医療センター大橋病院	医師	38	○	第5回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本神経学会認定医 日本内科学会認定医		4
病理診断科	高橋 啓	東邦大学医療センター大橋病院	教授	39	○	第2回東邦大学医学部指導医講習会受講済 病理専門医 日本臨床細胞学会細胞診指導医		3・4
病理診断科	大原関 利章	東邦大学医療センター大橋病院	准教授	28	○	第2回東邦大学医学部指導医講習会受講済 病理専門医 細胞診指導医		4
病理診断科	横内 幸	東邦大学医療センター大橋病院	講師	26	○	第9回東邦大学医学部指導医講習会受講済 日本病理学会専門医 循環器専門医		4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030215

臨床研修病院の名称： 東京医科大学病院

No.	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
1	内科、泌尿 総合診療科 医学教育学	原田 芳巳	東京医科大学	准教授	35	○	第10回東京医科大学病院指導医のための教育WS	030215604,030215605,030215606,030215607	2,4
2	内科、泌尿 総合診療科	沼中 志郎	東京医科大学病院	助教	12	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
3	内科、泌尿 総合診療科	宮藤 雅	東京医科大学病院	助教	13	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
4	内科、泌尿 総合診療科	東 秀子	東京医科大学病院	臨床研究医	17	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
5	内科、泌尿 血液内科	後藤 明郎	東京医科大学病院	主任教授	35	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
6	内科、泌尿 血液内科	伊藤 泰和	東京医科大学病院	教授	37	○	第9回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
7	内科、泌尿 血液内科	赤羽 大橋	東京医科大学病院	講師	21	○	第13回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
8	内科、泌尿 血液内科	田中 裕子	東京医科大学病院	講師	24	○	第14回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
9	内科、泌尿 血液内科	岡部 龍一	東京医科大学病院	講師	29	○	第3回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
10	内科、泌尿 血液内科	古屋 泰穂子	東京医科大学病院	講師	32	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
11	内科、泌尿 血液内科	浅野 倫代	東京医科大学病院	助教	17	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
12	内科、泌尿 血液内科	片桐 誠一朗	東京医科大学病院	助教	15	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
13	内科、泌尿 血液内科	勝呂 多光子	東京医科大学病院	助教	17	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
14	内科、泌尿 血液内科	藤本 博昭	東京医科大学病院	助教	34	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
15	内科、泌尿 血液内科	高澤 成一郎	東京医科大学病院	助教	18	○	第12回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
16	内科、泌尿 血液内科	山田 寛子	東京医科大学病院	病院助教	10	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
17	内科、泌尿 血液内科	森山 充	東京医科大学病院	臨床研究医	7	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
18	内科、泌尿 呼吸器内科	阿部 信二	東京医科大学病院	主任教授	30	○	第5回日本医科大学臨床研修指導医WS	〃	1,3,4
19	内科、泌尿 呼吸器内科	河野 雄太	東京医科大学病院	准教授	20	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
20	内科、泌尿 呼吸器内科	岡池 亮太	東京医科大学病院	講師	13	○	平成29年度茨城県指導医養成講習会	〃	4
21	内科、泌尿 呼吸器内科	篤徳 信基	東京医科大学病院	助教	20	○	第10回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
22	内科、泌尿 呼吸器内科	石割 菜由子	東京医科大学病院	助教	8	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
23	内科、泌尿 循環器内科	星見 和浩	東京医科大学病院	主任教授	29	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
24	内科、泌尿 循環器内科	鷹山 博史	東京医科大学病院	教授	40	○	第8回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
25	内科、泌尿 循環器内科	肥田 敏	東京医科大学病院	准教授	30	○	第2回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
26	内科、泌尿 循環器内科	椎名 一紀	東京医科大学病院	准教授	27	○	第7回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
27	内科、泌尿 循環器内科	武井 康恒	東京医科大学病院	准教授	27	○	第9回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
28	内科、泌尿 循環器内科	矢崎 善直	東京医科大学病院	講師	22	○	第11回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	2,4
29	内科、泌尿 循環器内科	山下 淳	東京医科大学病院	講師	23	○	第3回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育WS	〃	4
30	内科、泌尿 循環器内科	黒羽根 彩子	東京医科大学病院	助教	25	○	第11回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
31	内科、泌尿 循環器内科	村田 直隆	東京医科大学病院	助教	19	○	第14回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
32	内科、泌尿 循環器内科	藤井 昌玄	東京医科大学病院	助教	12	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
33	内科、泌尿 循環器内科	小松 一樹	東京医科大学病院	助教	16	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
34	内科、泌尿 循環器内科	富士田 康定	東京医科大学病院	助教	11	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
35	内科、泌尿 循環器内科	小林 正武	東京医科大学病院	助教	14	○	第15回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
36	内科、泌尿 循環器内科	中野 定己	東京医科大学病院	助教	12	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
37	内科、泌尿 循環器内科	佐々木 雄一	東京医科大学病院	助教	11	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
38	内科、泌尿 循環器内科	梶目 聖大	東京医科大学病院	臨床助教	11	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030215

臨床研修病院の名称： 東京医科大学病院

No.	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
39	内科、選択 循環器内科	高田 颯之	東京医科大学病院	臨床助教	9	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
40	内科、選択 循環器内科	高橋 梨紗	東京医科大学病院	臨床助教	13	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
41	内科、選択 循環器内科	高橋 孝通	東京医科大学病院	臨床研究医	8	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
42	内科、選択 循環器内科	伊藤 有記	東京医科大学病院	臨床研究医	12	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
43	内科、選択 循環器内科	佐々木 由佳	東京医科大学病院	臨床研究医	11	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
44	内科、選択 循環器内科	手塚 絢子	東京医科大学病院	臨床研究医	9	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
45	内科、選択 糖尿病・代謝・内分泌内科	鈴木 亮	東京医科大学病院	主任教授	27	○	第10回東京医科大学医学部附属病院指導医講習会受講	4	4
46	内科、選択 糖尿病・代謝・内分泌内科	三輪 隆	東京医科大学病院	臨床教授	39	○	第3回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
47	内科、選択 糖尿病・代謝・内分泌内科	酒井 裕幸	東京医科大学病院	准教授	35	○	第3回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
48	内科、選択 糖尿病・代謝・内分泌内科	志熊 淳平	東京医科大学病院	准教授	24	○	第11回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
49	内科、選択 糖尿病・代謝・内分泌内科	磯辺 内 浩範	東京医科大学病院	講師	21	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
50	内科、選択 糖尿病・代謝・内分泌内科	田丸 新一	東京医科大学病院	助教	19	○	第14回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
51	内科、選択 糖尿病・代謝・内分泌内科	安部 浩則	東京医科大学病院	助教	12	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
52	内科、選択 糖尿病・代謝・内分泌内科	永井 麗幸	東京医科大学病院	助教	20	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
53	内科、選択 糖尿病・代謝・内分泌内科	佐々木 順子	東京医科大学病院	助教	18	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
54	内科、選択 糖尿病・代謝・内分泌内科	和田 雄樹	東京医科大学病院	助教	9	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
55	内科、選択 糖尿病・代謝・内分泌内科	赤岡 寛晃	東京医科大学病院	助教	11	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
56	内科、選択 リウマチ・膠原病内科	沢田 哲治	東京医科大学病院	主任教授	36	○	第9回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
57	内科、選択 リウマチ・膠原病内科	太郎 信一郎	東京医科大学病院	臨床准教授	36	○	第6回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
58	内科、選択 リウマチ・膠原病内科	林 映	東京医科大学病院	臨床講師	26	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
59	内科、選択 リウマチ・膠原病内科	水内 隆浩	東京医科大学病院	助教	12	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
60	内科、選択 リウマチ・膠原病内科	山本 祐輔	東京医科大学病院	助教	12	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
61	内科、選択 リウマチ・膠原病内科	森 浩暁	東京医科大学病院	助教	13	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
62	内科、選択 脳神経内科	赫 夏雄	東京医科大学病院	主任教授	30	○	第12回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
63	内科、選択 脳神経内科	加藤 隆久	東京医科大学病院	准教授	27	○	第8回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
64	内科、選択 脳神経内科	岡出 山 拓人	東京医科大学病院	講師	24	○	第6回日本脳学会指導医のための教育WS	4	4
65	内科、選択 脳神経内科	内藤 万希子	東京医科大学病院	助教	11	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
66	内科、選択 脳神経内科	井戸 信博	東京医科大学病院	助教	26	○	第5回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
67	内科、選択 脳神経内科	金丸 晃大	東京医科大学病院	助教	9	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
68	内科、選択 脳神経内科	山崎 純	東京医科大学病院	臨床助教	8	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
69	内科、選択 脳神経内科	平岡 智子	東京医科大学病院	臨床研究医	11	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
70	内科、選択 脳神経内科	大塚 江刺	東京医科大学病院	臨床研究医	8	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
71	内科、選択 消化器内科	糸井 隆夫	東京医科大学病院	主任教授	32	○	第5回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
72	内科、選択 消化器内科	土屋 貴覚	東京医科大学病院	准教授	21	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	2,4	4
73	内科、選択 消化器内科	福澤 誠克	東京医科大学病院	准教授	23	○	第3回臨床研修指導医講習会	4	4
74	内科、選択 消化器内科	杉本 健俊	東京医科大学病院	准教授	23	○	第12回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
75	内科、選択 消化器内科	祖父尼 淳	東京医科大学病院	准教授	25	○	第12回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
76	内科、選択 消化器内科	殿塚 亮祐	東京医科大学病院	准教授	17	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030215

臨床研修病院の名称： 東京医科大学病院

No.	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
77	内科、泌尿 消化器内科	山本 健治郎	東京医科大学病院	講師	13	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
78	内科、泌尿 消化器内科	向井 俊太郎	東京医科大学病院	講師	15	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
79	内科、泌尿 消化器内科	竹内 啓人	東京医科大学病院	講師	14	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
80	内科、泌尿 消化器内科	田中 圓奈	東京医科大学病院	講師	18	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
81	内科、泌尿 消化器内科	石井 健太郎	東京医科大学病院	講師	21	○	第21回青森県医師会研修対価協議会医師臨床研修指導医WS	〃	4
82	内科、泌尿 消化器内科	河野 真	東京医科大学病院	助教	15	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
83	内科、泌尿 消化器内科	高武 悠	東京医科大学病院	助教	13	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
84	内科、泌尿 消化器内科	内藤 咲貴子	東京医科大学病院	助教	19	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
85	内科、泌尿 消化器内科	朝井 靖二	東京医科大学病院	助教	13	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
86	内科、泌尿 消化器内科	山内 晋也	東京医科大学病院	助教	15	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
87	内科、泌尿 消化器内科	松波 幸寿	東京医科大学病院	助教	13	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
88	内科、泌尿 消化器内科	班目 明	東京医科大学病院	助教	12	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
89	内科、泌尿 消化器内科	永井 一正	東京医科大学	助教	14	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
90	内科、泌尿 消化器内科	森瀬 貴之	東京医科大学病院	臨床助教	12	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
91	内科、泌尿 消化器内科	小山 洋平	東京医科大学病院	臨床研究医	12	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
92	内科、泌尿 腎臓内科	賀野 豊彦	東京医科大学病院	主任教授	32	○	第4回臨床研修指導医のためのEBC講習会	〃	4
93	内科、泌尿 腎臓内科	富岡 良卓	東京医科大学病院	講師	17	○	第13回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
94	内科、泌尿 腎臓内科	平山 美穂	東京医科大学病院	講師	18	○	平成22年度茨城県指導医養成講習会	〃	4
95	内科、泌尿 腎臓内科	加藤 美帆	東京医科大学病院	助教	10	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
96	内科、泌尿 腎臓内科	林野 翔	東京医科大学病院	助教	10	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
97	内科、泌尿 腎臓内科	齋藤 徹	東京医科大学病院	助教	9	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
98	内科、泌尿 腎臓内科	鈴木 梨江	東京医科大学病院	助教	13	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
99	内科、泌尿 腎臓内科	知名 理絵子	東京医科大学病院	助教	14	○	第15回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
100	内科、泌尿 腎臓内科	和田 茜那	東京医科大学病院	臨床研究医	8	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
101	内科、泌尿 腎臓内科	本城 保菜美	東京医科大学病院	臨床研究医	9	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
102	内科、泌尿 腎臓内科	家村 文香	東京医科大学病院	臨床研究医	7	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
103	内科、泌尿 高崎診療科	清水 穂一郎	東京医科大学病院	主任教授	23	○	第2回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育WS	〃	4
104	内科、泌尿 高崎診療科	佐藤 友郎	東京医科大学病院	講師	19	○	第13回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
105	内科、泌尿 高崎診療科	深澤 啓太	東京医科大学病院	助教	14	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
106	内科、泌尿 高崎診療科	金子 薫樹	東京医科大学病院	助教	9	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
107	内科、泌尿 高崎診療科	竹野下 尚仁	東京医科大学病院	助教	9	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
108	内科、泌尿 高崎診療科	小川 裕介	東京医科大学病院	助教	9	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
109	内科、泌尿 高崎診療科	櫻井 剛	東京医科大学病院	臨床助教	7	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
110	内科、泌尿 臨床検査医学科	木内 英	東京医科大学病院	主任教授	24	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
111	内科、泌尿 臨床検査医学科	天野 豊裕	東京医科大学病院	教授	35	○	第2回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	2,4
112	内科、泌尿 臨床検査医学科	萩原 剛	東京医科大学病院	講師	34	○	第14回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
113	内科、泌尿 臨床検査医学科	四本 美保子	東京医科大学病院	講師	24	○	第12回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
114	内科、泌尿 臨床検査医学科	村松 崇	東京医科大学病院	臨床講師	19	○	第14回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030215

臨床研修病院の名称： 東京医科大学病院

No.	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
115	内科、選択 臨床検査医学科	一木 昭人	東京医科大学病院	助教	13	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
116	内科、選択 臨床検査医学科	鎌倉 真登	東京医科大学病院	助教	16	○	第13回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
117	内科、選択 臨床検査医学科	関谷 類子	東京医科大学病院	助教	19	○	第13回臨床研修指導医講習会	〃	4
118	内科、選択 臨床検査医学科	近藤 悠志	東京医科大学病院	助教	15	○	第15回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
119	内科、選択 臨床検査医学科	上久保 淑子	東京医科大学病院	助教	11	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
120	内科、選択 臨床検査医学科	山口 知子	東京医科大学病院	臨床研究医	12	○	平成29年度東京医科大学歯学部附属病院指導医講習会	〃	4
121	精神科、選択 メンタルヘルス科	井上 肇	東京医科大学病院	主任教授	39	○	平成26年度北海道・北海道医師会指導医のための教育WS	〃	4
122	精神科、選択 メンタルヘルス科 学芸・薬師健康サポートセンター	市原 真澄	東京医科大学	教授	31	○	平成22年度茨城県指導医養成講習会	〃	4
123	精神科、選択 メンタルヘルス科	本屋敷 美奈	東京医科大学病院	講師	21	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
124	精神科、選択 メンタルヘルス科	森下 千尋	東京医科大学病院	助教	9	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
125	精神科、選択 メンタルヘルス科	小野 美樹	東京医科大学病院	助教	21	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
126	精神科、選択 メンタルヘルス科	東山 幹	東京医科大学病院	助教	10	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
127	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	池田 徳彦	東京医科大学病院	主任教授	37	○	第8回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
128	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	筒井 英光	東京医科大学病院	教授	32	○	第2回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
129	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	大平 達夫	東京医科大学病院	教授	33	○	第11回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
130	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	堀花 昌俊	東京医科大学病院	准教授	28	○	第5回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
131	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	萩原 徹	東京医科大学病院	臨床准教授	27	○	第14回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
132	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	欠野 由希子	東京医科大学病院	講師	28	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
133	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	前原 幸夫	東京医科大学病院	講師	21	○	第12回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
134	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	江藤 勇人	東京医科大学病院	講師	18	○	VHJ他病指導医養成講習会	〃	4
135	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	嶋田 善久	東京医科大学病院	講師	21	○	第1回	〃	4
136	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	大森 智一	東京医科大学病院	助教	12	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
137	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	大塚 潤一郎	東京医科大学病院	助教	13	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
138	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	福田 賢太郎	東京医科大学病院	助教	13	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
139	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	田村 温美	東京医科大学病院	助教	14	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
140	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	小原 亮爾	東京医科大学病院	助教	10	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
141	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	高橋 聡	東京医科大学病院	助教	17	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
142	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	飯塚 俊佑	東京医科大学病院	臨床研究医	10	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
143	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	山田 祐揮	東京医科大学病院	臨床助教	8	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
144	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	米山 礼美	東京医科大学病院	臨床研究医	13	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
145	外科、選択 呼吸器外科・甲状腺外科	文嶋 裕紀	東京医科大学病院	臨床研究医	7	○	第14回徳島医科大学病院臨床研修指導医養成講習会	〃	4
146	外科、選択 心臓血管外科	藤原 佑介	東京医科大学病院	主任教授	22	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
147	外科、選択 心臓血管外科	福田 尚司	東京医科大学病院	教授	30	○	独立行政法人国立国際医療研究センター病院第5回臨床研修指導医養成WS	〃	4
148	外科、選択 心臓血管外科	神谷 健太郎	東京医科大学病院	講師	23	○	第2回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育WS	〃	4
149	外科、選択 心臓血管外科	岩橋 徹	東京医科大学病院	講師	23	○	第15回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
150	外科、選択 心臓血管外科	藤吉 俊敏	東京医科大学病院	講師	14	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
151	外科、選択 消化器外科・小児外科	永川 裕一	東京医科大学病院	主任教授	29	○	東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
152	外科、選択 消化器外科・小児外科	藤又 健次	東京医科大学病院	教授	39	○	第1回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030215

臨床研修病院の名称： 東京医科大学病院

No.	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
153	外科、泌尿 消化器外科・小児外科	橋本 正顕	東京医科大学病院	准教授	24	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
154	外科、泌尿 消化器外科・小児外科	石崎 哲夫	東京医科大学病院	准教授	25	○	第14回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
155	外科、泌尿 消化器外科・小児外科	林 豊	東京医科大学病院	准教授	22	○	第14回日本医師会指導医のための教育WS	4	4
156	外科、泌尿 消化器外科・小児外科	小園 真吾	東京医科大学病院	講師	20	○	日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」	4	4
157	外科、泌尿 消化器外科・小児外科	宮崎 謙一	東京医科大学病院	講師	17	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
158	外科、泌尿 消化器外科・小児外科	大田 真洋	東京医科大学病院	講師	23	○	第13回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
159	外科、泌尿 消化器外科・小児外科	笠原 健大	東京医科大学病院	助教	12	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
160	外科、泌尿 消化器外科・小児外科	森原 寛	東京医科大学病院	助教	17	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
161	外科、泌尿 消化器外科・小児外科	則部 弘哲	東京医科大学病院	助教	13	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
162	外科、泌尿 消化器外科・小児外科	瀧下 智恵	東京医科大学病院	助教	16	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
163	外科、泌尿 消化器外科・小児外科	橋本 将也	東京医科大学病院	助教	10	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
164	外科、泌尿 消化器外科・小児外科	木谷 晋孝	東京医科大学病院	臨床助教	12	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
165	外科、泌尿 消化器外科・小児外科	松本 明	東京医科大学病院	臨床研究医	8	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
166	外科、泌尿 消化器外科・小児外科	久保山 侖	東京医科大学病院	臨床研究医	8	○	医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針	4	4
167	外科、泌尿 乳腺科	石川 孝	東京医科大学病院	主任教授	36	○	第9回横浜市立大学病院若手臨床研修指導医養成講習会	4	4
168	外科、泌尿 乳腺科	宮原 か奈	東京医科大学病院	講師	15	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
169	外科、泌尿 乳腺科	渡邊 亜衣	東京医科大学病院	講師	14	○	第15回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
170	外科、泌尿 乳腺科	佐藤 冴子	東京医科大学病院	助教	13	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
171	外科、泌尿 乳腺科	河手 敬郎	東京医科大学病院	助教	15	○	第14回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
172	外科、泌尿 乳腺科	織本 翠子	東京医科大学病院	臨床研究医	8	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
173	泌尿 眼科	後藤 浩	東京医科大学病院	主任教授	39	○	第10回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
174	泌尿 眼科	若林 美宏	東京医科大学病院	教授	35	○	第10回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
175	泌尿 眼科	田井 晋郎	東京医科大学病院	准教授	22	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
176	泌尿 眼科	熊倉 重人	東京医科大学病院	准教授	29	○	第3回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育WS	4	4
177	泌尿 眼科	森 秀樹	東京医科大学病院	講師	29	○	第5回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
178	泌尿 眼科	黒誌 和比古	東京医科大学病院	講師	18	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
179	泌尿 眼科	山本 香織	東京医科大学病院	講師	26	○	第6回東京女子医科大学病院指導医講習会	4	4
180	泌尿 眼科	川上 根子	東京医科大学病院	臨床講師	27	○	第15回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
181	泌尿 眼科	坪田 敬也	東京医科大学病院	助教	13	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
182	泌尿 眼科	瀧澤 直也	東京医科大学病院	助教	10	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
183	泌尿 眼科	木下 悠十	東京医科大学病院	臨床研究医	15	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
184	外科、泌尿 脳神経外科	河野 進矩	東京医科大学病院	主任教授	36	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
185	外科、泌尿 脳神経外科	秋元 治朗	東京医科大学病院	教授	31	○	第3回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
186	外科、泌尿 脳神経外科	橋本 孝朗	東京医科大学病院	准教授	31	○	第7回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
187	外科、泌尿 脳神経外科	深見 真二郎	東京医科大学病院	准教授	25	○	第10回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
188	外科、泌尿 脳神経外科	中島 伸幸	東京医科大学病院	講師	27	○	第8回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
189	外科、泌尿 脳神経外科	岡田 博史	東京医科大学病院	助教	16	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4
190	外科、泌尿 脳神経外科	菊野 宗明	東京医科大学病院	院内講師	12	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	4

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030215

臨床研修病院の名称： 東京医科大学病院

No.	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
191	外科、泌尿 脳神経外科	松島 健	東京医科大学病院	助教	13	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
192	外科、泌尿 脳神経外科	一坂 倫生	東京医科大学病院	助教	13	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
193	外科、泌尿 脳神経外科	永井 健大	東京医科大学病院	助教	12	○	医師の臨床研修に係る指導医講習会に開催指針	〃	4
194	外科、泌尿 耳鼻咽喉科・顕微鏡外科	塚原 清彰	東京医科大学病院	主任教授	25	○	第2回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育WS	〃	4
195	外科、泌尿 耳鼻咽喉科・顕微鏡外科	稲垣 太郎	東京医科大学病院	准教授	24	○	第3回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育WS	〃	4
196	外科、泌尿 耳鼻咽喉科・顕微鏡外科	岡本 伊作	東京医科大学病院	准教授	20	○	第23回久留米大学病院指導医講習会	〃	4
197	外科、泌尿 耳鼻咽喉科・顕微鏡外科	西山 信宏	東京医科大学病院	臨床准教授	28	○	第7回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
198	外科、泌尿 耳鼻咽喉科・顕微鏡外科	清水 順	東京医科大学病院	臨床准教授	27	○	第2回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	2,4
199	外科、泌尿 耳鼻咽喉科・顕微鏡外科	欠富 正徳	東京医科大学病院	講師	16	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
200	外科、泌尿 耳鼻咽喉科・顕微鏡外科	本橋 玲	東京医科大学病院	講師	20	○	第4回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育WS	〃	4
201	外科、泌尿 耳鼻咽喉科・顕微鏡外科	渡嘉敷 邦部	東京医科大学病院	講師	14	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
202	外科、泌尿 耳鼻咽喉科・顕微鏡外科	千葉 裕人	東京医科大学病院	助教	7	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
203	外科、泌尿 整形外科	山本 謙吾	大学本部	病院長	40	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
204	外科、泌尿 整形外科	穴戸 孝明	東京医科大学病院	教授	36	○	第14回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
205	外科、泌尿 整形外科	西田 淳	東京医科大学病院	教授	40	○	第8回若手医師臨床研修	〃	4
206	外科、泌尿 整形外科	高瀬 節己	東京医科大学病院	教授	37	○	第2回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
207	外科、泌尿 整形外科	正岡 利紀	東京医科大学病院	准教授	35	○	第4回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
208	外科、泌尿 整形外科	滝藤 健司	東京医科大学病院	准教授	35	○	第1回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
209	外科、泌尿 整形外科	立岩 俊之	東京医科大学病院	講師	24	○	茨城県指導医養成講習会	〃	4
210	外科、泌尿 整形外科	小山 善士	東京医科大学病院	講師	33	○	第8回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
211	外科、泌尿 整形外科	石田 常仁	東京医科大学病院	講師	20	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
212	外科、泌尿 整形外科	西村 浩輔	東京医科大学病院	講師	19	○	第11回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
213	外科、泌尿 整形外科	齋藤 周一	東京医科大学病院	臨床講師	29	○	第3回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
214	外科、泌尿 整形外科	齋藤 泰可	東京医科大学病院	臨床講師	19	○	第10回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	
215	外科、泌尿 整形外科	岡 健	東京医科大学病院	助教	12	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
216	外科、泌尿 整形外科	原口 善久	東京医科大学病院	助教	16	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
217	外科、泌尿 整形外科	福田 礼実	東京医科大学病院	病院助教	9	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
218	外科、泌尿 整形外科	小西 隆允	東京医科大学病院	助教	10	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
219	外科、泌尿 整形外科	黒中 孝則	東京医科大学病院	助教	10	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
220	外科、泌尿 形成外科	松村 一	東京医科大学病院	主任教授	36	○	第12回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
221	外科、泌尿 形成外科	小宮 貴子	東京医科大学病院	准教授	21	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
222	外科、泌尿 形成外科	内田 龍志	東京医科大学病院	講師	26	○	平成19年度茨城県指導医養成講習会	〃	4
223	外科、泌尿 形成外科	石川 紗都香	東京医科大学病院	講師	19	○	第11回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
224	外科、泌尿 形成外科	柴田 大	東京医科大学病院	講師	18	○	第13回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
225	外科、泌尿 形成外科	伊藤 匡民	東京医科大学病院	講師	14	○	平成29年度茨城県指導医養成講習会	〃	4
226	外科、泌尿 形成外科	島田 和樹	東京医科大学病院	助教	14	○	第19回日本医師会指導医のための教育WS	〃	4
227	外科、泌尿 形成外科	青木 昂平	東京医科大学病院	助教	8	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
228	外科、泌尿 形成外科	藤部 奈々子	東京医科大学病院	助教	7	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030215

臨床研修病院の名称： 東京医科大学病院

No.	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
229	外科、泌尿 形成外科	野中 榮仁	東京医科大学病院	臨床助教	7	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
230	外科、泌尿 形成外科	青柳 兼郎	東京医科大学病院	臨床研究医	9	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
231	放射線科、麻酔 麻酔科	内野 博之	東京医科大学病院	主任教授	36	○	第1回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
232	放射線科、麻酔 麻酔科	中澤 弘一	東京医科大学病院	教授	39	○	平成16年度東京医科大学歯学部附属病院臨床研修指導医講習会	〃	4
233	放射線科、麻酔 麻酔科	舘根 秀介	東京医科大学病院	講師	25	○	第4回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
234	放射線科、麻酔 麻酔科	福井 秀公	東京医科大学病院	講師	27	○	第4回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
235	放射線科、麻酔 麻酔科	西山 隆久	東京医科大学病院	臨床講師	29	○	第1回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
236	放射線科、麻酔 麻酔科	神沼 孝泰	東京医科大学病院	臨床講師	26	○	第8回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
237	放射線科、麻酔 麻酔科	板橋 俊雄	東京医科大学病院	臨床講師	22	○	第10回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
238	放射線科、麻酔 麻酔科	岡田 寿郎	東京医科大学病院	助教	9	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
239	放射線科、麻酔 麻酔科	鈴木 直樹	東京医科大学病院	助教	11	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
240	放射線科、麻酔 麻酔科	薮木 巖	東京医科大学病院	助教	13	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
241	放射線科、麻酔 麻酔科	崔 英姫	東京医科大学病院	助教	11	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
242	放射線科、麻酔 麻酔科	沖田 綾乃	東京医科大学病院	助教	14	○	第15回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
243	放射線科、麻酔 麻酔科	小林 翼礼	東京医科大学病院	助教	9	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
244	放射線科、麻酔 麻酔科	長倉 知輝	東京医科大学病院	助教	9	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
245	放射線科、麻酔 麻酔科	魚島 直美	東京医科大学病院	臨床助教	13	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
246	泌尿 皮膚科	原田 和俊	東京医科大学病院	主任教授	29	○	第6回山梨県臨床研修指導医ワークショップ	〃	4
247	泌尿 皮膚科	大久保 ゆかり	東京医科大学病院	教授	39	○	第14回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
248	泌尿 皮膚科	伊藤 友章	東京医科大学病院	准教授	25	○	第4回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
249	泌尿 皮膚科	阿部 名美子	東京医科大学病院	講師	23	○	第10回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
250	泌尿 皮膚科	前 賢一郎	東京医科大学病院	講師	17	○	第14回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
251	泌尿 皮膚科	入澤 亮吉	東京医科大学病院	講師	34	○	第8回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
252	泌尿 皮膚科	沼田 善史	東京医科大学病院	助教	14	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
253	泌尿 皮膚科	西堀 藍子	東京医科大学病院	助教	10	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
254	泌尿 皮膚科	比留岡 淳一郎	東京医科大学病院	助教	11	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
255	泌尿 皮膚科	丸山 美穂	東京医科大学病院	臨床研究医	9	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
256	産婦人科、麻酔 産科・婦人科	西洋 孝	東京医科大学病院	主任教授	29	○	第9回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
257	産婦人科、麻酔 産科・婦人科	久慈 重昭	東京医科大学病院	教授	41	○	第14回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
258	産婦人科、麻酔 産科・婦人科	小野 政徳	東京医科大学病院	准教授	23	○	石川地域医療連携センター	〃	4
259	産婦人科、麻酔 産科・婦人科	小島 淳哉	東京医科大学病院	講師	16	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
260	産婦人科、麻酔 産科・婦人科	佐々木 徹	東京医科大学病院	講師	18	○	第5回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
261	産婦人科、麻酔 産科・婦人科	山本 阿紀子	東京医科大学病院	講師	23	○	吉林大学医学部附属病院第10回指導医養成ワークショップ	〃	4
262	産婦人科、麻酔 産科・婦人科 医学教育学	野平 知哉	東京医科大学	講師	32	○	第2回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育WS	〃	4
263	産婦人科、麻酔 産科・婦人科	小野 理貴	東京医科大学病院	講師	14	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
264	外科、泌尿 泌尿器科	大野 芳正	東京医科大学病院	主任教授	33	○	第10回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
265	外科、泌尿 泌尿器科	矢野 俊英	東京医科大学病院	講師	29	○	第4回指導医養成ワークショップ	〃	4
266	外科、泌尿 泌尿器科	橋本 剛	東京医科大学病院	講師	18	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030215

臨床研修病院の名称： 東京医科大学病院

No.	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
267	外科、選択 泌尿器科	平澤 陽介	東京医科大学病院	講師	15	○	第15回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
268	外科、選択 泌尿器科	佐竹 直哉	東京医科大学病院	講師	19	○	平成23年度茨城県指導医養成講習会	〃	4
269	外科、選択 泌尿器科	小野 航	東京医科大学病院	助教	10	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
270	外科、選択 泌尿器科	鈴木 雄太郎	東京医科大学病院	助教	9	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
271	外科、選択 泌尿器科	石田 卓也	東京医科大学病院	助教	14	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
272	選択 放射線科	齋藤 和博	東京医科大学病院	主任教授	33	○	第5回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
273	選択 放射線科	阿部 光一郎	東京医科大学病院	教授	33	○	平成20年度九州大学病院副臨床研修指導医講習会	〃	4
274	選択 放射線科	宮村 真奈	東京医科大学病院	教授	37	○	第9回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
275	選択 放射線科	朴 殷浩	東京医科大学病院	臨床准教授	31	○	第3回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
276	選択 放射線科	三上 隆二	東京医科大学病院	講師	24	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
277	選択 放射線科	佐口 徹	東京医科大学病院	講師	33	○	第3回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育WS	〃	4
278	選択 放射線科	高良 祐寛	東京医科大学病院	助教	9	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
279	選択 放射線科	勇内山 大介	東京医科大学病院	助教	14	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
280	選択 放射線科	田島 祐	東京医科大学病院	助教	14	○	平成30年度茨城県指導医養成講習会	〃	4
281	選択 放射線科	糸永 知広	東京医科大学病院	助教	11	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
282	選択、CPC 人体高度学	長尾 俊孝	東京医科大学	主任教授	32	○	第8回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
283	選択、CPC 人体高度学	松林 純	東京医科大学	教授	27	○	第11回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
284	選択、CPC 人体高度学	高橋 礼典	東京医科大学	准教授	28	○	第8回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
285	選択、CPC 人体高度学	助田 翼	東京医科大学	助教	14	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
286	選択、CPC 人体高度学	平井 秀明	東京医科大学	助教	12	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
287	選択、CPC 人体高度学	梶原 真奈美	東京医科大学	助教	9	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
288	選択、CPC 人体高度学	内海 由貴	東京医科大学	大学院生	11	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
289	選択 リハビリテーションセンター	長尾 卓也	東京医科大学病院	講師	31	○	第15回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
290	選択 リハビリテーションセンター	上野 竜一	東京医科大学病院	臨床講師	33	○	第13回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
291	選択 内臓センター	河合 隆	東京医科大学病院	主任教授	39	○	第4回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
292	選択 内臓センター	杉本 光榮	東京医科大学病院	教授	28	○	浜松医科大学医学部附属病院臨床研修指導医講習会	〃	4
293	選択 内臓センター	永田 尚器	東京医科大学病院	准教授	21	○	独立行政法人国立国際医療研究センター病院第3回臨床研修指導医WS	〃	4
294	選択 内臓センター	宮田 英星	東京医科大学病院	助教	13	○	国立国際医療研究センター病院第6回臨床研修指導医養成WS	〃	4
295	救命救急センター 医学教育学	内田 廉太郎	東京医科大学	講師	21	○	第10回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
296	救命救急センター	鈴木 彰二	東京医科大学病院	臨床講師	24	○	第12回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
297	救命救急センター	石井 友理	東京医科大学病院	助教	14	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
298	救命救急センター	平山 健	東京医科大学病院	助教	14	○	第11回筑波野赤十字病院臨床研修指導医養成講習会	〃	4
299	救命救急センター	下山 京一郎	東京医科大学病院	助教	9	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
300	救命救急センター	藤川 圓	東京医科大学病院	助教	10	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
301	救命救急センター	森永 順太郎	東京医科大学病院	助教	11	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
302	救命救急センター	谷野 雄亮	東京医科大学病院	助教	11	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
303	救命救急センター	櫻井 雅子	東京医科大学病院	助教	12	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4
304	救命救急センター	金田 健太	東京医科大学病院	助教	13	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	〃	4

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030215

臨床研修病院の名称： 東京医科大学病院

No.	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
305	泌尿 腫瘍予防医学センター	新倉 龍次	東京医科大学病院	講師	16	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
306	泌尿 腫瘍予防医学センター	瀧田 麻梨子	東京医科大学病院	助教	9	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
307	内科、泌尿 感染制御部	中村 浩	東京医科大学病院	准教授	19	○	第11回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
308	内科、泌尿 感染制御部	藤田 裕規	東京医科大学病院	助教	11	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
309	内科、泌尿 感染制御部	小林 勇仁	東京医科大学病院	助教	13	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
310	内科、泌尿 感染制御部	佐藤 彩子	東京医科大学病院	臨床助教	13	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
311	内科、泌尿 感染制御部	土屋 真希	東京医科大学病院	臨床助教	8	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
312	泌尿 腫瘍予防医学センター	福島 慎二	東京医科大学病院	講師	24	○	第11回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
313	泌尿 腫瘍予防医学センター	高橋 英明	東京医科大学病院	助教	7	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
314	泌尿、CPC 泌尿診療科	佐藤 永一	東京医科大学	准教授	26	○	第10回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
315	泌尿 医療の質・安全管理学	三島 史朗	東京医科大学	教授	35	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
316	泌尿 医療の質・安全管理学	浦松 雅史	東京医科大学	准教授	24	○	第12回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
317	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	山中 岳	東京医科大学病院	主任教授	27	○	第1回東京医科大学病院指導医のための教育WS	1,3,4	
318	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	山崎 崇志	東京医科大学病院	准教授	34	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
319	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	柏木 保代	東京医科大学病院	准教授	32	○	第11回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
320	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	熊田 篤	東京医科大学病院	講師	22	○	第1回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
321	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	浜 宗憲	東京医科大学病院	講師	19	○	第14回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
322	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	西亦 繁雄	東京医科大学病院	講師	25	○	第11回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
323	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	森地 振一郎	東京医科大学病院	講師	17	○	第13回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
324	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	石田 悠	東京医科大学病院	講師	14	○	第14回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
325	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	小穴 信吾	東京医科大学病院	臨床講師	24	○	第12回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
326	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	堀 範吾	東京医科大学病院	助教	14	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
327	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	西袋 麻里亜	東京医科大学病院	助教	11	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
328	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	大野 幸子	東京医科大学病院	助教	12	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
329	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	森岡 昇乃助	東京医科大学病院	助教	16	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
330	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	菅波 佑介	東京医科大学病院	助教	20	○	第13回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
331	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	代田 朋子	東京医科大学病院	臨床研究医	9	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
332	小児科、泌尿 小児科・泌尿科	羽生 直史	東京医科大学病院	臨床研究医	9	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	
333	泌尿 腫瘍予防医学センター	及川 哲郎	東京医科大学病院	教授	37	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育WS	4	

334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349

309名→ 333名

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030215

臨床研修病院の名称： 東京医科大学病院

No.	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医選考 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考
									1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等(R5.4.1)

病院施設番号：030235

臨床研修病院の名称：東京医科大学八王子医療センター

	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考
									1 プログラム責任者 2 プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医
1	内科・選択 血液内科	後藤 守孝	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	32	○	第8回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
2	内科・選択 循環器内科	田中 信大	東京医科大学 八王子医療センター	教授	33	○	東京医科大学病院指導医のための教育WS(第4回) 日本インターベンション学会認定医・指導医、東京医科大学病院指導医のための教育WS(第4回)	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
3	内科・選択 循環器内科	山田 聡	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	32	○	第4回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
4	内科・選択 循環器内科	久保 隆史	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	31	○	日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」(和歌山県医師会主査)	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
5	内科・選択 循環器内科	岩崎 陽一	東京医科大学 八王子医療センター	助教	12	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
6	内科・選択 循環器内科	伊藤 亮介	東京医科大学 八王子医療センター	助教	12	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
7	内科・選択 循環器内科	嘉澤 脩一郎	東京医科大学 八王子医療センター	助教	10	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
8	内科・選択 糖尿病・内分泌・代謝内科	松下 隆哉	東京医科大学 八王子医療センター	講師	28	○	第1回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
9	内科・選択 糖尿病・内分泌・代謝内科	小林 高明	東京医科大学 八王子医療センター	臨床講師	26	○	第8回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
10	内科・選択 糖尿病・内分泌・代謝内科	廣田 悠祐	東京医科大学 八王子医療センター	助教	15	○	第19回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
11	内科・選択 脳神経内科	田口 丈士	東京医科大学 八王子医療センター	助教	20	○	東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育WS(第4回)	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
12	内科・選択 脳神経内科	上田 優樹	東京医科大学 八王子医療センター	助教	16	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
13	内科・選択 消化器内科	北村 勝哉	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	24	○	平成30年上尾中央総合病院指導医講習会	030235505 030235506	4 臨床研修指導医

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 (R5.4.1)

病院施設番号：030235

臨床研修病院の名称：東京医科大学八王子医療センター

	担当分野		氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考
										1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医
14	内科・選択	消化器内科	中村 洋典	東京医科大学 八王子医療センター	臨床講師	21	○	第3回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
15	内科・選択	消化器内科	平良 淳一	東京医科大学 八王子医療センター	臨床講師	21	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
16	内科・選択	消化器内科	山本 圭	東京医科大学 八王子医療センター	臨床講師	21	○	第8回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
17	内科・選択	消化器内科	奴田原 大輔	東京医科大学 八王子医療センター	助教	18	○	第4回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
18	内科・選択	呼吸器内科	清水谷 尚宏	東京医科大学 八王子医療センター	講師	27	○	2005年茨城県導医養成講習会受講	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
19	内科・選択	呼吸器内科	宇留間 友寛	東京医科大学 八王子医療センター	講師	22	○	東海大学指導医養成講習会受講	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
20	内科・選択	腎臓内科	尾田 高志	東京医科大学 八王子医療センター	教授	35	○	防衛医科大学校臨床研修指導医講習会	030235505 030235506	2 副プログラム責任者 4 臨床研修指導医
21	内科・選択	腎臓内科	山田 宗治	東京医科大学 八王子医療センター	講師	21	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
22	内科・選択	腎臓内科	内田 貴大	東京医科大学 八王子医療センター	講師	17	○	第165回臨床研修指導医講習会	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
23	内科・選択	腎臓内科	富安 朋宏	東京医科大学 八王子医療センター	助教	15	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
24	内科・選択	腎臓内科	小島 糾	東京医科大学 八王子医療センター	助教	15	○	第5回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
25	内科・選択	腎臓内科	深澤 亜希	東京医科大学 八王子医療センター	助教	8	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
26	内科・選択	腎臓内科	酒井 敬史	東京医科大学 八王子医療センター	助教	7	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 (R5.4.1)

病院施設番号：030235

臨床研修病院の名称：東京医科大学八王子医療センター

	担当分野		氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考
										1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医
27	内科・選択	高齢診療科	阿部 晋衛	東京医科大学 八王子医療センター	講師	33	○	第3回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
28	内科・選択	高齢診療科	畑中 啓邦	東京医科大学 八王子医療センター	臨床講師	10	○	東京医科大学病院指導医のための教育WS（第17回）	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
29	外科・選択	呼吸器外科	梶原 直史	東京医科大学 八王子医療センター	教授	28	○	東京医科大学病院指導医のための教育WS（第3回）	030235505 030235506	2 副プログラム責任者 4 臨床研修指導医
30	外科・選択	呼吸器外科	今井 健太郎	東京医科大学 八王子医療センター	助教	19	○	上尾中央総合病院主催「指導医のための教育ワークショップ」平成23年6月5日	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
31	外科・選択	呼吸器外科	河口 洋平	東京医科大学 八王子医療センター	助教	10	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
32	外科・選択	心臓血管外科	赤坂 純逸	東京医科大学 八王子医療センター	教授	31	○	第4回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
33	外科・選択	心臓血管外科	井上 秀範	東京医科大学 八王子医療センター	臨床講師	27	○	第3回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
34	外科・選択	心臓血管外科	本橋 慎也	東京医科大学 八王子医療センター	臨床准教授	24	○	第18回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
35	外科・選択	心臓血管外科	木村 光裕	東京医科大学 八王子医療センター	助教	20	○	第13回山梨県臨床研修指導医ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
36	外科・選択	心臓血管外科	芳賀 真	東京医科大学 八王子医療センター	助教	16	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
37	外科・選択	消化器外科・移植外科	河地 茂行	東京医科大学 八王子医療センター	主任教授	34	○	第14回慶應義塾大学病院臨床研修指導医養成ワークショップ	030235505 030235506	1 プログラム責任者 3 研修実施責任者
38	外科・選択	消化器外科・移植外科	日高 英二	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	31	○	第10回昭和大学病院指導医講習会	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
39	外科・選択	消化器外科・移植外科	千葉 斉一	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	20	○	第16回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 (R5. 4. 1)

病院施設番号：030235

臨床研修病院の名称：東京医科大学八王子医療センター

	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考	
									1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医	
40	外科・選択	消化器外科・移植外科	田淵 悟	東京医科大学 八王子医療センター	講師	22	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
41	外科・選択	消化器外科・移植外科	新後閑 正敏	東京医科大学 八王子医療センター	助教	19	○	東京医科大学病院指導医のための教育WS(第17回)	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
42	外科・選択	消化器外科・移植外科	佐野 達	東京医科大学 八王子医療センター	助教	13	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
43	外科・選択	消化器外科・移植外科	郡司 崇裕	東京医科大学 八王子医療センター	助教	9	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
44	外科・選択	腎臓外科	岩本 整	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	27	○	第2回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
45	外科・選択	腎臓外科	今野 理	東京医科大学 八王子医療センター	講師	22	○	第3回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
46	外科・選択	腎臓外科	木原 優	東京医科大学 八王子医療センター	講師	21	○	第18回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
47	外科・選択	腎臓外科	沖原 正章	東京医科大学 八王子医療センター	助教	21	○	第18回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
48	外科・選択	腎臓外科	赤司 勲	東京医科大学 八王子医療センター	助教	24	○	2019年度日本病院会第1回臨床研修指導医講習会	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
49	外科・選択	乳腺科	山田 公人	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	31	○	東京医科大学病院指導医のための教育WS(第3回)	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
50	外科・選択	乳腺科	天谷 圭吾	東京医科大学 八王子医療センター	助教	13	○	第18回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
51	外科・選択	脳神経外科	神保 洋之	東京医科大学 八王子医療センター	教授	34	○	第1回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
52	外科・選択	脳神経外科	大塚 邦紀	東京医科大学 八王子医療センター	助教	17	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
53	外科・選択	整形外科	西川 洋平	東京医科大学 八王子医療センター	助教	12	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 (R5.4.1)

病院施設番号：030235

臨床研修病院の名称：東京医科大学八王子医療センター

	担当分野		氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考
										1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医
54	外科・選択	整形外科	鎌田 浩亮	東京医科大学 八王子医療センター	助教	10	○	第22回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
55	外科・選択	形成外科	片平 次郎	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	33	○	第7回東京女子医科大学病院指導医講習会	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
56	小児科・選択	小児科	長尾 竜兵	東京医科大学 八王子医療センター	臨床講師	21	○	第2回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
57	小児科・選択	小児科	笹本 武明	東京医科大学 八王子医療センター	助教	10	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
58	小児科・選択	小児科	税所 純也	東京医科大学 八王子医療センター	助教	9	○	茨城県指導医養成講習会	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
59	産婦人科・選択	産科・婦人科	小野寺 高幹	東京医科大学 八王子医療センター	助教	19	○	第20回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
60	産婦人科・選択	産科・婦人科	鈴木 知生	東京医科大学 八王子医療センター	助教	9	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
61	選択	眼科	志村 雅彦	東京医科大学 八王子医療センター	教授	31	○	第5回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
62	選択	眼科	野間 英孝	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	30	○	第5回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
63	選択	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	小川 恭生	東京医科大学 八王子医療センター	教授	27	○	耳鼻咽喉科専門医、東京医科大学病院指導医のための教育WS(第6回)	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
64	選択	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	岡田 拓朗	東京医科大学 八王子医療センター	講師	16	○	茨城県指導医養成講習会（平成25年2月10日）	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
65	選択	皮膚科	梅林 芳弘	東京医科大学 八王子医療センター	教授	35	○	第122回全国自治体病院協議会指導医講習会	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
66	選択	皮膚科	加藤 雪彦	東京医科大学 八王子医療センター	教授	34	○	平成18年東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
67	選択	泌尿器科	林 建二郎	東京医科大学 八王子医療センター	助教	22	○	第10回杏林大学医学部附属病院指導医養成ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 (R5. 4. 1)

病院施設番号：030235

臨床研修病院の名称：東京医科大学八王子医療センター

	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考	
									1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医	
68	選択	泌尿器科	松原 脩也	東京医科大学 八王子医療センター	助教	8	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
69	麻酔科部門・選択	麻酔科・救急部門	富野 美紀子	東京医科大学 八王子医療センター	助教	17	○	第15回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
70	麻酔科部門・選択	麻酔科・救急部門	高橋 奈々恵	東京医科大学 八王子医療センター	助教	23	○	第14回大阪指導医養成講習会受講	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
71	麻酔科部門・選択	麻酔科・救急部門	前田 亮二	東京医科大学 八王子医療センター	助教	15	○	第17回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
72	麻酔科部門・選択	麻酔科・救急部門	大嶽 宏明	東京医科大学 八王子医療センター	助教	12	○	第18回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
73	麻酔科部門・選択	麻酔科・救急部門	奥山 亮介	東京医科大学 八王子医療センター	助教	12	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
74	選択	放射線科	大久保 充	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	19	○	第3回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
75	選択	放射線科	大高 純	東京医科大学 八王子医療センター	助教	13	○	第19回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
76	選択	放射線科	山田 隆文	東京医科大学 八王子医療センター	助教	11	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育WS	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
77	選択	歯科口腔外科	小川 隆	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	32	○	第2回東京医科大学歯科大学歯学部付属病院臨床研修指導歯科医講習会	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
78	内科・選択	臨床検査医学科	田中 朝志	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	36	○	平成21年日本医師会指導医養成講習会受講	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
79	救急部門・選択	救命救急センター	弦切 純也	東京医科大学 八王子医療センター	講師	19	○	第5回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
80	救急部門・選択	救命救急センター	金村 剛宗	東京医科大学 八王子医療センター	助教	18	○	第17回日本医師会指導医のための教育WS	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
81	救急部門・選択	救命救急センター	奈倉 武郎	東京医科大学 八王子医療センター	助教	18	○	東京医科大学病院指導医のための教育WS(第10回)	030235505 030235506	4 臨床研修指導医

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等(R5.4.1)

病院施設番号：030235

臨床研修病院の名称：東京医科大学八王子医療センター

	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考	
									1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医	
82	救急部門・選択	救命救急センター	守屋 まりこ	東京医科大学 八王子医療センター	助教	10	○	東京医科大学病院指導医のための教育WS（第17回）	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
83	救急部門・選択	救命救急センター	鈴木 健也	東京医科大学 八王子医療センター	助教	17	○	第15回藤田保健衛生大学病院臨床研修指導医講習会	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
84	救急部門・選択	救命救急センター	佐野 秀史	東京医科大学 八王子医療センター	助教	13	○	第162回臨床研修指導医講習会	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
85	救急部門・選択	救命救急センター	沼田 儒志	東京医科大学 八王子医療センター	助教	8	○	第23回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
86	救急部門・選択	特定集中治療部・救急部門	池田 寿昭	東京医科大学 八王子医療センター	教授	44	○	第2回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
87	救急部門・選択	特定集中治療部・救急部門	蒲原 英伸	東京医科大学 八王子医療センター	教授	34	○	平成21年度熊本大学病院指導医講習会	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
88	救急部門・選択	特定集中治療部・救急部門	須田 慎吾	東京医科大学 八王子医療センター	助教	18	○	東京医科大学病院指導医のための教育WS(第19回)	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
89	救急部門・選択	特定集中治療部・救急部門	蒔苗 永	東京医科大学 八王子医療センター	助教	24	○	第7回順天堂大学医学部初期臨床研修指導医講習会	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
90	内科・選択	感染症科	平井 由児	東京医科大学 八王子医療センター	教授	24	○	H22年東京女子医科大学病院指導医養成講習会受講	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
91	内科・選択	感染症科	石橋 令旺	東京医科大学 八王子医療センター	助教	17	○	第14回特定非常利活動法人良陵協議会臨床研修指導医講習会	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
92	内科・選択	臨床腫瘍科	青木 琢也	東京医科大学 八王子医療センター	教授	33	○	第11回慶應義塾大学病院臨床研修指導医ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
93	内科・選択	リウマチ性疾患治療センター	青木 昭子	東京医科大学 八王子医療センター	教授	38	○	第3回東京医科大学八王子医療センター指導医のための教育ワークショップ	030235505 030235506	2 副プログラム責任者 4 臨床研修指導医
94	内科・選択	リウマチ性疾患治療センター	小林 弘	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	27	○	臨床研修指導医講習会	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
95	内科・選択	病理診断部	中津川 宗秀	東京医科大学 八王子医療センター	教授	24	○	東京医科大学病院指導医のための教育WS（第19回）	030235505 030235506	4 臨床研修指導医

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 (R5. 4. 1)

病院施設番号：030235

臨床研修病院の名称：東京医科大学八王子医療センター

	担当分野		氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習会等 の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考
										1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医
96	内科・選択	総合診療科	安彦 壮一郎	東京医科大学 八王子医療センター	助教	11	○	第21回東京医科大学病院指導医のための教育 ワークショップ	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
97	選択	メンタルヘルス科	藤村 洋太	東京医科大学 八王子医療センター	教授	21	○	第7回旭川医科大学病院指導医養成講習会受講	030235505 030235506	4 臨床研修指導医
98	選択	メンタルヘルス科	玉田 有	東京医科大学 八王子医療センター	講師	17	○	第9回国家公務員共済組合連合会病院臨床研修 指導医養成講習会	030235505 030235506	4 臨床研修指導医

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号 : 031446

臨床研修病院の名称 : 独立行政法人地域医療機能

(No.)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
外科	渡邊 正志	東京蒲田医療センター	院長	40	○			3, 4
内科	磯 薫	東京蒲田医療センター	内科部長	31	○	日本糖尿病学会指導医、日本内科学会総合内科専門医・指導医		1, 4
消化器内科	宮澤 秀明	東京蒲田医療センター	消化器内科部長	30	○	日本消化器病学会専門医		4
外科	田村 晃	東京蒲田医療センター	外科部長	30	○	日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医		4
整形外科	宮崎 芳安	東京蒲田医療センター	整形外科部長	28	○	日本整形外科学会専門医、日本整形外科リウマチ医		4
脳神経外科	小名木 敦雄	東京蒲田医療センター	脳神経外科医師	40	○			4
救急	宮崎 親男	東京蒲田医療センター	脳神経外科部長	26	○	日本脳神経外科学会指導医		4
泌尿器科	木内 孝樹	東京蒲田医療センター	泌尿器科部長	21	○	日本泌尿器科学会指導医		4
耳鼻咽喉科	石黒 彩	東京蒲田医療センター	耳鼻咽喉科医長	24	○	日本耳鼻咽喉科学会専門医		4
眼科	鈴木 佑佳	東京蒲田医療センター	眼科部長	21	○	日本眼科学会専門医		4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号 : 031446

臨床研修病院の名称 : 独立行政法人地域医療機能

(No.)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験年数	指導医 講習会 等の受 講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
------	----	----	----	------------	--	-----	---------	--

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること)。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

31.臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 病院施設番号 030269 臨床研修病院の名称 聖マリアンナ医科大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	信岡 祐彦	大学病院	特任教授	41	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第5回(H17.1.14～15) 平成26年度プログラム責任者養成講習会修了(修了日H26.11.4)	聖マリアンナ医科大学病院臨床研修 基本プログラム 聖マリアンナ医科大学病院臨床研修 小児科重点プログラム 聖マリアンナ医科大学病院臨床研修 産婦人科重点プログラム	4
内科	國島 広之	大学病院	教授	26	○	平成21年度特定非営利活動法人長陵協議会臨床研修指導医講習会(修了日H21.9.13)	〃	4
内科	松田 隆秀	大学病院	教授	41	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第7回(H18.1.6～7)	〃	4
内科	鳥飼 圭人	大学病院	准教授	20	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第11回(H20.5.16～17)	〃	4
内科	土田 知也	大学病院	助教	14	○	Home and Away Nine-Days Faculty Development Fellowship (HANDS-FDF)2014第1回(修了日H26.3.23)	〃	4
内科	廣瀬 雅宣	大学病院	助教	11	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21～9/22)	〃	4
内科	井上 健男	大学病院	准教授	27	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第4回(H16.3.12～13)	〃	4
内科	半田 寛	大学病院	講師	17	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第18回(H24.6.8～9)	〃	4
内科	木田 博隆	大学病院	講師	16	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20～21)	〃	4
内科	阿座上 真哉	大学病院	助教	9	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20～21)	〃	4
内科	明石 嘉浩	大学病院	教授	25	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第10回(H19.11.16～17)	〃	4
内科	木田 圭亮	大学病院	准教授	20	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第18回(H24.6.8～9)	〃	4
内科	田邊 康宏	大学病院	准教授	24	○	第16回「臨床研修指導医のための教育ワークショップ」(修了日H22.3.14) 平成24年度プログラム責任者養成講習会修了(修了日H24.11.20)	〃	4
内科	原田 智雄	大学病院	病院教授	38	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第2回(H15.6.20～21)	〃	4
内科	安田 宏	大学病院	病院教授	37	○	第16回「臨床研修指導医のための教育ワークショップ」(修了日H18.9.18)	〃	4
内科	清川 博史	大学病院	助教	11	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20～21)	〃	4
内科	服部 伸洋	大学病院	助教	16	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20～21)	〃	4

31.臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 病院施設番号 030269 臨床研修病院の名称 聖マリアンナ医科大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経歴 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	路川 陽介	大学病院	助教	13	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20～21)	〃	4
内科	柴垣 有吾	大学病院	教授	28	○	第3回東京大学医学部附属病院指導医講習会(修了日H20.2.17)	〃	4
内科	櫻田 勉	大学病院	准教授	23	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第14回(H21.6.19～20)	〃	4
内科	谷澤 雅彦	大学病院	講師	16	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第22回(H29/9/15-9/16)	〃	4
内科	小波津 香織	大学病院	助教	11	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20～21)	〃	4
内科	月山 秀一	大学病院	助教	11	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20～21)	〃	4
内科	中川 朋子	大学病院	助教	14	○	聖路加国際病院臨床研修指導医のための教育ワークショップ(修了日H23.6.5)	〃	4
内科	佐々木 直	大学病院	助教	28	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第7回(H18.1.6～7)	〃	4
内科	秋山 久尚	大学病院	准教授	33	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第14回(H21.6.19～20)	〃	4
内科	伊佐早 健司	大学病院	助教	16	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第19回(H26/9/5-9/6)	〃	4
内科	清水 高弘	大学病院	講師	20	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20～21)	〃	4
内科	櫻井 謙三	大学病院	助教	16	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第19回(H26/9/5-9/6)	〃	4
内科	鈴木 義則	大学病院	助教	30	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第8回(H18.9.8～9)	〃	4
内科	加藤 雅之	大学病院	講師	35	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第3回(H151.14～15)	〃	4
内科	佐野 文明	西部病院	特任准教授	38	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第5回(H17.1.14～15)	〃	4
内科	上村 悠	大学病院	助教	10	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20～21)	〃	4
内科	永渕 裕子	大学病院	講師	33	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第14回(H21.6.19～20)	〃	4
内科	大岡 正道	大学病院	准教授	25	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第7回(H18.1.6～7)	〃	2.4

31.臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 病院施設番号 030269 臨床研修病院の名称 聖マリアンナ医科大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	櫻井 恵一	大学病院	助教	12	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20～21)	〃	4
内科	山崎 行敬	大学病院	助教	13	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第20回 (H27/9/18-9/19)	〃	4
内科	中川 禎介	大学病院	特任准教授	39	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第6回(H17.9.16～17)	〃	4
内科	内藤 純行	大学病院	助教	14	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第19回(H26/9/5-9/6)	〃	4
内科	峯下 昌道	大学病院	教授	35	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第22回(H29/9/15-9/16)	〃	4
内科	西根 広樹	大学病院	講師	19	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第21回(H28/9/16-9/17)	〃	4
内科	森川 慶	大学病院	講師	14	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	〃	4
内科	古賀 将史	大学病院	助教	13	○	JA長野厚生連第11回「研修医教育のためのワークショップ」(修了日H30.9.8)	〃	4
内科	黄 世捷	大学病院	講師	16	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第18回(H24.6.8～9) 令和元年度プログラム責任者養成講習会修了(修了日R1.11.9)	〃	1, 4
内科	石橋 祐記	大学病院	講師	18	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第20回(H27/9/18-9/19)	〃	4
内科	出雲 昌樹	大学病院	准教授	17	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	〃	4
内科	渡邊 綱正	大学病院	講師	26	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	〃	4
内科	市川 大介	大学病院	講師	17	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第21回(H28/9/16-9/17)	〃	4
内科	小島 茂樹	大学病院	助教	13	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第21回(H28/9/16-9/17)	〃	4
内科	中村 祐太	大学病院	助教	8	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	〃	4
内科	白石 眞	大学病院	准教授	25	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第20回(H27/9/18-9/19)	〃	4
内科	萩原 悠太	大学病院	助教	13	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第21回(H28/9/16-9/17)	〃	4

31.臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 病院施設番号 030269 臨床研修病院の名称 聖マリアンナ医科大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	富田 直人	大学病院	准教授	31	○	平成20年度横浜市立大学病院群臨床研修指導医養成講習会(修了日H21.1.11)	〃	4
内科	川畑 仁人	大学病院	教授	29	○	平成27年度東京医科歯科大学医学部附属病院指導医講習会(修了日H28.2.7)	〃	4
内科	今村 充	大学病院	講師	20	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	〃	4
内科	水島 万智子	大学病院	助教	15	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	〃	4
外科	望月 篤	大学病院	准教授	29	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第8回(H18.9.8~9) 平成20年度プログラム責任者養成講習会修了(修了日H20.10.28)	〃	2.4
外科	太田 智彦	大学病院	大学院教授	36	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第10回(H19.11.16~17)	〃	4
外科	大坪 毅人	大学病院	病院長	35	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第5回(H17.1.14~15)	〃	3.4
外科	小泉 哲	大学病院	准教授	27	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第7回(H18.1.6~7)	〃	4
外科	牧角 良二	大学病院	准教授	29	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第10回(H19.11.16~17)	〃	4
外科	榎本 武治	大学病院	講師	25	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第10回(H19.11.16~17)	〃	4
外科	小林 慎二郎	大学病院	准教授	25	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第14回(H21.6.19~20)	〃	4
外科	嶋田 仁	大学病院	助教	17	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第19回(H26/9/5-9/6)	〃	4
外科	民上 真也	大学病院	准教授	29	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第13回(H20.11.14~15)	〃	4
外科	朝野 隆之	大学病院	講師	28	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第7回(H18.1.6~7) 平成24年度プログラム責任者養成講習会修了(修了日H24.11.3)	〃	2.4
外科	土橋 篤仁	大学病院	助教	11	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20~21)	〃	4
外科	近田 正英	大学病院	病院教授	36	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第5回(H17.1.14~15)	〃	4
外科	西巻 博	大学病院	病院教授	36	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第18回(H24.6.8~9)	〃	4

31.臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 病院施設番号 030269 臨床研修病院の名称 聖マリアンナ医科大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
外科	宮入 剛	大学病院	教授	38	○	三井記念病院第1回医師臨床研修指導医講習会(修了日H23.7.10)	〃	4
外科	千葉 清	大学病院	講師	19	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第11回(H20.5.16~17)	〃	4
外科	佐治 久	大学病院	教授	26	○	東京医科大学病院 指導医のための教育ワークショップ(修了日H19.9.15)	〃	4
外科	北川 博昭	大学病院	教授	41	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第7回(H18.1.6~7)	〃	4
外科	川瀬 弘一	大学病院	病院教授	38	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第10回(H19.11.16~17)	〃	4
外科	古田 繁行	大学病院	准教授	25	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第2回(H15.6.20~21) 平成27年度プログラム責任者養成講習会修了(修了日H27.10.31)	〃	4
外科	津川 浩一郎	大学病院	教授	34	○	聖路加国際病院臨床研修指導医のための教育ワークショップ(修了日H17.7.24)	〃	4
外科	小島 康幸	大学病院	准教授	20	○	聖路加国際病院臨床研修指導医のための教育ワークショップ(修了日H22.7.11)	〃	4
外科	志茂 新	大学病院	助教	20	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第18回(H24.6.8~9)	〃	4
外科	小島 宏司	大学病院	准教授	31	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第22回(H29/9/15-9/16)	〃	1.4
外科	瀬上 航平	大学病院	助教	16	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第21回(H28/9/16-9/17)	〃	4
外科	浜辺 太郎	大学病院	助教	14	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第19回(H26/9/5-9/6)	〃	4
外科	福岡 麻子	大学病院	助教	16	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第22回(H29/9/15-9/16)	〃	4
外科	縄田 寛	大学病院	准教授	23	○	第13回慶應義塾大学病院臨床研修指導医養成ワークショップ(修了日H20.8.9)	〃	4
外科	丸島 秀樹	大学病院	准教授	24	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第21回(H28/9/16-9/17)	〃	4
外科	大山 慧	大学病院	助教	12	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	〃	4
外科	本吉 愛	大学病院	助教	24	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	〃	4

31.臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 病院施設番号 030269 臨床研修病院の名称 聖マリアンナ医科大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
外科	黒田 貴子	大学病院	助教	12	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第22回(H29/9/15-9/16)	〃	4
小児	宇田川 紀子	大学病院	助教	26	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第7回(H18.1.6~7)	〃	4
小児	勝田 友博	大学病院	講師	20	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第17回(H23.9.2~3)	〃	4
小児	麻生 健太郎	大学病院	病院教授	28	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第5回(H17.1.14~15) 平成29年度プログラム責任者養成講習会修了(修了日H29.10.24)	〃	1, 4
小児	森 鉄也	大学病院	病院教授	31	○	第5回慶應義塾大学病院臨床研修指導医養成ワークショップ 補講終了書(修了日H26. 6. 28)	〃	4
小児	長江 千愛	大学病院	講師	22	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第20回(H27/9/18-9/19)	〃	4
小児	中村 幸嗣	大学病院	講師	16	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第18回(H24.6.8~9)	〃	4
小児	鈴木 真波	大学病院	助教	18	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	〃	4
小児	清水 直樹	大学病院	教授	31	○	第133回臨床研修指導医講習会(修了日H28. 9. 18)	〃	4
小児	北東 功	大学病院	病院教授	26	○	第11回慶應義塾大学病院臨床研修指導医養成ワークショップ(修了日H18. 8. 26)	〃	4
小児	小町 詩織	大学病院	助教	13	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20~21)	〃	4
小児	山本 仁	大学病院	特任教授	42	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第4回(H16.3.12~13)	〃	4
精神	伊野 美幸	大学病院	教授	39	○	医療推進財団(P-MET) 臨床研修指導医養成講習会(修了日H14. 2)	〃	4
精神	安藤(野田) 久美子	大学病院	准教授	25	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第22回(H29/9/15-9/16)	〃	4
精神	袖長(秋元) 光知穂	大学病院	講師	30	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第20回(H27/9/18-9/19)	〃	4
精神	三宅 誕実	大学病院	講師	20	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第21回(H28/9/16-9/17)	〃	4
精神	小口 芳世	大学病院	講師	17	○	平成26年度精神科七者懇会 第1回「臨床研修指導医講習会」(修了日H27. 1. 18)	〃	4

31.臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 病院施設番号 030269 臨床研修病院の名称 聖マリアンナ医科大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経歴 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
精神	橋本 知明	大学病院	助教	16	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第20回(H27/9/18-9/19)	〃	4
緩和医療学	櫛野 宣久	大学病院	助教	21	○	第11回東海大学医学部付属病院臨床研修指導医養成講習会(修了日H21.6.6)	〃	4
精神	古茶 大樹	大学病院	教授	31	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	〃	4
精神	小野 和哉	大学病院	特任教授	31	○	第2回東京慈恵会医科大学研修指導医講習会(2006/11/26)	〃	4
脳外	伊藤 英道	大学病院	講師	22	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第7回(H18.1.6~7)	〃	4
脳外	高砂 浩史	大学病院	講師	22	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第17回(H23.9.2~3)	〃	4
脳外	松森 隆史	大学病院	助教	19	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第18回(H24.6.8~9)	〃	4
脳外	太組 一朗	大学病院	准教授	29	○	第8回日本医科大学臨床研修指導医教育ワークショップ(修了日H23.12.17)	〃	4
脳外	内田 将司	大学病院	助教	15	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	〃	4
脳外	後藤 哲哉	大学病院	准教授	28	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2007(修了日H19.11.18)	〃	4
整形	藤谷 博人	大学病院	教授	32	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第21回(H28/9/16-9/17)	〃	4
整形	鳥居 良昭	大学病院	講師	21	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第16回(H22.6.18~19)	〃	4
整形	仁木 久照	大学病院	教授	37	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第20回(H27/9/18-9/19)	〃	4
整形	三井 寛之	大学病院	助教	14	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第22回(H29/9/15-9/16)	〃	4
整形	赤澤 努	大学病院	病院教授	25	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第22回(H29/9/15-9/16)	〃	4
整形	山本 豪明	大学病院	講師	19	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第22回(H29/9/15-9/16)	〃	4
整形	植原 健二	大学病院	助教	22	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第16回(H22.6.18~19)	〃	4
整形	吉田 篤弘	大学病院	助教	11	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20~21) 7/12	〃	4

31.臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 病院施設番号 030269 臨床研修病院の名称 聖マリアンナ医科大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
形成外科	梶川 明義	大学病院	教授	37	○	平成20年度新臨床研修指導医養成研修会(修了日H21.1.11) (福島県立医科大学付属病院)	"	4
形成外科	相原 正記	大学病院	病院教授	38	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第11回(H20.5.16~17)	"	4
形成外科	関 征央	大学病院	講師	15	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第19回(H26/9/5-9/6)	"	4
皮膚科	竹内(岡野) そら	大学病院	助教	17	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第19回(H26/9/5-9/6)	"	4
皮膚科	門野 岳史	大学病院	教授	29	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第20回(H27/9/18-9/19)	"	4
皮膚科	宮垣 朝光	大学病院	准教授	17	○	第13回東京大学医学部附属病院指導医講習会(2017/2/18)	"	4
皮膚科	岡野 達郎	大学病院	助教	11	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	"	4
産婦	鈴木 直	大学病院	教授	31	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第11回(H20.5.16~17) 令和元年度プログラム責任者養成講習会修了(修了日R1.10.11)	"	1.4
産婦	近藤 春裕	大学病院	助教	23	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第14回(H21.6.19~20)	"	4
産婦	大原 樹	大学病院	講師	21	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第20回(H27/9/18-9/19)	"	4
産婦	杉下 陽堂	大学病院	講師	17	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第18回(H24.6.8~9)	"	4
産婦	長谷川 潤一	大学病院	病院教授	23	○	第20回昭和大学臨床研修指導医講習会(2015/9/13)	"	4
産婦	横道 憲幸	大学病院	助教	15	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第20回(H27/9/18-9/19)	"	4
産婦	岩端 秀之	大学病院	助教	12	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	"	4
眼科	北岡 康史	大学病院	大学院教授	24	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第7回(H18.1.6~7)	"	4
眼科	徳田 直人	大学病院	講師	22	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第22回(H29/9/15-9/16)	"	4
耳鼻咽喉科	肥塚 泉	大学病院	教授	40	○	平成12年度臨床研修指導医養成講習会(修了日H12.12.16) (臨床研修研究会 医療研修推進財団)	"	4

31.臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 病院施設番号 030269 臨床研修病院の名称 聖マリアンナ医科大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経歴 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
耳鼻咽喉科	岡田 智幸	大学病院	特任教授	37	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第5回(H17.1.14～15)	〃	4
耳鼻咽喉科	齋藤 善光	大学病院	助教	14	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第19回(H26/9/5-9/6)	〃	4
耳鼻咽喉科	明石 愛美	大学病院	助教	11	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	〃	4
耳鼻咽喉科	春日井 滋	大学病院	講師	20	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第22回(H29/9/15-9/16)	〃	4
耳鼻咽喉科	深澤 雅彦	大学病院	助教	18	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20～21)	〃	4
放射線	三村 秀文	大学病院	教授	34	○	第8回川崎医科大学附属病院卒後臨床研修指導医養成講習会(修了日H24. 8. 19)	〃	4
放射線	森本 毅	大学病院	講師	19	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	〃	4
放射線	藤川 あつ子	大学病院	助教	19	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	〃	4
放射線	松岡 伸	大学病院	准教授	29	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第3回(H15.11.14～15)	〃	4
放射線	中村 尚生	大学病院	講師	26	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第6回(H17.9.16～17)	〃	4
放射線	橋本 一樹	大学病院	助教	16	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20～21)	〃	4
病理	小池 淳樹	大学病院	教授	30	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第5回(H17.1.14～15)	〃	4
麻酔	坂本 三樹	大学病院	病院教授	28	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第6回(H17.9.16～17)	〃	4
麻酔	横塚 牧人	大学病院	助教	15	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第19回(H26/9/5-9/6)	〃	4
麻酔	井上 莊一郎	大学病院	教授	29	○	平成23年度自治医科大学附属病院臨床研修指導医講習会(修了日H23. 7. 13)	〃	4
麻酔	佐藤 祐	大学病院	助教	16	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第19回(H26/9/5-9/6)	〃	4
麻酔	田澤 利治	大学病院	講師	27	○	第10回横浜市立大学病院群臨床研修指導医養成講習会修了(H27. 1. 31～2. 1)	〃	4
救急	平 泰彦	大学病院	特任教授	41	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第10回(H19.11.16～17)	〃	4

31.臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 病院施設番号 030269 臨床研修病院の名称 聖マリアンナ医科大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経歴 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
救急	下澤 信彦	大学病院	講師	30	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第14回(H21.6.19～20)	〃	4
救急	森澤 健一郎	大学病院	准教授	22	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第7回(H18.1.6～7)	〃	4
救急	昆 祐理	大学病院	助教	17	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第17回(H23.9.2～3)	〃	4
救急	藤谷 茂樹	大学病院	教授	31	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第11回(H20.5.16～17)	〃	4
救急	田北 無門	大学病院	診療助手	12	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第22回(H29/9/15-9/16)	〃	4
救急	川口 剛史	大学病院	助教	12	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第23回(H30/9/21-9/22)	〃	4
救急	森川 大樹	大学病院	助教	11	○	第12回 J A D E C O M 地域志向型指導医講習会(修了日 H29. 2. 5)	〃	4
泌尿器	丸井 祐二	大学病院	病院教授	27	○	第6回国家公務員共済組合連合会病院臨床研修指導医養成講習会(修了日 H27. 10. 31)	〃	4
泌尿器	中澤 龍斗	大学病院	准教授	20	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第20回(H27/9/18-9/19)	〃	4
泌尿器	菊地 栄次	大学病院	教授	27	○	第10回慶應義塾大学病院臨床研修指導医養成ワークショップ(修了日 H17. 8. 4)	〃	4
臨床腫瘍学	堀江 良樹	大学病院	助教	16	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第17回(H23.9.2～3)	〃	4
臨床腫瘍学	伊澤 直樹	大学病院	講師	16	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第18回(H24.6.8～9)	〃	4
臨床腫瘍学	砂川 優	大学病院	准教授	18	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第24回(R1.9.20～21)	〃	4
リハビリテーション医学	佐々木 信幸	大学病院	教授	24	○	第12回国際医療福祉大学・高邦会グループ臨床研修指導医養成ワークショップ修了(H26.10.15)	〃	4
リハビリテーション医学	山徳 雅人	大学病院	講師	16	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第19回(H26/9/5-9/6)	〃	4
内科	佐藤 如雄	大学病院	助教	11	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第25回(R4.9.16～17)	〃	4
内科	前畑 忠輝	大学病院	教授	20	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第25回(R4.9.16～17)	〃	4

31.臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 病院施設番号 030269 臨床研修病院の名称 聖マリアンナ医科大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	渡邊 詩香	大学病院	助教	9	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第25回(R4.9.16～17)	〃	4
内科	川名部 新	大学病院	助教	9	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第25回(R4.9.16～17)	〃	4
内科	深野 崇之	大学病院	助教	13	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第25回(R4.9.16～17)	〃	4
内科	山崎 和子	大学病院	講師	28	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第25回(R4.9.16～17)	〃	4
臨床腫瘍学	武田 弘幸	大学病院	助教	10	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第25回(R4.9.16～17)	〃	4
外科	井田 圭亮	大学病院	助教	9	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第25回(R4.9.16～17)	〃	4
小児	長田 洋資	大学病院	講師	11	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第25回(R4.9.16～17)	〃	4
外科	駒ヶ嶺 正英	大学病院	講師	17	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第25回(R4.9.16～17)	〃	4
外科	田中 邦英	大学病院	助教	11	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第25回(R4.9.16～17)	〃	4
整形	葛西 亨	大学病院	助教	8	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第25回(R4.9.16～17)	〃	4
産婦	高江 正道	大学病院	准教授	18	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第25回(R4.9.16～17)	〃	4
眼科	向後 二郎	大学病院	講師	20	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第25回(R4.9.16～17)	〃	4
麻酔	浜辺 宏介	大学病院	助教	9	○	聖マリアンナ医科大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ修了第25回(R4.9.16～17)	〃	4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

31.臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 病院施設番号 030269 臨床研修病院の名称 聖マリアンナ医科大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
------	----	----	----	--------	----------------------------	-----	---------	--

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

別
綴
3

厚生中央病院
内科専門医研修プログラム (Ver.13)

厚生中央病院 研修プログラム管理委員会 編

厚生中央病院「研修医としての心得十箇条」

1. 医の倫理について良く理解し、診療にあたること。
2. 患者さんには懇切、丁寧な対応をし、インフォームドコンセントに努めること。
3. 身嗜みや言葉使いに注意し、医師としての品位を損なわないようにすること。
4. 病院の信用を傷つけ、又は利益を害するような言動はしないこと。
5. 信頼の基本である約束や時間を厳守すること。
6. チームワークを大切にし、協調に努めること。
7. 困ったときには独自の判断で問題を解決しないこと。
8. カルテの重要性を理解し、正確な記載に努めること。
9. カンファランス等には積極的に参加し、自己研鑽に努めること。
10. コスト意識を持って、材料等を大切に使用すること。

目次

1	厚生中央病院の理念.....	1
2	内科専門研修の理念と使命.....	1
3	内科専門研修の基本方針.....	1
4	厚生中央病院の概要.....	2
5	厚生中央病院の専門研修基幹施設としての認定基準.....	4
6	プログラムの特徴と研修施設群の構成.....	5
7	専攻医の処遇.....	16
8	厚生中央病院 専門研修指導医（総合内科専門医）5名.....	17
9	指導医に対する指導ガイド.....	17
10	内科専門研修の目標.....	19
11	専門知識と専門技術の到達目標（習得すべき知識、技能、態度など）.....	19
12	症例の経験目標.....	21
13	専門研修の方法.....	22
14	専門研修中の年度ごとの知識・技能・態度の修練プロセス（最終頁 別表参照）.....	23
15	専門研修の評価（日本内科学会専攻医登録評価システム）.....	24
16	総括的評価.....	25
17	評価の責任者.....	25
18	修了判定のプロセス.....	25
19	専門知識の習得計画.....	25
20	専攻医の年間プログラム表.....	26
21	研修プログラム管理委員会.....	31
22	研修プログラム修了の基準と休止、中断、移動について.....	32
23	研修プログラムの評価と改善.....	33
24	専攻医の採用と修了.....	33
25	厚生中央病院内科専門医研修プログラム（「専攻医研修マニュアル Ver2」）... ..	34
26	厚生中央病院内科専門医研修プログラム（「指導者マニュアル Ver 2」）.....	42

厚生中央病院 内科専門医研修プログラム

1 厚生中央病院の理念

- 1) 私たちは、心の通った温もりを感じる医療を目指します。
- 2) 私たちは、組合の被保険者ならびに地域の人々の健康と福祉に貢献します。
- 3) 私たちは、病院機能の充実を図り、サービス向上のため日々研鑽します。

2 内科専門研修の理念と使命

厚生中央病院は地域を支え、高度急性期病院等との橋渡しの機能を持った地域中核の急性期病院である。地域の健康と福祉を支えることを理念の一つとしている。地域中核病院として、地域に貢献できる内科専門医を育成することは病院の一つの使命である。

求める医師像としては、知識と技術に偏らず、患者さんに心豊かな人間性を持って診療する事が出来、患者・家族の心身に対する苦痛を真摯に受け止め、医師としてのプロフェッショナルリズムとリサーチマインドの素養をもって、地域の人々に全人的に診療ができる医師である。

3 内科専門研修の基本方針

日本内科学会が示した内科専門医研修プログラム整備基準に則した研修を行い、求められている内科専門医の医師像（高い倫理感を持ち、最新の標準的医療を実践し、安全な医療を心がけ、プロフェッショナルリズムに基づく患者中心の医療を展開できる医師）を遅滞なく育成し、3または4年間の研修修了時に内科専門医受験資格を獲得する。

4 厚生中央病院の概要

全国土木建築国民健康保険組合の直営病院として、同組合被保険者ならびに地域の人々の健康と福祉に貢献することを目的に昭和 34 年 5 月に開設された。開設当初は、地下 1 階、地上 6 階の建物で、診療科は内科、外科、整形外科、産婦人科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、及び放射線科の 9 科を有する総合病院として発足した。その後、患者数の増加に伴い逐年病床を増床するほか設備、器機の充実を図ると共に事業の拡張を図ってきたが、建物、設備の老朽化が進んだため、昭和 63 年東京都の恵比寿地区における整備計画に協力する形で隣接地に新病院を建設することになった。

新しく生まれ変わった病院は、目覚ましい変化を遂げた山の手「恵比寿」の地に平成 4 年 6 月装いも新たに 320 床、15 科（現 16 科）を備える病院として開院した。地下 2 階、地上 8 階の建物は、旧病院の約 2 倍の床面積となり近代的な設備、器機を揃え放射線治療も可能となった。平成 16 年 4 月に管理型臨床研修指定病院の認定を受け、若き医師の育成にも携わっている。平成 29 年 9 月には日本医療機能評価機構から 4 回目の施設認定を受けている。現在、地域中核の急性期病院として、地域の人々から頼られ、信頼される病院を創ることに努力している。

地域の患者さんから選ばれるために「地域の人々が身近に感じられる病院」、「高齢化社会に適応した急性期病院」を目指し、職員から選ばれるために「職員の研修研究活動を積極的に支援」し「公明正大で隠さない文化を根付かせる」ことを大切にしている。

病院施設：全国土木建築国民健康保険組合直営病院

病 院 長：河島 尚志

住 所：東京都目黒区三田 1-11-7

1) 病床数 320 床：

一般病床 257 床（7:1 看護体制）、包括ケア病床 45 床、ドック病床 18 床

外来患者数（2021 年度平均 466.8 名/日）、入院患者数（2021 年度平均 179.2 名/日）

2) 医師数：初期研修医含め 79 名（令和 4 年 5 月現在）

3) 診療科 16 科：

総合内科（血液内科、呼吸器内科、神経内科、腫瘍内科、リウマチ膠原病内科、内分泌内科）、消化器外科（消化器病センター外科）、消化器内科（消化器病センター内科）、循環器内科、皮膚科、呼吸器・乳腺外科、眼科、耳鼻咽喉科、小児科、産婦人科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、麻酔科、診療放射線科、メンタルヘルス科

4) 施設基準（基本診療科）：

① 急性期一般入院料 1

② 救急医療管理加算

③ 超急性期脳卒中加算

④ 診療録管理体制加算 2

- ⑤ 医師事務作業補助体制加算 2 (75 対 1)
- ⑥ 急性期看護補助体制加算
- ⑦ 看護職員夜間 12 対 1 配置加算
- ⑧ 無菌治療室管理加算 1
- ⑨ 緩和ケア診療加算
- ⑩ 栄養サポートチーム加算
- ⑪ 医療安全対策加算 1
- ⑫ 医療安全対策地域連携加算 1
- ⑬ 感染防止対策加算 1 感染防止対策地域連携加算
- ⑭ 抗菌薬適正使用支援加算
- ⑮ 患者サポート体制充実加算
- ⑯ ハイリスク妊娠管理加算
- ⑰ ハイリスク分娩管理加算
- ⑱ 後発医薬品使用体制加算 1
- ⑲ 病棟薬剤業務実施加算 1
- ⑳ データ提出加算 2
- ㉑ 入退院支援加算 1 入院時支援加算
- ㉒ 認知症ケア加算 1
- ㉓ せん妄ハイリスク患者ケア加算
- ㉔ 排尿自立支援加算
- ㉕ 地域医療体制確保加算
- ㉖ 地域包括ケア病棟入院料 2 一般病棟入院基本料 (7 対 1)

5) 学会認定施設 (内科系)

- ① 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- ② 日本老年医学会認定研修施設
- ③ 日本消化器病学会認定施設
- ④ 日本血液学会認定血液研修施設
- ⑤ 日本呼吸器学会認定施設
- ⑥ 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ⑦ 日本神経学会認定准教育施設
- ⑧ 日本がん治療認定研修施設
- ⑨ 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ⑩ 本消化器内視鏡学会認定指導施設
- ⑪ 日本脳卒中学会専門医研修教育病院
- ⑫ 日本大腸肛門学会専門医修練施設
- ⑬ 日本病理学会登録施設
- ⑭ 日本臨床細胞学会教育研修施設

6) 主な設備

- ① 放射線治療装置
- ② R I 診断装置
- ③ 病理解剖室、無菌室、血管撮影治療室、体外衝撃波結石破碎室、分娩室、感染隔離陰圧室、医療安全管理室、外来化学療法室
- ④ MR I、ヘリカルCT装置、CアームX線テレビ装置、その他

5 厚生中央病院の専門研修基幹施設としての認定基準

- 1) 初期臨床研修制度基幹型研修指定病院である。
- 2) 研修に必要な図書室とインターネット環境がある。
- 3) 厚生中央病院常勤医師として労務環境が保障されている。
- 4) メンタルストレスに適切に対処する部署（庶務課）がある。
- 5) ハラスメント委員会、倫理委員会、治験管理委員会が設置され定期的に開催されている。
- 6) 女性専攻医が安心して勤務できるための更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室等が整備され、院外の保育施設を利用できる環境を整えている。
- 7) 指導医は6名在籍している。
- 8) 研修プログラム管理委員会（総括責任者：五関善成循環器内科部長）、プログラム管理者（根本消化器病センター内科統括部長）、内科専門研修委員会（委員長：小野啓資総合内科部長）を設置し他施設との連携を図りながら研修管理を行う。
- 9) 院内研修委員会主催の全職員向けの研修会（12回/年以上）が定期的に行われ、医療倫理（1回/年以上）、医療安全（1回/年以上）、感染対策（1回/年以上）、その他の講習会が行われているが、専攻医にはこの受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。
- 10) 研修施設群合同カンファランスを年に1回以上定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。
- 11) 医局主催の医局カンファランス（12回/年）、及び定期的に行われているCPC（3回/年）等の受講を専攻医に義務付け、そのための時間的余裕を与える。
- 12) 毎月行われている厚生中央病院主催の地域参加型カンファランスである地域連携セミナー（12回/年）の受講を専攻医に義務付け、そのための時間的余裕を与える。その他でも行われている地域参加型カンファランスの受講を義務付け時間的余裕を与える。
- 13) 全専攻医に研修1年次のJMECC受講を義務付け、そのための時間的余裕を与える。
- 14) 特別連携施設の専門研修では週に一回帰院し、指導医と面談しその施設での研修報告を行い適切な指導を受ける。
- 15) カリキュラムに示す内科領域13分野のうち少なくとも7分野以上で定常的に専門研修が可能な症例数が診療できる。70疾患群のうち少なくとも35以上の疾患群について研修が出来る。

16) 専門研修に必要な最低剖検数3件(2018年度10件、2019年度4件)を確保している。

17) 日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で3演題以上(2018年度3演題、2019年度4演題)学会報告をしている。

6 プログラムの特徴と研修施設群の構成

厚生中央病院は地域を支える基幹病院として高齢化社会に適応した急性期病院を目指している。高齢者は一人で多くの疾患を抱えていることから、各領域の専門医であるも、一般的な疾患については診療できなければならない。

当院は地域中核の内科専門研修基幹施設として、地域に根差した内科専門医の養成を図るものである。東京医科大学病院や東邦大学医療センター大橋病院を専門研修連携施設として高度急性期の疾患群や当院での経験が不足とされる疾患群についての研修を行う。また、地域に密着した小規模病院としての目黒病院では、一般急性期の初期診療から、当院では行われていない訪問看護ステーション等による在宅診療、リハビリ、ショートステイ(短期入院病床確保事業)など地域中核病院では得られない高齢化社会での地域に密着した小規模病院の役割と機能を理解し研修する。在宅を中心とした診療所の研修では、認知症や腫瘍性疾患などのターミナルケア等を、地域の中で在宅を中心に取り組んでいる医療現場で経験し、医療と介護の連携の重要性等を理解し研修する。

高齢化社会での地域における様々な医療現場での研修を行うことで、幅広く柔軟性に富んだ地域で活躍できる内科専門医を養成する。

専門研修基幹施設 : 厚生中央病院

専門研修連携施設 : 東京医科大学病院、東邦大学医療センター大橋病院

専門研修特別連携施設: 目黒病院、日扇会第一病院、えびす英クリニック、
榎林神経内科クリニック、ホームアレークリニック城南

1) 東京医科大学病院の概要(専門研修連携施設)

院長: 山本謙吾

住所: 東京都新宿区西新宿6-7-1

病院施設

① 病床数904床:

一般病床885床、精神病床19床

② 医師数: 初期研修医83名を含め791名(2019年4月現在)

③ 30診療科:

総合診療科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、リウマチ・膠原病内科、消化器内科、小児科・思春期科、脳神経内科、腎臓内科、高齢診療科、皮膚科、メンタルヘルズ科、臨床検査医学科、臨床腫瘍科、感染症科、呼吸器外科・甲状腺外科、心臓血管外科、乳腺科、

消化器外科・小児外科、産科・婦人科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科、
整形外科、形成外科、歯科口腔外科・矯正歯科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、
放射線科

④ 施設基準（基本診療科）：

地域歯科診療支援病歯科初診料、歯科外来診療環境体制加算 2、歯科診療特別
対応連携加算、特定機能病院入院基本料、救急医療管理加算、超急性期脳卒中
加算、診療録管理体制加算 1、医師事務作業補助体制加算 1、急性期看護補助
体制加算、夜間急性期看護補助体制加算、夜間看護体制加算、看護職員夜間配置
加算、看護補助加算、療養環境加算、重症者等療養環境特別加算、無菌治療室管理
加算 1、緩和ケア診療加算、精神科身体合併症管理加算、精神科リエゾンチーム
加算、摂食障害入院医療管理加算、栄養サポートチーム加算、医療安全対策
加算 1、感染防止対策加算 1、抗菌薬適正使用支援加算、患者サポート体制充実
加算、褥瘡ハイリスク患者ケア加算、ハイリスク妊娠管理加算、ハイリスク分娩
管理加算、呼吸ケアチーム加算、後発医薬品使用体制加算 1、病棟薬剤業務実施
加算 1、病棟薬剤業務実施加算 2、データ提出加算、入退院支援加算、入院時支援
加算、総合機能評価加算、認知症ケア加算、せん妄ハイリスク患者ケア加算、精神
疾患診療体制加算、精神科急性期医師配置加算、排尿自立支援加算、地域医療
体制確保加算、救命救急入院料 4、特定集中治療室管理料 1、早期離床・リハビリ
テーション加算、早期栄養介入管理加算、新生児特定集中治療室管理料 1、総合
周産期特定集中治療室管理料、小児入院医療管理料 1

⑤ 学会認定施設

非血縁者間骨髄採取・移植認定施設
臨床遺伝専門医制度研修施設
日本血液学会認定血液研修施設
日本内科学会認定教育病院
日本呼吸器学会認定施設
日本心血管インターベンション学会認定研修施設
日本高血圧学会専門医認定施設
日本糖尿病学会認定教育施設
内分泌代謝科認定教育施設
日本甲状腺学会認定専門医施設
日本リウマチ学会認定教育施設
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
日本消化器病学会認定施設
日本肝臓学会認定施設
日本腎臓学会認定研修施設
日本透析医学会認定施設
日本睡眠学会認定睡眠医療認定医療機関

日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本不整脈学会・日本心電学会認定 不整脈専門医研修施設証
日本神経学会認定教育施設
日本呼吸療法専門医研修施設
日本認知症学会認定教育施設
日本老年医学会認定施設
日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院
認定輸血検査技師制度指定施設
日本臨床検査医学会認定病院
日本輸血学会指定施設

⑤ 連携診療科

I) 腎臓内科 (常勤医師 28 名)

i) 菅野義彦 主任教授・副院長:

日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医
日本透析医学会専門医・指導医、日本老年医学会専門医・指導医
日本感染症学会専門医・指導医

ii) 長岡由女 兼任准教授:

日本内科学会総合内科専門医、日本腎臓学会専門医・指導医
日本透析医学会専門医・指導医、日本老年医学会専門医・指導医

iii) 長井美穂 講師・外来医長

日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医
日本透析医学会専門医・指導医

iv) その他

日本腎臓学会専門医 11 名、臨床研究医 8 名、後期臨床研修医 7 名、

II) 救命救急センター (常勤医師 41 名)

i) 本間 宙 主任教授・救命救急センター長:

日本救急医学会／日本専門医機構 認定救急科専門医、
日本救急医学会指導医、日本外科学会認定登録医、
日本外傷学会認定外傷専門医、日本 Acute Care Surgery 学会認定外科医

ii) 内田康太郎 講師・臨床教育医長:

日本救急医学会認定救急科専門医・指導医

iv) 櫻井雅子 助教・外来医長:

日本救急医学会認定救急科専門医、
日本集中治療医学会認定集中治療専門医

v) その他

日本救急医学会指導医 19 名、臨床研究医 10 名、後期研修医 11 名

III) リウマチ膠原病内科 (常勤医師 8 名)

i) 沢田哲治 主任教授・診療科長:

日本リウマチ学会専門医・指導医、日本内科学会認定医、
日本内科学会総合内科専門医

ii) 太原恒一郎臨床講師：

日本リウマチ学会専門医、日本内科学会認定医・指導医

iii) 林映臨床講師：

日本リウマチ学会専門医、日本内科学会認定医・指導医、
日本内科学会総合内科専門医

iv) その他 5 名

⑦ 東京医科大学病院の専門研修連携施設認定基準

I) 初期臨床研修制度基幹型研修指定病院である。

II) 研修に必要な図書室とインターネット環境がある。

III) 労務環境が保障されている。

IV) 臨床心理士によるカウンセリング（週 1）を実施している

V) ハラスメントに関する委員会が整備されている。

VI) 休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室等が整備されている。

保育所（つくしんぼ保育園、京王プラザ、リトルメイト）が利用可能です。

VII) 指導医は 40 名在籍している。

VIII) 研修管理委員会を設置し、基幹施設との連携により専攻医の研修支援体制を構築しています。

IX) 「医療安全」「感染対策」「個人情報保護」「コンプライアンス」に関する講習会を定期的開催しています。

X) 病院倫理委員会（月 1）を実施しています。

XI) JMECC 院内開催を実施しています。

XII) カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、すべての分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。

XIII) 臨床研究が可能な環境が整っています。また臨床研究支援センター、治験管理室が設置されています。

日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で 3 演題以上の学会発表をしています。

⑧ 専門研修プログラム統括責任者 近森 大志郎（循環器内科主任教授）

<メッセージ>

新宿区西新宿駅に位置する特定機能病院で、内科系診療科（総合診療科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、リウマチ・膠原病内科、神経内科、消化器内科、腎臓内科、高齢診療科、臨床検査医学科、感染症科）および救急領域での研修が可能です。

特定機能病院の特長として症例数が豊富で、幅広い症例を経験できます。最新治療や設備のもと、内科専門医として必要な技術を習得できる環境を提供します。他科との風通しも良く、他職種とのチームワークの良さも特長のひとつです。

2019年に新病院が完成しました。

⑨ 指導医数（常勤医）

日本循環器学会〔専門医、指導医〕、日本集中治療医学会専門医、日本脈管学会専門医、日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医、日本血液学会〔専門医、指導医〕、日本呼吸器学会〔専門医、指導医〕、日本甲状腺学会専門医、日本神経学会〔専門医、指導医〕、日本消化器病学会〔専門医、指導医〕、日本肝臓学会〔専門医、指導医〕、日本消化器内視鏡学会〔専門医、指導医〕、日本超音波医学会〔専門医、指導医〕、日本消化管学会専門医、日本腎臓学会〔専門医、指導医〕、日本透析医学会専門医、日本高血圧学会〔専門医、指導医〕、日本病態栄養学会専門医、日本認知症学会〔専門医、指導医〕、日本脳卒中学会専門医、日本老年医学会専門医、日本リウマチ学会〔専門医、指導医〕、日本アレルギー学会〔専門医、指導医〕、がん薬物療法〔専門医、指導医〕、日本糖尿病学会〔専門医、指導医〕、日本内分泌学会専門医、人間ドック健診指導医、日本プライマリ・ケア連合学会〔専門医、指導医〕、日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療〔専門医、指導医〕、日本臨床検医学会専門医、査日本エイズ学会指導医、日本感染症学会〔専門医、指導医〕、日本化学療法学会抗菌化学療法指導医、日本結核病学会結核・抗酸菌症指導医、厚生労働省医政局長指導医、日本人類遺伝学会〔専門医、指導医〕、日本アフェレンシス学会血漿交換療法専門医、日本がん治療認定医機構指導医、日本禁煙学会〔専門医、指導医〕、日本頭痛学会専門医、日本成人病（生活習慣病）学会管理指導医日本東洋医学会〔専門医、指導医〕、日本気管食道科学会専門医 他

⑩ 外来・入院患者数 2021年度

総入院患者数（実数） 25,800名 1日平均患者数 2,447名

⑪ 経験できる疾患群

きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳（疾患群項目表）にある13領域、70疾患群の症例を幅広く経験することができます。

⑫ 経験できる技術・技能

技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。

2) 東邦大学医療センター大橋病院の概要（専門研修連携施設）

院長：岩淵 聡

住所：東京都目黒区大橋2-22-36

病院施設

① 病床数：一般病床 320床

② 25診療科：

消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、膠原病リウマ

子科、糖尿病・代謝内科、小児科、精神科、外科、脳神経外科、整形外科、
心臓血管外科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、
麻酔科、形成外科、救急集中治療科、リハビリ科、病理診断科、総合内科

③ 施設基準（基本診療科）

一般病棟入院基本料（7対1）、臨床研修病院入院診療加算、救急医療管理料、
超急性期脳卒中加算、診療録管理体制加算2、医師事務作業補助体制加算2、
急性期看護補助体制加算2、重症者等療養環境特別加算、看護職員夜間配置
加算、緩和ケア診療加算、医療安全対策加算1、感染防止対策加算1、患者
サポート体制充実加算、退院調整加算、救急搬送患者地域連携紹介加算、救
急搬送患者地域受入加算、総合評価加算、呼吸ケアチーム加算、病棟薬剤業
務実施加算、データ提出加算2、特定集中治療室管理料3、ハイケアユニッ
ト入院医療管理料1、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児入院医療管
理料2

④ 学会認定施設（内科系）

日本内科学会認定医制度教育病院、日本循環器学会循環器専門医研修施設、
日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本大腸
肛門病学会専門医修練施設、日本呼吸器学会認定施設、日本アレルギー学会
専門医教育研修施設、日本腎臓学会研修施設、日本透析医学会専門医制度認
定施設、日本神経学会教育施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本動脈硬
化学会専門医教育施設、日本病理学会研修認定施設、日本臨床細胞学会認定
施設、日本臨床検査医学会認定研修施設、日本超音波専門医研修施設

⑤ 連携診療科

I) 消化器内科（常勤医師20名）

i) 前谷容主任教授：

消化器一般、胆道・膵臓疾患、内視鏡

ii) 渡邊学教授：

肝臓疾患、IVR

iii) 富永健司講師：

胃腸疾患

iv) その他

常勤医師20名

II) 糖尿病・代謝内科（常勤医師4名）

i) 上芝元主任教授：

総合内科専門医、糖尿病指導医、内分泌代謝科指導医、甲状腺専門医

ii) その他

日本糖尿病学会専門医3名

⑥ 東邦大学医療センター大橋病院の専門研修連携施設認定基準

I) 専攻医の環境

専攻医の勤務時間、休暇、当直、給与等の勤務条件に関しては、専攻医の就業環境を整えることを重視する。労働基準法を順守し、原則として東邦大学の「専攻医就業規則及び給与規則に従う。専攻医の心身の健康維持の配慮については各施設のプログラム管理委員会で管理する。特に精神衛生上の問題点が疑われる場合は臨床心理士によるカウンセリングを行う。専攻医は採用時に上記の労働環境、労働安全、勤務条件の説明を受けることになる。プログラム管理委員会では各施設における労働環境、労働安全、勤務に関して報告され、これらの事項について総括的に評価する。

※ 本プログラムでは基幹施設、連携施設の所属の如何に関わらず、基幹施設である東邦大学医療センター大橋病院の統一的な就業規則と給与規則で統一化しているが、このケースが標準系ということではない。個々の連携施設において事情を鑑み、専攻医に配慮のある明確な諸規則を用意する。

II) 専門研修プログラムの環境

i) 研修プログラム管理委員会

本プログラムを履修する内科専攻医の研修について責任を持って管理するプログラム管理委員会を東邦大学医学部（東邦大学医療センター大橋病院）に設置し、その委員長と各内科から1名ずつ管理委員を選任する。プログラムの日本専門医機構への申請料の負担、プログラムの公開、専攻医の採用に関する業務（採用試験実施等）、専攻医の最終的採用人数、処遇や身分の決定、各病院単位の出入りの管理を行う。

ii) 研修センター

プログラム管理委員会の下部組織として研修センターを設置する。センター長1名と各内科診療科から1名の研修責任者を配置する。月に1回研修センター会議を行い、専攻医の研修状況の把握、必要提出物の進捗状況の把握、専攻医 研修の評価を行い、研修プログラムが遅滞なくスムーズに進むように、診療科の枠組みを超えた連携を図る。

⑦ 診療経験の環境

内科研修カリキュラムは総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病および類縁疾患、感染症、救急の13領域から構成されている。東邦大学医療センター大橋病院は消化器、循環器、糖尿病・代謝、腎臓、呼吸器、神経、膠原病リウマチの7つの内科系診療科および救急診療部がある。東邦大学医療センター大橋病院に構成されていない総合内科、内分泌、血液、感染症の領域は、他の関連診療科および連携病院においてその研修が可能となる。そのうち内分泌領域は糖尿病・代謝内科で、消化器内科では血液疾患の一つである出血性貧血および腫瘍学を、また呼吸器内科では、アレルギー、感染症、腫瘍学を研修することが可能となる。なお内分泌、血液、感染症の領域については、後述する連携病院によりさらに深く研修が行われるように配

慮されており、内科領域全般の疾患が網羅できる体制が敷かれている。これらの診療科での研修を通じて、専門知識の習得を行う。

⑧ 学術活動の環境

- I) 朝カンファレンス・チーム回診（毎日）：研修領域により異なるが、原則として朝の回診・患者申し送りを行い指導医からフィードバックを受け、指摘された課題について学習・診療を進める。
- II) 診療領域部長回診（週1回）：受持患者について教授をはじめとした診療領域の指導医陣に報告してフィードバックを受ける。受持以外の症例についての見識も深める。
- III) 症例検討会（週1回）：診断・治療困難例，臨床研究症例などについて専攻医が報告し，指導医からのフィードバック，質疑などを行う。
- IV) 診療手技セミナー（適宜）：中心静脈確保、各種検査の診療スキルの実践的なトレーニングを行う。
- V) CPC（月1回）：死亡・剖検例，難病・稀少症例についての病理診断を検討します。
- VI) 関連診療科との合同カンファレンス（適宜）：関連診療科と合同で，患者の治療方針について検討し，内科専門医のプロフェッショナルリズムについても学ぶ。
- VII) 抄読会・研究報告会（1-2週に1回）：受持症例等に関する論文概要を口頭説明し、意見交換を行う。研究報告会では講座で行われている研究について討論を行い，学識を深め，国際性や医師の社会的責任について学ぶ。
- VIII) Weekly summary discussion：週に1回，指導医と行い，当該週の自己学習結果を指導医が評価し，研修手帳に記載する。
- IX) 学生・初期研修医に対する指導：病棟や外来で医学生・初期研修医を指導する。下級医や学生を指導することは，自分の知識を整理・確認することにつながる。

⑨ 指導責任者 前谷 容

⑩ 入院患者 9,681(人/2021年度) 1日平均外来患者 951.5(人/2021年度)

⑪ 経験できる地域医療

地域医療を経験するため，全てのプログラムにおいて連携施設での研修期間を設けている。連携施設では基幹施設で研修不十分となる領域を主として研修する。入院症例だけでなく外来での基本となる能力，知識，スキル，行動も身に付ける。基幹施設，連携施設を問わず患者への診療を通して医療現場から学ぶ姿勢の重要性を知ることができる。

3) 地域医療

① 地域病院

I) 目黒病院（専門研修特別連携施設）

i) 医療法人社団 董会 目黒病院の概要

「理念：地域の皆様に心かよう医療を」

目黒病院は昭和 24 年「董診療所」の開設に始まり、昭和 27 年より「社団法人董十字社」の許可を得て 24 時間体制の救急医療機関として地域医療と福祉に貢献してきました。平成 10 年の医療法人社団董会への組織変更を契機に患者様の立場に立って安らぎの環境を整え、最新の諸設備とスタッフを充実し、地域の皆様のご健康のお役に立てますように一層地域に根差した医療に努めて参りたいと存じます。

ii) 院長：岡 潔（指導責任者）

iii) 住所：東京都目黒区中央町 2-12-6

（東急東横線 学芸大学又は祐天寺駅より徒歩 10 分）

iv) 電話番号：03-3711-5641

v) 病院施設

・病床数：60 床（地下 1 階、地上 3 階、屋上）一般病床 13：1

・新規入院患者数（733 名/平成 25 年 7 月～26 年 6 月）

・救急搬送患者数（478 名/平成 25 年 7 月～26 年 6 月）

・9 診療科：

内科、呼吸器内科、消化器内科、外科、整形外科、心療内科、肛門科、リハビリ科、放射線科

・医療機能：

在宅医療（すみれ訪問看護ステーション、すみれ居宅介護支援事業所）

目黒区短期入院病床確保事業（ショートステイ）

東京都指定二次救急医療機関

目黒区特定健診

リハビリ施設、CT、MRI、内視鏡、超音波装置、

vi) 医師数：常勤医師 6 名、非常勤医師 7 名

常勤医師 6 名：岡潔（内科一般）、徳山昌平（外科一般）、

川田清（外科専門医・総合診療科）、岩崎愛（心身医療専門医）、

上澤孝康（救急科専門医）、岡崇（循環器内科）

非常勤医師 7 名：（整形外科、内科、消化器外科、循環器等）

vii) その他：医療安全管理者（薬剤師）、放射線技師、管理栄養士、理学療法士、医療相談員

II) 日扇会第一病院（専門研修特別連携施設）

i) 医療法人財団 日扇会第一病院の概要

理念：医療は患者さんのために存在する

使命：かかりつけ医として地域医療に貢献します

特徴：在宅療養支援病院としての 24 時間対応訪問診療

地域包括ケア病床を活用した subacute, postacute への対応
と退院支援リハビリテーションへの注力

当院は、昭和 24 年に第一診療所として現地に於て発足、その後、かかりつけ患者さんの入院ニーズに応えるべく、昭和 50 年に日扇会第一病院となりました。当初より「かかりつけ医として、地域医療に貢献すること」を使命としています。医療は患者さんの為存在するという理念の下、内科全般を中心に、地域にお住まいの皆様のかかりつけ医たるべく、当院も時代に合わせてその機能を更新して来ました。

平成元年ごろから当院へ通院できなくなった方のための往診を開始、平成 7 年には訪問看護ステーションを、そして平成 11 年には在宅介護支援センター（ケアマネ事業所）を併設し、在宅ニーズへの対応を図ってきました。

平成 14 年には一部病床を療養病棟に転換、一般病棟と療養病棟からなるいわゆるケアミックス型とし、機能回復の要としてリハビリテーション室をもうけました。当初 1 名より始まったリハビリテーション部も現在では理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）を含めた総勢 30 名を超える陣容となり、院内リハビリに加えて、通所リハビリ、訪問リハビリ、通所介護を担っています。

平成 22 年には制度改訂を受けて「在宅療養支援病院」の認定を取得、24 時間 365 日対応の訪問診療を本格的に開始しています。同時に在宅からの入院ニーズに対応するために現在の地域包括ケア病床の前身である亜急性期病床を設置、月 2 回の日曜診療も開始しました。そして、医療の質を担保すべく、平成 16 年に日本医療機能評価機構の認定に合格して以降、現在までに 3 回更新認定を受けています。

以上のような変遷を経て、現在では外来と訪問診療を中心としたかかりつけ医としての役割を果たすと共に、それを支える病棟機能の強化を目指して地域包括ケア病床の増床を準備中です。外来・訪問・入院と三位一体となってかかりつけ患者さんを支える体制を目指しているところが当院の最大の特徴と考えています。

ii) 理事長：八辻 行信（指導責任者）、院長：八辻 賢

iii) 住所：東京都目黒区中根 2-1 0-2 0
（東急東横線「都立大学駅」徒歩 5 分）

iv) 電話：03-3718-7281

v) 病院施設

① 病床数：70 床（地上 5 階）

一般病床 10：1（23 床）、地域包括ケア病床（7 床）

医療療養病床（16 床）⇒地域包括ケア病床へ転換予定

介護療養病床（24床）

② 7診療科：

一般内科、消化器肝臓内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、
神経内科、リハビリテーション科

③ 医療機能：

デイサービス「リハビリ工房八雲」、リハビリ施設、CT、内視鏡

④ 医師数：常勤医師5名、非常勤医師7名

常勤医師5名

八辻 行信（在宅医療）、八辻 賢（消化器内科）、
八辻 寛美（消化器内科） 朴 理絵（循環器内科）、
櫻町 麗（呼吸器科）

非常勤医師7名

（神経内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、皮膚科）

⑤ その他

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、助手、医療相談員

② 在宅医療診療所

I) えびす英クリニックの概要（専門研修特別連携施設）

i) 院長：松尾 英男

ii) 住所：東京都渋谷区恵比寿 2-17-2 プリマベアラ 102

iii) 施設：在宅療養支援診療所（在宅専門施設）、非常勤医師数5名

II) 檜林神経内科クリニックの概要（専門研修特別施設）

i) 院長：檜林 洋介

ii) 住所：東京都目黒区中目黒 5-12-10

iii) 施設：一般内科、神経内科、在宅診療

III) ホームアレークリニック城南の概要（専門研修特別施設）

i) 理事長兼院長：梅里 尚行

ii) 住所：東京都目黒区緑が丘 3-1-7 セトル緑が丘 1階

iii) 施設：在宅診療、ソフィア訪問看護ステーション

③ 専門研修特別連携施設認定基準

I) 初期医療研修における地域医療研修施設である。

II) 研修に必要なインターネット環境がある。

III) 非常勤医師としての労務環境が保障されている。

IV) メンタルストレスに対処する事務担当者がある。

V) ハラスメント委員会・担当者（職員暴言・暴力担当窓口）がある。

VI) 女性専攻医が安心して勤務できるように休憩室、更衣室、当直室などが整備されている。

- VII) 内科専攻医研修委員会（院長、施設指導医、事務部長、看護師長等）を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理型基幹施設に設置されているプログラム管理委員会と連携を図る。
- VIII) 基幹施設で開催される医療倫理、医療安全、感染対策講習会に専攻医の受講を義務付け時間的余裕を与える。
- IX) 基幹施設で開催される研修施設群合同カンファレンスに専攻医に受講を義務付け時間的余裕を与える。また、研修施設内で指導に当たる指導医も受講することとする。
- X) 基幹施設で開催されている地域参加型カンファレンスの受講を義務付けそのための時間的余裕を与える。
- XI) 基幹施設に週に一回専攻医を帰院させ、基幹施設の指導医と面談し研修の報告を行い指導を受ける。
- XII) カリキュラムに示された内科領域 13 分野にとらわれず、在宅診療など地域に密着した疾患、医療と介護の一体化した関係、患者・家族を中心とした地域包括ケアに関する各専門職領域の人々との関係を築き、理解を深め、地域医療のリーダーとしての役割を果たせる内科専門医としての素養を身に着けることを目的とする。

7 専攻医の処遇

- 1) 定 員：1 年次 2 名、2 年次 2 名、3 年次 2 名
- 2) 選考方法：面接試験
- 3) 常勤・非常勤の別：常勤
- 4) 研修手当：厚生中央病院給与規定による。各種手当あり
- 5) 勤務時間：9 時 00 分から 17 時 00 分、月に 80 時間を超える時間外労働は禁止し産業医の面接を必要とする。
- 6) 休 暇：有給休暇 1 年次 11 日、2 年次以後 20 日、夏季休暇、年末年始休暇有
- 7) 当 直：回数 約 4 回/月以内
- 8) 宿舎、病院内個室：有
- 9) 社会保険・労働保険：公的医療保険（国民医療保険）、公的年金保険（厚生年金保険）、労働者災害補償保険法の適応 有、雇用保険の適応 有、
- 10) 健康管理：健康診断年一回、メンタルチェック年一回
- 11) 医師賠償責任保険：個人にて加入
- 12) 外部への研修活動：学会・研修会への出席 可、参加費用の支給 条件付き有、研究日 有
- 13) 週間スケジュール：外来診療（週に 1 回程度）、入院診療（勤務時間内）、検査業務（週に 1 回程度）、救急業務（週に 1 回程度）、健診業務（週に 1 回程度）、各カンファレンス（定時）

14) その他：女性短時間正職員制度 有

15) 研修修了後の勤務：厚生中央病院での内科系 Subspecialty 専門医取得可能領域は日本老年医学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本神経学会専門医、日本血液学会専門医、日本呼吸器学会専門医、日本循環器学会専門医である。引き続き Subspecialty 領域の専門医を目指すことは可能。

8 厚生中央病院 専門研修指導医（総合内科専門医）6名

指導医1名は同時に3名までの専攻医を指導できる。

（内科以外の専攻医を指導する場合は、この数に含めない）

- ・プログラム総括責任者：五関 善成（日本循環器学会専門医、医学博士）
- ・プログラム管理者：根本夕夏子（日本消化器病学会専門医、医学博士）
- ・研修委員会委員長：小野 啓資（日本呼吸器学会指導医、医学博士）
- ・研修委員会委員：加藤 浩太（日本循環器病学会専門医）
- ・研修委員会委員：青田 泰雄（日本血液学会指導医）
- ・研修委員会委員：中村 文彦（日本消化器病学会専門医）

9 指導医に対する指導ガイド

1) 期待される指導医の役割

内科指導医は内科専門医の診療能力に加え、次記の教育者・指導医・研究者の能力を有する内科医である。

① 卒前教育、研修の担い手としての一般内科の指導医。

Subspecialty 的視野でなく全人的・臓器横断的視野から診断・治療についての教育が可能であり、その研修の管理と評価が出来る内科医である。

② 地域における内科系診療ネットワークのリーダー、生涯教育の担い手。

内科指導医は地域の診療所、一般病院、基幹病院、大学病院を連携する内科系診療ネットワークの中で一般・総合内科に関する知識・技術・人間性・経験・指導能力を高度に備えた指導的医師であり、また、地域における内科系の生涯教育の中心となる指導的医師でもある。

③ 臨床医学の横断的領域として内科学を総合的にとらえる研究者。

臨床診断学、臨床判断法、臨床疫学、臨床薬理学、医療倫理学、医療経済学、医療社会学などの内科における横断的・総合的領域の研究・教育能力を有する専門的・研究者である。

2) 専門研修指導医の基準（必須要件）

- ① 内科専門医の取得。
- ② 専門医取得後に臨床研究論文（症例報告含）の筆頭発表者または学位取得。

- ③ 厚労省もしくは学会主催の指導医講習会の修了。
 - ④ 内科医師として十分な診療経験、
- 3) 専門研修指導員の基準（選択要件）
- ① CPC、CC、学術集会（医師会含む）などへの主導的立場として関与・参加すること。
 - ② 日本内科学会での教育活動（病歴要約の査読、JMFC Cインストラクター等）に関与・参加すること。
これら「必須要件」と「選択とされる要件」を満たしたあとに全国各プログラム管理委員会から指導員としての推薦を受ける必要がある。この推薦を踏まえてe-testを受け合格したものを新内科指導員として認定する。
※ すでに「総合内科専門医」を取得している人は申請時に指導実績や診療実績が十分にあれば内科指導員へ移行する。
- 4) 年次評価目標と評価方法、フィードバックの方法と時期
各専攻医の研修プログラム表（ページ0）に記載されている各年次の研修目標を指導員は日本内科学会専攻医登録評価システムを用いて確認・達成させ、フィードバックの後にシステム上で承認する。この作業は日常臨床業務での経験に応じて順次行う。
- 5) 症例経験に対する評価方法と評価基準
日本内科学会専攻医登録評価システムを用いて、専攻医が登録した症例経験と病歴要約を評価、指導し承認を行う。
到達レベルについては下記の研修カリキュラムの基準に基づき評価する。
- ① 知識に関する到達レベル
 - I)：病態の理解と合わせて十分に深く知っている。
 - II)：概念を理解し、意味を説明できる。
 - ② 技術・技能に関する到達レベル
 - I)：複数回の経験を経て、安全に実施できる、または判定できる。
 - II)：経験は少数例だが、指導者の立会いのもとで安全に実施できる、または判定できる。
 - III)：経験はないが、自己学習で内容と判断根拠を理解できる。
 - ③ 症例に関する到達レベル
 - I)：主治医（主たる担当医）として自ら経験した。
 - II)：間接的に経験している（実症例をチームとして経験した、または症例検討会を通じて経験した）
 - III)：レクチャー、セミナー、学会が公認するセルフスタディーやコンピューターシミュレーションで学習した。
 - ④ 指導員の指導状況の把握
担当指導員、研修委員会、プログラム管理委員会、および日本専門医機構内科領域研修委員会は日本内科学会専攻医登録評価システムを用いて担当医が専攻医の研修にどの程度関与しているかモニターされている。

- ⑤ 指導に難渋する専攻医の扱い
指導に難渋する専攻医については研修委員会、必要によってはプログラム管理委員会を開催し対応を図る。さらに解決困難な場合には日本専門医機構内科領域研修委員会と相談する。
- ⑥ 指導医の学習
年に1回は厚生労働省や日本内科学会の指導医講習会を受講する。また、指導に日本内科学会作成の「指導医の手引き」等を活用する。
- ⑦ 指導医の待遇
指導医手当等を検討中

10 内科専門研修の目標

様々な環境の必要性に応じた可塑性のある幅広い内科専門医を目指す。

- 1) 地域医療における内科領域の診療医（かかりつけ医）としての使命と役割を実践できる。
- 2) トリアージを含め地域での内科系救急医療を実践できる。
- 3) 病院での内科系全領域の幅広い診療能力を備えた総合内科医療を実践する。
- 4) 総合内科的視点を持って内科系 Subspecialist として診療を実践できる。

11 専門知識と専門技術の到達目標（習得すべき知識、技能、態度など）

1) 専門知識（「研修カリキュラム項目表」を参照）

専門知識の分野は「総合内科」「消化器」「循環器」「内分泌」「代謝」「腎臓」「呼吸器」「血液」「神経」「アレルギー」「膠原病および類縁疾患」「感染症」ならびに「救急」で構成され。これらの分野に「解剖と機能」「病態生理」「身体診察」「専門的検査」「治療法」「疾患」などの目標（到達レベル）を記載している。内科領域を70疾患群（経験すべき病態を含む）に分類し、それぞれに提示されているいずれかの疾患を順次経験していく。代表的なものについては病歴要約や症例報告として記載する。自ら経験できなかった症例についてもカンファランスや自己学習によって知識を補足する。

① 専門研修1年

カリキュラムに定める70疾患群のうち20疾患群以上を経験し日本内科学会専攻医登録評価システムの研修ログに登録する。指導医はこれを確認し、専攻医として適切な経験と知識の習得が出来ていると確認できれば承認し、不十分と判断した時にはフィードバックと再指導を行う。また、専門研修修了に必要な病歴要約を10編以上記載して日本内科学会専攻医登録評価システム（以後、登録評価システム）に登録する。

② 専門研修2年

カリキュラムに定める 70 疾患群のうち、少なくとも通算で 45 疾患群以上を経験し登録評価システムに登録する。

70 疾患群の内訳と到達目標は・・・

総合内科Ⅰ（1 疾患群のうち 1 疾患群以上）、総合内科Ⅱ（1 疾患群のうち 1 疾患群以上）、総合内科Ⅲ（1 疾患群のうち 1 疾患群以上）、消化器（9 疾患群のうち 5 疾患群以上）、循環器（10 疾患群のうち 5 疾患群以上）、内分泌（4 疾患群のうち 2 疾患群以上）、代謝（5 疾患群のうち 3 疾患群以上）、腎臓（7 疾患群のうち 4 疾患群以上）、呼吸器（8 疾患群のうち 4 疾患群以上）、血液（3 疾患群のうち 2 疾患群以上）、神経（9 疾患群のうち 5 疾患群以上）、アレルギー（2 疾患群のうち 1 疾患群以上）、膠原病（2 疾患群のうち 1 疾患群以上）、感染症（4 疾患群のうち 2 疾患群以上）、救急（4 疾患群のうち 4 疾患群以上）

・・・計 45 疾患群以上の経験を到達基準とする。

- * 外来症例についてはプロブレムリストの上位に位置して対応が必要な場合（単なる投薬のみなどは認めない）に限り登録が可能。
- * 入院症例の経験病名は D P C における主病名、退院時サマリー主病名、入院時診断名、外来症例でマネジメントに苦慮した症例病名などによる。

指導医は研修ロゴの登録内容を確認し、専攻医として適切な経験と知識の習得が出来ていると確認できれば承認し、不十分と判断した時にはフィードバックと再指導を行う。また、専門研修修了に必要な病歴要約を 29 編すべて記載して登録評価システムへの登録を修了する。

③ 専門研修 3 年

主担当医としてカリキュラムに定める全 70 疾患群を経験し計 200 症例（外来症例は 20 症例まで）以上を経験することを目標とする。修了認定には主担当医として通算で最低 56 疾患群以上の経験と計 160 症例以上（外来症例は 1 割まで）を経験し登録しなければならない。指導医は専攻医として適切な経験と知識の習得が出来ていると確認できれば承認し、不十分と判断した時にはフィードバックと再指導を行う。また、既に専門研修 2 年次までに登録を終えた病歴要約は日本内科学会病歴要約評価ボード（以下、病歴要約評価ボード）による査読を受け、受理されるまで改定を重ねる。この過程は論文のピアレビューの過程と同様に行う。専門研修修了には、すべての病歴要約 29 編の受理と 70 疾患群中の 56 疾患群以上で計 160 症例以上の経験の全てを必要とする。

2) 専門技能（「技術・技能評価手帳」を参照）

「技術」という言葉は手技的な事を連想させるが、内科医の技術とは手技的なもの以上に「診断」と言う「技能」が高度な専門性として求められている。それ以外にも医療面接、身体診察、専門的検査、治療方針、他の医師へのコンサルト、患者・家族への説明など多岐に渡って高い「技術・技能」が求められる。この「技術・技能」は同じ内科医の指導医が評価できるものである。

内科領域の診療技能の到達目標

専門研修 1 年：研修中の疾患群について、診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を指導医と共に行うことが出来る。

専門研修 2 年：上記について、指導医の監督下で行うことが出来る。

専門研修 3 年：内科領域全般について、診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を自立して行うことが出来る。

内科専門医に求められる技術・技能は「研修カリキュラム項目表」および「技術・技能評価手帳」記載されている。少なくとも技能・技術に関する到達レベル A（複数回の経験を経て安全に実施できる、また判定できる）の修得は症例経験の中で達成されるべきである。

3) 学問的姿勢

- ① 患者から学ぶという姿勢を基本とし、
- ② 科学的な根拠に基づいた診断、治療を行い
(EBM: evidence based medicine)
- ③ 最新の知識、技能を常にアップデートする (生涯学習)
- ④ 診断や治療の evidence の構築、病態の理解につながる研究を行い
- ⑤ 症例報告を通じて深い洞察力を磨く、と言った基本的な学問的姿勢を涵養する。

4) 医師としての倫理性、社会性

内科専門医として高い倫理性や社会性が要求される。具体的には・・・

- ① 患者とのコミュニケーション能力
- ② 患者中心の医療の実践
- ③ 患者から学ぶ姿勢
- ④ 自己省察の姿勢
- ⑤ 医の倫理への配慮
- ⑥ 医療安全への配慮
- ⑦ プロフェッショナリズム、
- ⑧ 地域医療保険活動への参画、
- ⑨ 多職種を含めた関係者とのコミュニケーション能力、
- ⑩ 後輩医師への指導などが必要とされる。

12 症例の経験目標

(種類、内容、経験数、要求レベル、学習法および評価法など)

1) 経験すべき疾患・病態

主担当医として受け持つ経験症例は専門研修を修了するまでに 200 症例以上とする。内科全分野を 70 疾患群に分類して、これらの疾患群の中から 1 症例以上受け持つことを目標にする。評価については登録評価システムを通じて指導医が確認と承認

を行う。初期研修医中に経験した症例のうち主担当医として適切な医療を行い、専攻医のレベルと同等以上の考察を行っている」と指導医が確認できる場合に限り、最低限の範囲で登録を認める。これも同様に指導医が確認と承認を行う。

2) 経験すべき診療・検査、手術・処置など

内科領域の全ての専門医に求められる手技（到達レベルA）について、技術・技能評価手帳に示してある。安全に実施または判定出来ることが求められている。

これらは専攻医が経験するたびに登録評価システムに登録を行い、指導医が承認を行うことによってその到達度を評価する。蘇生手技についてはJMECC受講によって修得する。

3) 地域医療の経験（病診・医療連携、地域包括ケア、在宅医療など）

地域中核病院以外の、地域により密接した第一線の病院や、在宅医療を中心に行っている診療所などの研修経験は地域医療を知るうえで非常に重要である。このような医療機関の役割を経験し内科専門医に求められる役割を実践する。

4) 学術活動

内科専攻医に求められる姿勢は単に症例を経験することだけではなく自ら深めていく姿勢である。このため、症例の経験を深めるための学術活動や教育活動は必須である。

① 教育活動

I) 初期研修医や医学部学生の指導を行う。

II) 後輩専攻医の指導を行う。

III) メディカスタッフを尊重し指導を行う。

② 学会活動

I) 内科系の学術集会や企画に年2回以上参加する（必須）。

（推薦—日本内科学会本部または支部主催の生涯教育講演会、年次講演会、CPCおよび内科系 Subspecialty 学会の学術講演会・講習会）

II) 経験症例についての文献検索を行い症例報告を行う。

III) クリニカルクエスチョンを見出して臨床研究を行う。

IV) 内科学に通じる基礎研究を行う。

* 「上記のうちI)～III)は筆頭演者または筆頭著者として学会あるいは論文発表を2件以上すること」

13 専門研修の方法

1) 臨床現場での学習

① 各種カンファランスを通じて多面的な見方や最新の情報を得る。また、プレゼンターとして情報検索およびコミュニケーション能力を高める。

② 初診を含む外来の担当医としての経験を積む。

③ 内科領域の救急診療の経験を、外来あるいは当直で積む。

2) 臨床現場を離れた学習（各専門医制度において学ぶべき事項）

- ① 内科領域の救急対応
- ② 最新のエビデンスや病態理解・治療法の理解
- ③ 標準的な医療安全や感染対策に関する事項
- ④ 医療倫理、医療安全、感染防護、臨床研究や利益相反に関する事項
- ⑤ 専攻医の指導・評価方法に関する事項

これらについては抄読会、内科系学術集会、指導医講習会、JMECC（内科救急講習会）等にて学習する。

医療倫理・医療安全・感染防護に関する講習は日本専門医機構が定める専門医共通講習と同等の内容の受講が求められ、これを年に2回以上受講する。

3) 自己学習（学習すべき内容を明確にし学習方法を提示）

- ① 知識に関する到達レベル
 - I) (病態の理解と合わせて十分に深く知っている)
 - II) (概念を理解し意味を説明できる)
- ② 技術・技能に関する到達レベル
 - I) (複数回の経験を経て安全に実施できる、または判定できる)
 - II) (経験は少数例だが指導者の立会いのもとで安全に実施できる、または判定できる)
 - III) (経験はないが自己学習で内容と判断根拠を理解できる)
- ③ 症例に関する到達レベル
 - I) (主担当医として自ら担当した)
 - II) (間接的に経験している(チームとして経験、症例検討会を通して経験))
 - III) (学会等が公認するセルフスタデーやコンピューターシュミレーションで学習した)

自身の経験がなくとも自己学習すべき項目については日本内科学会雑誌や日本内科学会が行っているセルフトレーニング問題を活用し学習する。

14 専門研修中の年度ごとの知識・技能・態度の修練プロセス（最終頁 別表参照）

1) 専門研修1年

症 例:カリキュラムに定める70疾患群のうち20疾患群以上を経験し登録評価システムに登録する。以下、全ての専攻医の登録状況については指導医の評価と承認が行われる。

病歴要約:病歴要約を10編以上記載して登録評価システムに登録する。

技 能:診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を指導医の監督下で行う事が出来る。

態 度:専攻医自身の自己評価、指導医とメディカルスタッフによる360度評価を複数回行って態度の評価を行いフィードバックする。

2) 専門研修 2 年

症 例：カリキュラムに定める 70 疾患群のうち通算で 45 疾患群以上を経験し登録評価システムに登録する。

病歴要約：専門研修修了に必要な病歴要約をすべて記載して登録評価システムへの登録を修了する。

技 能：診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を指導医の監督下で行う事が出来る。

態 度：専攻医自身の自己評価、指導医とメディカルスタッフによる 360 度評価を複数回行って態度の評価を行いフィードバックする。専門研修 1 年次に行った評価についての省察と改善とが図られたか否かを指導医がフィードバックする。

3) 専門研修 3 年

症 例：カリキュラムに定める全 70 疾患群を経験し、200 症例以上経験することを目標にする。修了認定には主担当医として通算で最低 56 疾患群以上の経験と計 160 症例以上（外来症例は 1 割まで含むことが出来る）を経験し登録評価システムに登録しなければならない。専攻医として適切な経験と知識の習得が出来ることを指導医が確認する。

病歴要約：既に専門研修 2 年次までに登録を終えた病歴要約は病歴要約評価ボードによる査読を受ける。査読者の評価を受け形成的により良いものへ改訂を促す。改訂に値しない内容の場合はその年度の受理を一切認めないこともある。

技 能：診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を自立して行う事が出来る。

態 度：専攻医自身の自己評価、指導医とメディカルスタッフによる 360 度評価を複数回し、態度の評価を行う。専門研修 2 年次に行った評価についての省察と改善が図られたか否かを指導医がフィードバックする。また、基本領域専門医として相応しい態度、プロフェッショナリズム、自己学習能力を習得しているか否かを指導医が専攻医と面談し更なる改善を図る。

15 専門研修の評価（日本内科学会専攻医登録評価システム）

1) フィードバックの方法とシステム

- ① 専攻医は web にて日本内科学会専攻医登録評価システム（以下、登録評価システム）にその研修内容を登録し、指導医はその履修状況の確認をシステム上で行ってフィードバックの後にシステム上で承認をする。この作業は日常臨床業務での経験に応じて順次行う。
- ② 年に複数回、自己評価、指導医による評価、ならびにメディカルスタッフによる 360 度評価を行う。その結果は登録評価システムを通じて集計され、指導医によ

て専攻医にフィードバックを行って改善を促す。

- ③ 専門研修 2 年修了までに 29 症例の病歴要約を順次作成し登録評価システムに登録する。ピアレビュー方式の形成的評価を行い、専門研修 3 年次修了までにすべての病歴要約が受理されるように改訂する。
- ④ 施設の研修委員会は年に複数回、プログラム管理委員会は年に 1 回以上、登録評価システムを用いて履修状況を確認して適切な助言を行う。必要に応じて専攻医の研修中プログラムの修正を行う。

2) 指導医のフィードバック法の学習

指導法の標準化のため内科指導医マニュアル・手引きにより学習する。また、厚生労働省や日本内科学会の指導医講習会の受講が望ましい。

16 総括的評価

評価項目・基準と時期

- 1) 各年次の研修進行状況を管理し、遅れがある場合には指導医と専攻医が面談の後に施設の研修委員会とプログラム管理委員会とで検討する。
- 2) 内科領域のスペシャルティ領域をローテト研修する場合には、当該領域で直接指導する指導医がその研修修了時に登録評価システムを用いて評価を行う。

17 評価の責任者

内科領域のローテーションでは担当指導医が評価し基幹施設あるいは連携施設の研修委員会で検討する。その結果を年次毎にプログラム管理委員会で検討するし総括責任者が承認する。

18 修了判定のプロセス

- 1) 修了認定には主担当医として通算で最低 56 疾患群（70 疾患群以上目標）以上の経験と計 160 症例（200 症例以上目標）以上の症例（外来症例は登録症例の 1 割まで含むことが出来る）を経験し登録しなければならない。
- 2) 29 病歴要約の査読後の受理
- 3) 登録評価システムを用いてメディカルスタッフによる 360 度評価と指導医による内科専攻医評価を参照し医師としての適性判定を行う。
- 4) 上記を確認後、プログラム管理委員会で合議のうえ統括責任者が最終判定を行う。

19 専門知識の習得計画

内科領域 13 分野のうち日本消化器病学会、日本循環器学会、日本呼吸器学、日本血液学会、日本神経学会、日本老年医学会の 6 分野で専門研修施設として学会認定され

ている。日本臨床腫瘍学会や日本プライマリ・ケア連合学会の認定研修施設でもある。また、日本肝臓学会専門医 1 名、がん治療認定医 5 名が常勤専門医として指導に当たっている。さらに、東京医科大学病院、東邦大学医療センター大橋病院、および昭和大学病院等からの非常勤で腎臓内科専門医 1 名、リウマチ膠原病専門医 2 名、糖尿病専門医 3 名が診療に当たっている。以上から内科領域 13 分野のうち 7 分野については定期的に専門研修が可能であり、70 疾患群のうち基幹施設として必要な 35 以上の疾患群についての研修は可能である。

腎臓領域、膠原病・アレルギー領域、救命救急領域は東京医科大学病院を専門研修連携施設として、また、代謝・内分泌領域、消化器病領域（特に膵臓、肝臓等）は東邦大学医療センター大橋病院を専門研修連携施設として専門研修が出来るようになっている。

当院の内科系は総合内科と循環器内科、消化器内科、総合診療科に大別され、消化器内科は消化器外科と共に消化器病センターを形成している。当院の特徴は神経内科、血液内科、呼吸器内科、老年病、その他各専門医は総合内科として、一人の患者さんを各専門医が協力しながら診療に当たる体制を採っている。

当院は地域中核の基幹病院として高齢化社会に適応した急性期病院を目指している。

高齢者は一人で多くの疾患を抱えていることから、各領域の専門医であるも、一般的な疾患については協力しながらも診療が出来なければならない。

我々のような地域中核病院は高度急性期病院と地域との橋渡しの機能を持ち、地域の在宅医療を支え、地域包括ケアの中心的役割を果たすものである。在宅医療を支えるのは地域中核病院の大切な役割であることから、当院の専攻医は在宅診療を経験し、様々な疾患に対しての初期診療が出来なければならない。そのため、この地域の第一線で活躍している目黒病院や在宅診療を中心に行っている診療所での研修経験は必須であり、当院は地域を支える内科専門医を育成することを目指している。専攻医は

当院の総合内科、循環器内科、消化器病センター、総合診療科等で研修し、さらに東京医科大学病院や東邦大学医療センター大橋病院で高度医療や、当院で不足とされる症例を経験する。また地域に密着した目黒病院、日扇会第一病院や在宅診療をえびす英クリニック、榎林神経内科クリニック、ホームアレークリニック城南などで経験し、3 年間の研修で幅広く柔軟性に富んだ地域で活躍できる内科専門医を養成するものである。

20 専攻医の年間プログラム表

- 1) 1 年次修了までに当院で開催される J M E C C を受講する。
(当院での開催が困難なときは関連施設にて受講する)
- 2) 1 年次修了までに定められた 70 疾患群のうち 20 疾患群以上を経験し登録する。
必要な病歴要約 29 編のうち 10 編以上を登録する。登録後に指導医の確認を得る。
- 3) 2 年次修了までに 70 疾患群のうち通算 45 疾患群以上を経験し登録する。必要な

- 29症例の病歴要約をすべて登録する。登録されたものに対して指導医の確認を得る。
- 4) 3年次の研修修了までに登録されているすべての病歴要約29編を病歴要約評価ボードにて査読を受け受理されていなければならない。最低でも70疾患群のうち56疾患群以上の計160症例以上（外来症例は1割以内）を経験し登録し指導医の確認を得てなければならない。70疾患群を経験し200症例以上の登録が目標である。
 - 5) 専攻医は年に最低2回（9月と3月）の自己評価、指導医とメディカルスタッフによる360度評価を受け、指導医との面接から医師として相応しい態度についての省察と改善を図る。
 - 6) 専攻医は研修修了までに日本内科学会本部または支部主催の学会などで学会発表あるいは論文発表を筆頭者名で2編以上行わなければならない。
（病院として年間3編の内科学会地方会発表は必須である）
 - 7) 専攻医は日本専門医機構が定める専門医共通講習の医療倫理・医療安全・感染防護等に関する講習を年に2回以上受講しなければならない。
 - 8) 専攻医は内科系の学術集会や企画に年2回以上参加しなければならない。
（推薦—日本内科学会本部または支部主催の生涯教育講演会、年次講演会、CPCおよび内科系 Subspecialty 学会の学術講演会・講習会）
 - 9) 専攻医は研修中に1件の病理解剖を経験しなければならない。
（病院として年間3件以上の病理解剖は必須である）
 - 10) 専攻医は毎月行われている病院主催の院内研修会には参加すること。特に定期時開催の医療倫理、医療安全、感染対策、保険制度の研修会には必ず参加すること。
 - 11) 専攻医は当院医局主催の毎月行われている医局カンファレンスおよびCPCに参加すること。また、日本内科学会が企画するCPCには年に1回以上参加しなければならない。
 - 12) 専攻医は病院主催で毎月行われている地域参加型カンファレンス（地域連携セミナー）には参加すること。
 - 13) 専攻医は総合内科カンファレンス（金曜日 PM4時）、循環器内科カンファレンス（金曜日 PM3時）、消化器内科カンファレンス（月曜日 PM3時）、外科内科合同カンファレンス（木曜日 AM8時）に参加すること。
 - 14) 専攻医は初期研修医と同じく、毎年5月に病院指定の臨床心理学士の面接を受けなければならない。必要時にも指導医と相談し臨床心理学士と面接を受けること。
 - 15) 専攻医は厚生中央病院以外の施設で研修を受けている場合には、週に1回は当院の指導医に研修報告を行い適切な指導と助言を受けること。

研修プログラム表（内科標準タイプ）

内科専攻医コース（案）

専攻医A

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	厚生中央病院 総合内科（神経内科、呼吸器内科、血液内科、腫瘍内科、老年病医学、救急医学）												
	1年目にJMCを受講する。												
	1年次修了まで定められた70疾患のうち20疾患群以上を経験し登録。病歴要約を10編以上を登録する。指導医が確認する。												
2年次	地域医療		厚生中央病院 循環器内科			東京医大（腎臓内科、膠原病内科、救命救急 各2か月間）							
	70疾患群のうち通常15疾患群以上を経験し登録。必要な29症例の病歴要約をすべて登録する。												
3年次	厚生中央病院消化器内科			東邦大学医療センター大橋病院 （消化器内科3か月間、糖尿病内科2か月間）					厚生中央病院 選択診療科				
	70疾患群を経験し200例以上を日課登録。												
	（研修終了にはすべての病歴要約約29編の受理と70疾患群中の56疾患群以上計160症例以上の経験の全てが必要）												
学術活動	内科学会総会/地方会に年2回以上必須参加。2件以上の筆頭者での学会発表または論文発表												
その他	医療倫理、医療安全、感染防衛、CPC等の講習会への参加。症理解剖は1件/専攻医1名/年必要												

内科専攻医コース（案）

専攻医B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	厚生中央病院 総合内科（神経内科、呼吸器内科、血液内科、腫瘍内科、老年病医学、救急医学）											
	1年目にJMCを受講する。											
	1年次修了まで定められた70疾患のうち20疾患群以上を経験し登録。病歴要約を10編以上を登録する。指導医が確認する。											
2年次	東京医大（腎臓内科、膠原病内科、救命救急 各2か月間）					地域医療			厚生中央病院 循環器内科			
	70疾患群のうち通常15疾患群以上を経験し登録。必要な29症例の病歴要約をすべて登録する。											
3年次	東邦大学医療センター大橋病院 （消化器内科3か月間、糖尿病内科2か月間）					厚生中央病院消化器内科					厚生中央病院 選択診療科	
	70疾患群を経験し200例以上を日課登録。											
	（研修終了にはすべての病歴要約約29編の受理と70疾患群中の56疾患群以上計160症例以上の経験の全てが必要）											
学術活動	内科学会総会/地方会に年2回以上必須参加。2件以上の筆頭者での学会発表または論文発表											
その他	医療倫理、医療安全、感染防衛、CPC等の講習会への参加。症理解剖は1件/専攻医1名/年必要											

- 1 地域医療研修は地域病院（日黒病院、日爾会第一病院）か在宅医療診療所（えびす英クリニック、楢林神経内科クリニック、ホームアレーククリニック城南）からの一施設を選択とする。
- 2 選択診療科は厚生中央病院の各診療科の中から選択する。
- 3 当院でのローテーションについては、研修医の希望により各診療科での実習期間を若干変更・調整することがある。
- 4 東京医大、東邦大学大橋病院での研修についても、各医療機関における研修診療科とその期間については、研修医と各医療機関との調整の上、若干の変更・調整をおこなうことがある。

研修プログラム表（サブスペシャリティ重点タイプ）

内科専門研修並行老年病専門研修コース （サブスペシャリティ重点研修コース2年型）

老年病専門研修コース

専攻医A

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	厚生中央病院 総合内科 (神経内科、呼吸器内科、血液内科、腫瘍内科、老年病医学、救急医学) (12か月)											
	1年目にJMC Cを受講する。											
	各年次において老年病専門研修プログラムの症例と一致するものについては、これを記録し経験症例とする。											
2年次	東京医科大学病院 腎臓内科、膠原病内科、救命救急 各2か月間 (6か月)						地域医療 (3か月)			厚生中央病院 循環器内科 (3か月)		
	2年次終了までに内科専門医取得に必要な70疾患群中の160症例以上の経験終了を目指す。病歴要約29編の作成を目指す。											
3年次	東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科3か月間、泌尿病内科2か月間 (5か月)				厚生中央病院 消化器内科 (4か月)				老年病重点研修期間 (地域医療 3か月)			
	各年次において老年病専門研修プログラムの症例と一致するものについては、これを記録し経験症例とする。											
	(内科専門医研修終了にはすべての病歴要約約29編の受理と70疾患群中の計160症例以上の経験の全てが絶対条件である。)											
学術活動	内科学会総会/地方会に年2回以上必須参加。2件以上の筆頭者での学会発表または論文発表											
その他	医療倫理、医療安全、感染防御、CPC等の講習会への参加。病理解剖は1件/専攻医1名/年必要											

老年病重点研修期間												
4年次 老年病 研修	厚生中央病院 地域包括ケア病棟 (4か月)				東京医科大学病院 高齢診療科 (6か月)				高齢者施設 (1か月)		総合内科 (1か月)	
	日本老年医学会の学術集會に出席すること。日本老年医学会へ1件以上の学会発表または論文発表を行う。											

サブスペシャリティ重点研修コース

専攻医B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	厚生中央病院 総合内科 (神経内科、呼吸器内科、血液内科、腫瘍内科、老年病医学、救急医学) (12か月)											
	1年目にJMC Cを受講する。											
	各年次において老年病専門研修プログラムの症例と一致するものについては、これを記録し経験症例とする。											
2年次	厚生中央病院 循環器内科 (3か月)			厚生中央病院 消化器内科 (4か月)				東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科3か月間、糖尿病内科2か月間 (5か月)				
	2年次終了までに内科専門医取得に必要な70疾患群中の160症例以上の経験終了を目指す。病歴要約29編の作成を目指す。											
3年次	東京医科大学病院 腎臓内科、膠原病内科、救命救急 各2か月間 (6か月)						厚生中央病院 総合内科 (3か月)			老年病重点研修期間 地域包括ケア病棟 (3か月)		
	各年次において老年病専門研修プログラムの症例と一致するものについては、これを記録し経験症例とする。											
	(内科専門医研修終了にはすべての病歴要約約29編の受理と70疾患群中の計160症例以上の経験の全てが絶対条件である。)											
学術活動	内科学会総会/地方会に年2回以上必須参加。2件以上の筆頭者での学会発表または論文発表											
その他	医療倫理、医療安全、感染防御、CPC等の講習会への参加。病理解剖は1件/専攻医1名/年必要											

老年病重点研修期間												
4年次 老年病 研修	地域包括ケア病棟 (1か月)	高齢者施設 (1か月)	地域医療 (3か月)				東京医科大学病院 高齢診療科 (6か月)				総合内科 (1か月)	
	日本老年医学会の学術集會に出席すること。日本老年医学会へ1件以上の学会発表または論文発表を行う。											

- 1 地域医療研修は地域病院（日黒病院、日扇会第一病院）か在宅医療診療所（えびす英クリニック、橋本神経内科クリニック、ホームアレークリニック城南）からの一施設を選択とする。
- 2 内科初期研修の症例を以下の条件を満たすものに限りに、研修医扱いと認める。
 - 1) 日本内科学会指導医が直接指導した症例
 - 2) 主たる担当医師としての症例
 - 3) 直接指導を行った日本内科学会指導医が内科領域
 - 4) 日本領域の専門研修プログラムの統括責任者の承認が得られること
 - 5) 日本領域の専門研修で必要とされる終了要件160症例のうち1/2に相当する80症例を上限とすること。
病歴要約への適用も、1/2に相当する14症例を上限すること
- 3 当院でのローテーションについては、研修医の希望により各診療科での実習期間を若干変更・調整することがある。
- 4 東京医大、東邦大学大橋病院での研修についても、各医療機関における研修診療科とその期間については、研修医と各医療機関との調整の上、若干の変更・調整をおこなうことがある

21 研修プログラム管理委員会

プログラムと当該プログラムに属するすべての内科専攻医の研修を責任をもって管理するプログラム管理委員会を設置し、プログラムの管理および修了判定、その他必要な事項を決定する。プログラム管理委員会にプログラム総括責任者を置く。プログラム総括責任者はプログラムの適切な運営・進化の責任を負う。

プログラム管理委員会の下部組織として専攻医の研修を管理する施設研修委員会を置き、施設研修委員会委員長が総括する。

施設研修委員会は労働基準法や医療法を順守することが求められる。専攻医の心身の健康維持への環境整備も研修委員会の責務である。

1) 委員会の開催時期

① プログラム管理委員会の開催

定時開催：年1回（2月末にプログラム修了判定会議を開催）

随時開催：プログラム総括責任者が必要と認めた時。

② 施設研修委員会の開催

定時開催：年2回（1月、7月）

随時開催：研修委員会委員長が必要と認めた時。

2) 役割と権限

① プログラム作成と改善

② CPC、JMCCC等の開催

③ 適切な評価の保証

④ プログラム修了判定

⑤ 各施設への研修委員会への指導権限を有し、同委員会における各専攻医の進達状況の把握、問題点の描出、解決および各指導医への助言や指導の最終責任を負う

3) プログラム総括責任者の基準および役割と権限

基準：

① 基幹施設の内科領域の責任者あるいはそれに準じるもの。

② 日本内科学会指導医であること。

③ 専攻医数が20名を超える場合は副プログラム責任者を置く。副プログラム責任者は総括責任者に準ずる要件を満たすこと。

役割・権限：

① プログラム管理委員会を主宰して、その作成と改善に責任を持つ。

② 各施設の研修委員会を総括する。

③ 専攻医の採用、修了認定を行う。

④ 指導医の管理と支援を行う。

*連携施設での委員会組織：

基幹施設と各連携施設に於いて研修委員会を必ず設置し、委員長1名（指導医）を置く。委員長は上部委員会であるプログラム管理委員会（基幹施設に設置）の委員

となり基幹施設と連携のもと活動する。

4) プログラム管理委員会の名簿

- ① プログラム総括責任者：五関 善成
(循環器内科部長、総合内科専門医、日本循環器学会専門医、医学博士)
- ② プログラム管理者：根本夕夏子 (消化器病センター内科統括部長、総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、医学博士)
- ③ 研修委員会委員長：小野啓資
(総合内科部長、総合内科専門医、日本呼吸器学会指導医、医学博士)

プログラム管理委員会委員：

- ④ 河島尚志 (院長、医学博士)
- ⑤ 中島善博 (事務部長)
- ⑥ 影山美子 (看護部長)
- ⑦ 前谷容 (東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科教授)
- ⑧ 近森大志郎 (東京医科大学病院 循環器内科教授)
- ⑨ 岡潔 (目黒病院院長)
- ⑩ 八辻賢 (日扇会第一病院院長)
- ⑪ 松尾英男 (えびす英クリニック院長)
- ⑫ 檜林洋介 (檜林神経内科クリニック院長)
- ⑬ 梅里尚行 (ホームアレークリニック城南理事長兼院長)

5) 施設研修委員会名簿

- ① 研修委員会委員長：小野啓資

研修委員会委員：

- ② 根本夕夏子 (プログラム管理者)
- ③ 加藤浩太 (循環器内科医長、総合内科専門医、日本循環器病学会専門医)
- ④ 青田泰雄 (総合内科副部長、日本血液学会指導医)
- ⑤ 中村文彦 (消化器病センター内科医長、日本消化器病学会専門医)

22 研修プログラム修了の基準と休止、中断、移動について

1) 修了基準

専門研修3年間で必要とされるすべての項目を完了し、プログラム管理委員会がこれを認め、内科専門医受験資格が得られたと判断された時を修了とする。

2) 休止、中断、移動について

疾病あるいは妊娠、出産、産前後に伴う研修期間の休止については、プログラム修了要件を満たしていれば休職期間が6カ月以内であれば研修期間を延長する必要はない。これを超える期間の休止の場合は研修期間の延長が必要。

短時間の非常勤勤務期間などがある場合、按分計算(1日8時間、週5日を基本単位とする)を行うことによって研修実績に加算される。留学期間は研修期間として認めない。プログラムの移動については移動前後のプログラム管理委員会が継続的研修を相互が認証することにより研修を可能にする。

23 研修プログラムの評価と改善

1) 専攻医による指導医および研修プログラムに対する評価

日本内科学会専攻医登録評価システムを用いて専攻医が指導医等への無記名式逆評価が年に数回行われる。その集計結果は担当指導医、研修委員会、プログラム管理委員会も閲覧ができ、研修環境の改善に役立てる。

2) 逆評価をシステム改善につなげるプロセス

把握した事項についてプログラム管理委員会が以下に分類して対応する。

- ① 即時改善を要する事項
- ② 年度内に改善を要する事項
- ③ 数年かけて改善を要する事項
- ④ 内科領域全体で改善を要する事項
- ⑤ 特に改善を要しない事項

なお、研修施設群内で何らかの問題が生じ、施設群間で解決が困難な場合は専攻医や指導医から日本専門医機構内科領域研修委員会を相談先とする。

3) 日本専門医機構内科領域研修委員会による評価

日本内科学会専攻医登録評価システムを用いて指導医、研修委員会、プログラム管理委員会、および日本専門医機構内科領域研修委員会が専攻医の研修状況を定期的にモニターし、研修プログラムが円滑に進められているか否かを判断し研修プログラムが評価される。また、指導医が専攻医の研修にどの程度関与しているかもモニターされる。日本専門医機構内科領域研修委員会が研修プログラムを評価しプログラム内の自律的改善が困難と判断されれば支援と指導が行われる。

4) 研修に関する監査（サイトビジット等）・調査への対応

日本専門医機構内科領域研修委員会は日本内科学会専攻医登録評価システムを用いて各基幹施設のプログラムの専攻医研修進捗状況を把握して監査を行う。研修プログラムを擁する基幹施設は求めに応じて監査を受け入れなくてはならない。当院の研修プログラムも同様に監査を受け、その指示に従うものとする。

24 専攻医の採用と修了

1) 採用方法

公表されている「厚生中央病院内科専門医研修プログラム」を見て応募した専攻医に面接試験を行い、プログラム管理委員会が選考し受け入れを決める。

2) 修了要件（別表参照）

日本内科学会専攻医登録評価システムに以下の全てが登録され、かつ担当指導医が承認していることをプログラム管理委員会が確認して修了判定会議を行う。

- ① 主担当医としてカリキュラムに定める全 70 疾患群のすべてを経験し、計 200 症例以上（外来症例は 20 症例まで含むことが出来る）を経験することを目標とする。但し修了認定には主担当医として通算で最低 56 疾患群以上の経験と計 160 症例以

上の症例（外来症例は登録症例の1割まで含む事が出来る）を経験し登録しなければならない。

- ② 所定の受理された29編の病歴要約
- ③ 所定の2編の学会発表または論文発表
- ④ JMECCの受講
- ⑤ プログラムで定める講習会受講
- ⑥ 指導医とメディカルスタッフによる360度評価の結果に基づき、医師としての適性に疑問がないこと。

25 厚生中央病院内科専門医研修プログラム（「専攻医研修マニュアル Ver2」）

1) 専門研修後の医師像と修了後に想定される勤務形態や勤務先

求める内科専門医の医師像としては、知識と技術に偏らず、患者さんに心豊かな人間性を持って診療する事が出来、患者・家族の心身に対する苦痛を真摯に受け止め、医師としてのプロフェッショナルリズムとリサーチマインドの素養をもって、地域の人々に全人的に診療ができる医師である。

研修修了後の勤務形態や勤務先は様々であり、求められる内科専門医は単一ではない。しかしながら、様々な環境下に応じて、その役割を果たすことが出来る内科専門医を多く輩出することが必要である。

高齢化社会に適応した急性期病院を目指している厚生中央病院で研修を受けた内科専門医は、いずれの地域でも医療機関でも高齢化社会に見合った内科診療が出来得るようになると思われ期待される。

2) 専門研修の期間

原則3年間（事情により研修期間の延長を認める）

3) 研修施設群の各施設名

基幹施設：厚生中央病院

連携施設：

① 専門研修（連携施設）

東京医科大学病院（腎臓領域、膠原病・アレルギー領域、救命救急領域の研修）

東邦大学医療センター大橋病院（代謝・内分泌領域、消化器病領域「特に膵臓、肝臓等」の研修）

② 地域研修（特別連携施設）

目黒病院（在宅診療、訪問看護ステーション、リハビリ、短期入院病床確保事業「ショートステイ」、二次救急医療）

日扇会第一病院（在宅訪問看護ステーション、在宅看護支援センター、在宅診療支援病院）

えびす英クリニック（在宅療養支援診療所）

檜林神経内科クリニック（在宅診療、認知症）
ホームアレークリニック城南（在宅診療、訪問看護ステーション）

4) プログラムに関する委員会と委員、及び指導医名

① 研修プログラム管理委員会

プログラムと当該プログラムに属するすべての内科専攻医の研修に責任を持って管理するプログラム管理委員会を設置し、プログラムの管理および修了判定、その他必要な事項を決定する。プログラム管理委員会にプログラム総括責任者を置く。プログラム総括責任者はプログラムの適切な運営・進化の責任を負う。

プログラム管理委員会の下部組織として専攻医の研修を管理する施設研修委員会を置き、施設研修委員会委員長が総括する。

施設研修委員会は労働基準法や医療法を順守することが求められる。専攻医の心身の健康維持への環境整備も研修委員会の責務である。

② 委員会の開催時期

I) プログラム管理委員会の開催

定時開催：年1回（2月末にプログラム修了判定会議を開催）

随時開催：プログラム総括責任者が必要と認めた時。

II) 施設研修委員会の開催

定時開催：年2回（1月、7月）

随時開催：研修委員会委員長が必要と認めた時。

③ プログラム管理委員会の名簿

I) プログラム総括責任者：五関善成

（循環器内科部長、総合内科専門医、循環器内科専門医、医学博士）

II) プログラム管理者：根本夕夏子（消化器病センター内科統括部長、総合内科専門医、日本消化器病学会専門医）

III) 研修委員会委員長：小野啓資

（総合内科部長、総合内科専門医、日本呼吸器学会指導医、医学博士）

IV) 河島尚志（院長、医学博士）

V) 中島善博（事務部長）

VI) 影山美子（看護部長）

VII) 前谷容（東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科教授）

VIII) 近森大志郎（東京医科大学病院 循環器内科教授）

IX) 岡潔（目黒病院院長）

X) 八辻賢（日扇会第一病院院長）

XI) 松尾英男（えびす英クリニック院長）

XII) 檜林洋介（檜林神経内科クリニック長）

XIII) 梅里尚行（ホームアレークリニック城南理事長兼院長）

④ 施設研修委員会名簿

- I) 研修委員会委員長：小野啓資
施設研修委員会委員：
- II) 根本夕夏子（プログラム管理者）
- III) 加藤浩太（循環器内科医長、総合内科専門医、日本循環器病学会専門医）
- IV) 青田泰雄（総合内科副部長、日本血液学会指導医）
- V) 中村文彦（消化器病センター内科医長、日本消化器病学会専門医）

5) 各施設での研修内容と期間 研修プログラム表 (内科標準タイプ)

内科専攻医コース (案)

専攻医A

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	厚生中央病院 総合内科 (神経内科、呼吸器内科、血液内科、腫瘍内科、老年病医学、救急医学)											
	1年目にJMCCを受講する。											
	1年次修了まで定められた70疾患のうち20疾患群以上を経験し登録。病歴要約を10編以上を登録する。指導医が確認する。											
2年次	地域医療		厚生中央病院 循環器内科			東京医大 (腎臓内科、膠原病内科、救命救急 各2か月間)						
	70疾患群のうち通算45疾患群以上を経験し登録。必要な29症例の病歴要約をすべて登録する。											
3年次	厚生中央病院消化器内科			東邦大学医療センター大橋病院 (消化器内科3か月間、糖尿病内科2か月間)					厚生中央病院 選択診療科			
	70疾患群を経験し200例以上を目標登録。 (研修終了にはすべての病歴要約約29編の受理と70疾患群中の56疾患群以上計150症例以上の経験の全てが必要)											
学術活動	内科学会総会/地方会に年2回以上必須参加。2件以上の筆頭者での学会発表または論文発表											
その他	医療倫理、医療安全、感染防御、CPC等の講習会への参加。病理解剖は1件/専攻医1名/年必要											

内科専攻医コース (案)

専攻医B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	厚生中央病院 総合内科 (神経内科、呼吸器内科、血液内科、腫瘍内科、老年病医学、救急医学)											
	1年目にJMCCを受講する。											
	1年次修了まで定められた70疾患のうち20疾患群以上を経験し登録。病歴要約を10編以上を登録する。指導医が確認する。											
2年次	東京医大 (腎臓内科、膠原病内科、救命救急 各2か月間)					地域医療			厚生中央病院 循環器内科			
	70疾患群のうち通算45疾患群以上を経験し登録。必要な29症例の病歴要約をすべて登録する。											
3年次	東邦大学医療センター大橋病院 (消化器内科3か月間、糖尿病内科2か月間)			厚生中央病院消化器内科					厚生中央病院 選択診療科			
	70疾患群を経験し200例以上を目標登録。 (研修終了にはすべての病歴要約約29編の受理と70疾患群中の56疾患群以上計150症例以上の経験の全てが必要)											
学術活動	内科学会総会/地方会に年2回以上必須参加。2件以上の筆頭者での学会発表または論文発表											
その他	医療倫理、医療安全、感染防御、CPC等の講習会への参加。病理解剖は1件/専攻医1名/年必要											

- 1 地域医療研修は地域病院 (日黒病院、日扇会第一病院) が在宅医療診療所 (えびす英クリニック、榎林神経内科クリニック、ホームアレッククリニック城南) からの一施設を選択とする。
- 2 選択診療科は厚生中央病院の各診療科の中から選択する。
- 3 当院でのローテーションについては、研修医の希望により各診療科での実習期間を若干変更・調整することがある。
- 4 東京医大、東邦大学大橋病院での研修についても、各医療機関における研修診療科とその期間については、研修医と各医療機関との調整の上、若干の変更・調整をおこなうことがある

研修プログラム表（サブスペシャリティ重点タイプ）

内科専門研修並行老年病専門研修コース

（サブスペシャリティ重点研修コース2年型）

サブスペシャリティ重点研修コース

専攻医A

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	厚生中央病院 総合内科 (神経内科、呼吸器内科、血液内科、腫瘍内科、老年病医学、救急医学) (12か月)											
	1年目にJMC Cを受講する。											
	各年次において老年病専門研修プログラムの症例と一致するものについては、これを記録し経験症例とする。											
2年次	地域医療 (3か月)	厚生中央病院 循環器内科 (3か月)				東京医科大学病院 腎臓内科、膠原病内科、救命救急 各2か月間 (6か月)						
	2年次終了までに内科専門医取得に必要な70疾患群中の160症例以上の経験終了を目指す。病歴要約29編の作成を目指す。											
3年次	厚生中央病院 消化器内科 (4か月)			東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科3か月間、糖尿病内科2か月間 (5か月)				老年病重点研修期間 東京医科大高齢診療科 (3か月)				
	各年次において老年病専門研修プログラムの症例と一致するものについては、これを記録し経験症例とする。 (内科専門医研修終了にはすべての病歴要約29編の受理と70疾患群中の計160症例以上の経験の全てが絶対条件である。)											
学術活動	内科学会総会/地方会に年2回以上必須参加。2件以上の筆頭者での学会発表または論文発表											
その他	医療倫理、医療安全、感染防御、CPC等の講習会への参加。病理解剖は1件/専攻医1名/年必要											

4年次 老年病 研修	老年病重点研修期間											
	東京医科大学病院 高齢診療科 (3か月)	高齢者施設 (1か月)	地域医療施設 (3か月)	厚生中央病院 地域包括ケア病棟 (4か月)				総合内科 (1か月)				
学術活動	日本老年医学会の学術集会に出席すること。日本老年医学会へ1件以上の学会発表または論文発表を行う。											

サブスペシャリティ重点研修コース

専攻医B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	厚生中央病院 総合内科 (神経内科、呼吸器内科、血液内科、腫瘍内科、老年病医学、救急医学) (12か月)											
	1年目にJMC Cを受講する。											
	各年次において老年病専門研修プログラムの症例と一致するものについては、これを記録し経験症例とする。											
2年次	東京医科大学病院 腎臓内科、膠原病内科、救命救急 各2か月間 (6か月)				地域医療 (3か月)				厚生中央病院 循環器内科 (3か月)			
	2年次終了までに内科専門医取得に必要な70疾患群中の160症例以上の経験終了を目指す。病歴要約29編の作成を目指す。											
3年次	東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科3か月間、糖尿病内科2か月間 (5か月)				厚生中央病院 消化器内科 (4か月)				老年病重点研修期間 (地域医療 3か月)			
	各年次において老年病専門研修プログラムの症例と一致するものについては、これを記録し経験症例とする。 (内科専門医研修終了にはすべての病歴要約29編の受理と70疾患群中の計160症例以上の経験の全てが絶対条件である。)											
学術活動	内科学会総会/地方会に年2回以上必須参加。2件以上の筆頭者での学会発表または論文発表											
その他	医療倫理、医療安全、感染防御、CPC等の講習会への参加。病理解剖は1件/専攻医1名/年必要											

4年次 老年病 研修	老年病重点研修期間											
	厚生中央病院 地域包括ケア病棟 (4か月)				東京医科大学病院 高齢診療科 (6か月)				高齢者施設 (1か月)	総合内科 (1か月)		
学術活動	日本老年医学会の学術集会に出席すること。日本老年医学会へ1件以上の学会発表または論文発表を行う。											

- 1 地域医療研修は地域病院（日黒病院、日扇会第一病院）か在宅医療診療所（えびす英クリニック、橋本神経内科クリニック、ホームアレークリニック城南）からの一施設を選択とする。
- 2 内科初期研修の症例を以下の条件を満たすもの限り、研修医扱いと認める。
 - 1) 日本内科学会指導医が直接指導した症例
 - 2) 主たる担当医師としての症例
 - 3) 直接指導を行った日本内科学会指導医が内科領域
 - 4) 日本領域の専門研修プログラムの統括責任者の承認が得られること
 - 5) 日本領域の専門研修で必要とされる終了要件160症例のうち1/2に相当する80症例を上限とすること。
病歴要約への適用も、1/2に相当する14症例を上限すること
- 3 当院でのローテーションについては、研修医の希望により各診療科での実習期間を若干変更・調整することがある。
- 4 東京医大、東邦大学大橋病院での研修についても、各医療機関における研修診療科とその期間については、研修医と各医療機関との調整の上、若干の変更・調整をおこなうことがある

- 6) 専門研修プログラム整備基準とプログラムに示される主要な疾患の年間診療件数
 内科領域 13 分野のうち日本消化器病学会、日本循環器学会、日本呼吸器学、日本血液学会、日本神経学会、日本老年医学会の 6 分野で専門研修施設として学会認定されている。日本臨床腫瘍学会や日本プライマリ・ケア連合学会の認定研修施設でもある。また、日本肝臓学会専門医 2 名、がん治療認定医 5 名が常勤専門医として指導に当たっている。さらに、東京医科大学病院、東邦大学医療センター大橋病院、および昭和大学病院等からの非常勤で腎臓内科専門医 1 名、リウマチ膠原病専門医 2 名、糖尿病専門医 3 名が診療に当たっている。以上から内科領域 13 分野のうち 7 分野については定常的に専門研修が可能であり、70 疾患群のうち基幹施設として必要な 35 以上の疾患群についての研修は可能である。

2021 年 DPC 主病名による疾病統計（1 から 12 月合計値）

	入院患者数（人/年）
消化器	920
循環器	242
内分泌	24
代謝	39
腎臓	357
呼吸器	266
血液	202
神経	222
アレルギー	5
膠原病及び類縁	8
感染症	304
救急	1537

医学中央雑誌掲載数

2018 年	5 6 編（内科系 1 6 編 日本内科学会関連 3 編）
2019 年	6 6 編（内科系 2 6 編 日本内科学科関連 4 編）
2020 年	3 4 編（内科系 5 編 日本内科学科関連 2 編）
2021 年	3 0 編（内科系 1 2 編 日本内科学科関連 2 編）

- 7) 年次ごとの症例経験到達目標を達成するための具体的な研修の目安
専攻医の受持ち患者数は患者の重症度を加味しながらも、指導医と相談しながら症例が偏らないように出来るだけ多くの患者（5～10名程度）を受け持つこととした
い。特に総合内科での研修期間中には様々な領域の患者を診ることが出来るので大切に
研修して欲しい。
- 8) 自己評価と指導医評価ならびに 360 度評価の時期とフィードバックの時期
専門研修の評価は日本内科学会専攻医登録評価システムを使用する。
年に複数回（原則 9 月と 3 月）、自己評価、指導医による評価、ならびにメディカ
ルスタッフによる 360 度評価を行う。その結果は登録評価システムを通じて集計さ
れ、指導医によって専攻医にフィードバックを行って改善を促す。
患者・家族は医師の技術や知識を評価している訳ではない。医師の人間性を評価し
て、大切な人を委ねるのである。医師は医師以外の人々から 360 度評価を受け、その
結果を真摯に受け止め改善することが重要である。
- 9) プログラム修了の基準
修了判定のプロセス
- ① 修了認定には主担当医として通算で最低 56 疾患群（70 疾患群以上目標）以上の
経験と計 160 症例（200 症例以上目標）以上の症例（外来症例は登録症例の 1 割ま
で含むことが出来る）を経験し登録しなければならない。
 - ② 29 病歴要約の査読後の受理を要する。
 - ③ 登録評価システムを用いてメディカルスタッフによる 360 度評価と指導医によ
る内科専攻医評価を参照し医師としての適性判定を受けなければならない。
 - ④ 学会発表または論文発表を筆頭者で 2 件以上を要する。
 - ⑤ JMECC 受講歴が 1 回必要である。
 - ⑥ 医療倫理・医療安全・感染防御に関する講習会を年に 2 回以上の受講歴が必要。
上記を確認後、プログラム管理委員会で合議し統括責任者が最終判定を行う。
習得が不十分な場合には研修期間を 1 年間延長することが出来る。
- 10) 専門医申請に向けての手順
- ① 「厚生中央病院内科専門医研修プログラム修了書」「履歴書」、日本専門医機構が
定める「内科専門医認定申請書」を期日までに日本専門医機構内科領域認定委員会
へ提出する。
 - ② 内科専門医資格申請後に日本専門医機構が実施する内科専門医試験に合格して
「内科専門医」となる。
- 11) 専攻医の処遇
厚生中央病院における専攻医への処遇は別紙「厚生中央病院内科専門医研修プロ
グラム」の「専攻医の処遇」の如くであり、厚生中央病院職員の規定に準ずる。連
携施設の研修期間においても基本的に同様とする。

12) プログラムの特徴

厚生中央病院は地域を支える基幹病院として高齢化社会に適応した急性期病院を目指している。高齢者は一人で多くの疾患を抱えていることから、各領域の専門医であるも、一般的な疾患については診療できなければならない。

当院は地域中核の内科専門研修基幹施設として、地域に根差した内科専門医の養成を図るものである。東京医科大学病院や東邦大学医療センター大橋病院を専門研修連携施設として高度急性期の疾患群や当院での経験が不足とされる疾患群についての研修を行う。また、地域に密着した小規模病院としての目黒病院では、一般急性期の初期診療から、当院では行われていない訪問看護ステーション等による在宅診療、リハビリ、ショートステイ（短期入院病床確保事業）など地域中核病院では得られない高齢化社会での地域に密着した小規模病院の役割と機能を理解し研修する。在宅を中心とした診療所の研修では、認知症や腫瘍性疾患などのターミナルケア等を、地域の中で在宅を中心に取り組んでいる医療現場で経験し、医療と介護の連携の重要性等を理解し研修する。

高齢化社会での地域における様々な医療現場での研修を行うことで、幅広く柔軟性に富んだ地域で活躍できる内科専門医を養成するプログラムである。

13) 継続したサブスペシャリティ領域の研修可否

当院で内科専門医を取得した医師については、当院で取得可能なサブスペシャリティ領域の専門研修を出来るだけ受け入れることとしている。

14) 逆評価の方法とプログラム改良姿勢

専攻医は日本内科学会専攻医登録評価システムを用いて無記名式逆評価を行う。逆評価は9月と3月に行う。その結果は担当指導医、研修委員、プログラム管理委員会が閲覧し集計結果に基づき厚生中央病院内科専門医研修プログラムや指導医、あるいは研修施設の研修環境の改善に役立てる。

15) 研修施設群内での何らかの問題が発生し、施設群内で解決が困難な場合の相談先は日本専門医機構内科領域研修委員会とする。

26 厚生中央病院内科専門医研修プログラム（「指導者マニュアル Ver 2」）

1) 専攻医研修ガイドの記載内容に対応したプログラムにおいて期待される指導医の役割

- ① 一人の担当指導医に一人の専攻医が厚生中央病院研修プログラム管理委員会により決定される。
- ② 担当指導医は、専攻医がwebにて日本内科学会専攻医登録評価システムに、その研修内容を登録するので、その履修状況の確認をシステム上で行ってフィードバックの後にシステム上で確認する。この作業は日常臨床業務での経験に応じて順次行う。
- ③ 担当指導医は、専攻医がそれぞれの年次で登録した疾患群、症例の内容について、

その都度、評価・承認する。

- ④ 担当指導医は専攻医と十分なコミュニケーションを取り、研修手帳 Web 版での専攻医による症例登録の評価や臨床研修センター（仮称）からの報告等により研修の進捗状況を把握する。専攻医は Subspecialty の上級医と面談し、専攻医が経験すべき症例について報告・相談する。担当指導医と Subspecialty の上級医は、専攻医が充足していないカテゴリー内の疾患を可能な範囲で経験できるよう主担当医の割り振りを調整する。
 - ⑤ 担当指導医は Subspecialty の上級医と協議し、知識、技能の評価を行う。
 - ⑥ 担当指導医は専攻医が専門研修（専攻医）2 年修了時まで合計 29 症例の病歴要約を作成することを促進し、内科専門医ボードによる査読・評価で受理されるように病歴要約について確認し、形式的な指導を行う。
- 2) 専門研修プログラムにおける年次到達目標と評価方法、ならびにフィードバックの方法と時期
- ① 年次到達目標は別表「内科専門研修に求められる疾患群、症例数、病歴提出数について」に示すとおりである。
 - ② 担当指導医は臨床研修センター（仮称）と協働して、3 か月ごとに研修手帳 Web 版にて専攻医の研修実績と到達度を適時追跡し、専攻医による研修手帳 Wsb 版への記入を促す。また、各カテゴリー内の研修実績と到達度が充足していない場合は当該疾患の診療経験を促す。
 - ③ 担当指導医は臨床研修センター（仮称）と協働して、6 か月ごとに病歴要約作成状況を適時追跡し、専攻医による病歴要約の作成を促す。また、各カテゴリー内の病歴要約が充足していない場合は当該疾患の診療経験を促す。
 - ④ 担当指導医は臨床研修センター（仮称）と協働して 6 か月ごとにプログラムに定められている所定の学術活動の記録と各種講習会出席を追跡する。
 - ⑤ 担当指導医は臨床研修センター（仮称）と協働して毎年 9 月と 3 月に自己評価と指導医評価、ならびに 360 度評価を行う。評価修了後 1 カ月以内に担当指導医は専攻医にフィードバックを行い形式的に指導する。2 回目以降は以前の評価についての省察と改善とが図られたか否かを含めて担当指導医はフィードバックを形勢的に行って改善を促す。
- 3) 個別の症例経験に対する評価方法と評価基準
- ① 担当指導医は Subspecialty の上級医と十分なコミュニケーションを取り研修手帳 Wsb 版での専攻医による症例登録の評価を行う。
 - ② 研修手帳 Wsb 版での専攻医による症例登録に基づいて当該患者の電子カルテへの記載、退院サマリ作成の内容などを吟味し、主担当医として適切な診療を行っているかと第三者が認めうると判断する場合に合格とし、担当指導医が承認を行う。
 - ③ 主担当医として適切に診療を行っているかと認められない場合には不合格とし、担当指導医は専攻医に研修手帳 Wsb 版での当該症例登録の削除、修正などを指

導する。

4) 日本内科学会専攻医登録評価システムの利用方法

- ① 専攻医による症例登録と担当指導医が合格した際に承認する。
- ② 担当指導医による専攻医の評価、メディカルスタッフによる 360 度評価および専攻医による逆評価などを専攻医に対する形成的フィードバックに用いる。
- ③ 専攻医が作成し、担当指導医が校閲し適切と認めた病歴要約全 29 症例を専攻医が登録したものを担当指導医が承認する。
- ④ 専門研修施設群とは別の日本内科学会病歴要約評価ボード（仮称）によるピアレビューを受け、指摘事項に基づいた改訂を専攻医がアクセプトされるまでの状況を確認する。
- ⑤ 専攻医が登録した学会発表や論文発表の記録、出席を求められる講習会などの記録について、各専攻医の進捗状況を把握して年次ごとの到達目標に達しているか否かを判断する。
- ⑥ 担当指導医は日本内科学会専攻医登録評価システムを用いて研修内容を評価し修了要件を満たしているか判断する。

5) 逆評価と日本内科学会専攻医登録評価システムを用いた指導医の指導状況把握

専攻医による日本内科学会専攻医登録評価システムを用いた無記名式逆評価の集計結果を担当指導医、施設の研修委員会、およびプログラム管理委員会が閲覧する。集計結果に基づき厚生中央病院内科専門医研修プログラムや指導医、あるいは研修施設の研修環境の改善に役立てる。

6) 指導医難渋する専攻医の取り扱い

必要に応じて臨時で日本内科学会専攻医登録評価システムを用いて専攻医自身の自己評価、担当指導医による内科専攻医評価およびメディカルスタッフによる 360 度評価（内科専門研修評価）を行い、その結果を基にプログラム管理委員会で協議を行い、専攻医に対して形成的に適切な対応を試みる。状況によっては担当指導医の変更や在籍する専門研修プログラムの移動勧告などを行う。

7) プログラムならびに各施設における指導医の待遇

厚生中央病院給与規定による（検討中）

8) FD 講習の出席義務

厚生労働省や日本内科学会の指導医講習会の受講を推奨する。

指導者研修（FD）の実施記録として日本内科学会専攻医登録評価システムを用いる。

9) 日本内科学会作成の冊子「指導の手引」の活用

内科専攻医の指導にあたり、指導法の標準化のため日本内科学会作成の冊子「指導の手引」を熟読し形成的に指導する。

10) 研修施設群内での何らかの問題が発生し、施設群内で解決が困難な場合の相談先は日本専門医機構内科領域研修委員会とする。

